津市立橋北中学校長寿命化改修工事

図　面　目　録

図面番号	建築　図　面　名　称	図面番号	建築　図　面　名　称	図面番号	建築　図　面　名　称	図面番号	電気設備　図　面　名　称	図面番号	機械設備　図　面　名　称
	表紙・目次	A-26	屋外階段 B　平面詳細図　(改修前後)	A-52	２階支援室(1) 展開図　(改修前後)	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
A-01	改修特記仕様書(1)	A-27	屋外階段 B　断面詳細図　(改修前後)	A-53	３階資料室 平面詳細図　(改修前後)	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
A-02	改修特記仕様書(2)	A-28	普通教室　4階 1-3教室 平面詳細図・展開図　(改修前後)	A-54	３階資料室 展開図　(改修前後)	E-03	電気設備工事特記仕様書(3)	M-03	給排水衛生設備 1階平面詳細図　(改修前後)
A-03	改修特記仕様書(3)	A-29	普通教室　3階 2-1教室 平面詳細図・展開図　(改修前後)	A-55	４階生徒会室 平面詳細図　(改修前後)	E-04	電気設備　配置図　(改修後)	M-04	給排水衛生設備 2階平面詳細図　(改修前後)
A-04	改修特記仕様書(4)	A-30	普通教室　4階 1-6,1-5教室 平面部分詳細図・展開図　(改修前後)	A-56	４階生徒会室 展開図　(改修前後)	E-05	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ・動力設備 1階平面図　(改修前後)	M-05	給排水衛生設備 3階平面詳細図　(改修前後)
A-05	改修特記仕様書(5)	A-31	普通教室　4階 1-2,1-1,3階 2-3,2階 3-3教室 平面部分詳細図・展開図　(改修前後)	A-57	１階昇降口廻り詳細図(1)　(改修前後)	E-06	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ・動力設備 2階平面図　(改修前後)	M-06	空調・換気設備 1,2階平面詳細図　(改修前後)
A-06	改修特記仕様書(6)	A-32	1階廊下　展開図　(改修前後)	A-58	１階昇降口廻り詳細図(2)　(改修前後)	E-07	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ・動力設備 3階平面図　(改修前後)	M-07	空調・換気設備 3,4階平面詳細図　(改修前後)
A-07	改修特記仕様書(7)	A-33	2階廊下　展開図　(改修前後)	A-59	1_4階　天井伏図　(改修前後)	E-08	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ・動力設備 4階平面図　(改修前後)		
A-08	建築概要・付近見取図・配置図	A-34	3階廊下　展開図　(改修前後)	A-60	建具表　(改修前後)	E-09	自動火災報知設備系統図		
A-09	仕上表(1)	A-35	4階廊下　展開図　(改修前後)	A-61	部分詳細図 (1)	E-10	弱電・自動火災報知設備 1階平面図 (改修前後)		
A-10	仕上表(2)	A-36	1,2階　天井伏図　(改修前後)	A-62	部分詳細図 (2)	E-11	弱電設備　2階平面図 (改修後)		
A-11	普通教室棟 １階　平面図　(改修前後)	A-37	3,4階　天井伏図　(改修前後)	A-63	鉄骨標準図	E-12	自動火災報知設備　2階平面図 (改修前後)		
A-12	２階　平面図　(改修前後)	A-38	1,2階　建具伏図	A-64	エレベーター廻り構造詳細図(1)	E-13	弱電・自動火災報知設備 3階平面図 (改修前後)		
A-13	３階　平面図　(改修前後)	A-39	3,4階　建具伏図	A-65	エレベーター廻り構造詳細図(2)	E-14	弱電・自動火災報知設備 4階平面図 (改修前後)		
A-14	４階　平面図　(改修前後)	A-40	建具表(1)　(改修前後)	A-66	1階廊下　劣化調査　(参考)	E-15	電気設備　普通教室棟　2,3階平面図		
A-15	屋根・PH屋根　平面図　(改修前後)	A-41	建具表(2)　(改修前後)	A-67	2階廊下　劣化調査　(参考)	E-16	電気設備　普通教室棟　4階,屋上平面図		
A-16	南・西立面図　(改修前後)	A-42	昇降口管理棟 １階　平面図兼仮設計画図 (1)　(改修前～夏休み期間)	A-68	3階廊下　劣化調査　(参考)				
A-17	北・東立面図　(改修前後)	A-43	１階　平面図兼仮設計画図 (2)　(二学期以降)	A-69	4階廊下　劣化調査　(参考)				昇降機設備
A-18	断面図　(既存)	A-44	１階　平面図　(改修後)	A-70	仮設計画図　(参考)			EV-01	エレベーター詳細図(1)　(参考図)
A-19	断面詳細図(1)　(改修前)	A-45	２階　平面図兼仮設計画図　(改修前後)					EV-02	エレベーター詳細図(2)　(参考図)
A-20	断面詳細図(2)　(改修後)	A-46	３階　平面図兼仮設計画図　(改修前後)					EV-03	エレベーター詳細図(3)　(参考図)
A-21	屋内階段　平面詳細図　(改修前後)	A-47	４階　平面図兼仮設計画図　(改修前後)					EV-04	エレベーター詳細図(4)　(参考図)
A-22	屋内階段　断面詳細図　(改修前)	A-48	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ廻り 断面詳細図　(改修前後)					EV-05	エレベーター詳細図(5)　(参考図)
A-23	屋内階段　断面詳細図　(改修後)	A-49	１階倉庫 平面詳細図　(改修前後)					EV-06	エレベーター詳細図(6)　(参考図)
A-24	屋外階段 A　平面詳細図　(改修前後)	A-50	１階倉庫 展開図　(改修前後)					EV-07	エレベーター詳細図(7)　(参考図)
A-25	屋外階段 A　断面詳細図　(改修前後)	A-51	２階支援室(1) 平面詳細図　(改修前後)						

原図：A2

工事特記仕様書（改修）

Ⅰ．工事名称　津市立橋北中学校長寿命化改修工事

Ⅱ．工事概要

1　工事場所　津市桜橋二丁目　地内

2　敷地面積　24,462㎡

3　工事内容

棟名称	普通教室棟、昇降口管理棟
構造	鉄筋コンクリート造
建築面積	777.10　㎡(普通教室棟)　427.3　㎡(昇降口管理棟)
延べ面積	3,145　㎡(普通教室棟)　1,453　㎡(昇降口管理棟)
工事項目	防水改修、外壁改修、内装改修、建具改修、塗装改修、躯体改修、昇降機設置(既設建物内)、ｽﾛｰﾌﾟ設置

Ⅲ．建築改修工事仕様

1　共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2　特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の（　）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 3）建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 4）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※　工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※　工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※　本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※　特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※　工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※　場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※　工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※　大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※　工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※　工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。 ※　工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※　工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※　撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※　外部足場の設置及び解体は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※　夏休み中等の学校休校日であっても部活動等の団体が利用する場合があるため、安全に十分注意すること。 ※　作業後の校舎等の施錠については学校側と十分協議を行うこと。 ※　原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月20日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。 ※　本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得てから工事を行うこと。 ※　外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。 ※　外部鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。 ※　高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※　工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。 ※　設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※　夏休み期間、生徒昇降口を立入制限する為、下足入れ（50足分）を一時的に設置し、対応すること。また設置位置については、協議によるものとする。 ※　下記に示す諸室の改修工事について、２学期または３学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。 （８月中引渡） ＜普通教室棟＞ ・内部改修部（普通教室、廊下、階段室） ・外壁　南面、西面（西面にいたっては1Fが給食搬入口となっているため2学期開始までに足場撤去まで完了すること。） ＜昇降口管理棟＞ ・外部スロープ　・生徒昇降口アルミ建具及びSUSグレーチング ※　各諸室（１クラス３０名程度）について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。（平面詳細図参照） なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。 ・普通教室：机、椅子及び教卓　・昇降口：下足入れ、傘立て、掲示板、案内板等　・廊下：掲示板、タブレット保管庫
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有 (・)無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有 (・)無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	(・)有 ・無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
屋根	・有 (・)無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	(・)有 ・無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
その他 （　　）	・有 (・)無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

	(・)引き渡しを要するもの　(・)無　・　・　） ・　特別管理産業廃棄物　・有（・PCBを含む機器類　・廃油、廃酸、廃アルカリ　・ダイオキシン ・水銀を含む特別管理産業廃棄物　・廃水銀　）　処理方法（　　） (・)水銀仕様製品産業廃棄物　(・)有((・)蛍光ランプ　・HIDﾗﾝﾌﾟ　・（　）） 「水銀廃棄物ガイドライン」（第２版）（平成31年3月　環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。 (・)石綿含有成形板等解体時の留意点 1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 3.飛散されない様にすること。 4.保護具及び作業着を着用すること。 5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・　現場において再利用を図るもの　（　　）
④ 建設副産物情報交換システムの利用	(・)再資源化を図るもの　(・)コンクリート塊 (・)アスファルトコンクリート塊 (・)建設発生木材 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。 受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。
⑤ 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
6　電気保安技術者 (1.3.3)	配置する
7　技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。
⑧ 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法　(・)工種別の特記による
9　調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法　・　図示（図面番号：　　）・（　　）
10　建築材料等	1）　本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2）　本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
11　化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） 適用　施設用途　ホルムアルデヒド　トルエン　キシレン　エチルベンゼン　スチレン　パラジクロロベンゼン ●　学校, 教育施設　●　●　●　●　●　● 住宅　●　●　●　●　● その他　●　●　●　●　● 測定対象室及び測定個所数　(・)図示（図面番号：　A-12、A-13、A-14　）　・（　　） 測定方法（(・)パッシブ法　・　アクティブ法） 測定時期　(・)（　改修前、改修後　） 報告書提出部数　２部
12　特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
13　騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
14　工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版）)に従い撮影する。 提出部数１部　用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。
15　完成図等 (1.8.2) (1.8.3)	作成する　（(・)完成図　・　保全に関する資料　・（　　）） 完成図作図範囲（設計図を訂正） 完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本２部（原図サイズ）により提出すること。
16　完成写真	(・)デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部 箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。
17　設備工事との取合い	施工範囲 (・)図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 (・)図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・　自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・　駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ 施工図 (・)設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
18　既存部分等への処理　(1.3.13)	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。
19　事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
20　消防提出書類	1）　消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 (・)本工事（(・)建築工事　・　電気設備工事　・　機械設備工事）　・　別途工事 2）　防火対象物使用開始届出書
21　労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第１項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
22　不正軽油の使用の禁止	1）　一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2）　調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3）　是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等
23　屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第２３条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。
24　石綿含有建材の調査 (1.5.1)	(・)石綿含有建材の事前調査 調査範囲　(・)故修部分すべて　・（　　） 貸与資料　・既存の設計図書　(・)石綿含有建材の調査報告書　・（　　） ・分析調査 分析対象　アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル　採取箇所　・図面(図面番号：　）・（　　）

② 仮設工事 1　騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	・　防音パネル　設置範囲　・　図示（図面番号：　　） ・　防音シート　設置範囲　（　）
② 足場	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年４月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の２の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2.2.1)　内部足場の種別（参考）(・)脚立　・　足場板　(・)その他（　階段足場、ｼｬﾌﾄ内足場　） (表2.2.1)　外部足場の種別（参考）(・)枠組本足場手摺先行据置式　・移動足場　・高所作業車 外部足場設置範囲（参考）(・)外部改修部　・　設備改修部　(・)昇降用　・　転落防止 防護シート等による養生　(・)適用する　・　適用しない 足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。 つり足場、張出し足場又は高さが１０ｍ以上の足場で、組立から解体までの期間が６０日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。 なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1）　足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第１９条の２に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2）　労働安全衛生法第８１条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第８８条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3）　全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記１）又は２）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者
③ 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生　・　図示（　　） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（　　） 保管場所　・　構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 (・)行う　・　行わない
④ 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設間仕切り　・　Ａ種　(・)Ｂ種　・　Ｃ種　(・)図示 合板　厚さ　・　９㎜　・（　　） せっこうボード　厚さ　(・)9.5㎜　・（　　） 合板又は石こうボードの塗装　・　行う　(・)行わない 仮設扉　設置箇所　(・)図示（　A-42、A-43、A-45、A-46、A-47　） 仕様　・　合板張り木製扉　・　（　図示　）
5　監督員事務所 (2.4.1)	・　構内建物内の一部を使用する。 ・　設置する　・　設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6　監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑦ 仮設便所	構内既存の施設 ・　利用できる　(・)利用できない
⑧ 工事用水	構内既存の施設 (・)利用できる（　・　有償 (・)無償）　・　利用できない
⑨ 工事用電力	構内既存の施設 (・)利用できる（　・　有償 (・)無償）　・　利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
10　交通誘導警備員	配置　(・)図示（　A-70　）

特記	月	日						
			U 建築設計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO. A-01
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計			改修特記仕様書（１）	**
			登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法	種 別	施 工 箇 所
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3	
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ・ E-2	

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1BI,P2AI,T1BI,P0DI,M3DI,M4DI)
材質 ・( )
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（スキンあり）
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材２種２号
厚さ ・( )
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示（図面番号： ）

(3.3.3)(2)(イ) 脱気装置 (M3D,P0D,P0DI,M3DI,M4DI)
(3.3.3)(3) ・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類（ ） 使用量（ ）

(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・( )
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・( )
(表8.1.5) こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ ａ種 ・ ｂ種 ・ｃ種
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材（ ）
・ れんが（材種 ・ ＪＩＳ R1250）

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)
改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・( )

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・( )

断熱工法の断熱材 (M3ASI,M4ASI,P0ASI)
材質、厚さ（ ）
図示 ・( )

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2		

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.2)
ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・( )
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・図示（ ）
断熱工法の断熱材 (P0SI,S4SI,S3SI,M4SI)
材質、厚さ（ ）
・図示（ ）

(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3)

工法	種別	種別	仕上塗料
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1(SI-F1) ・ S-F2(SI-F2)		

(3.5.3) 脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない
(3.5.4) 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示（図面番号： ）
増張り ・ 図示（図面番号： ）
保護層の施工・ 図示（図面番号： ）

④ 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(1)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
(・) P0X ・ L4X	(・) X-1 ・ X-2	平場部分(屋上)	フッ素仕上
(・) P0X ・ L4X	・ X-1 (・) X-2	立上り部分(屋上、笠木天端)	フッ素仕上

脱気装置
(・) 設ける（設置数量 (・) 図示（図面番号：A-15 ）、材質（ｽﾃﾝﾚｽ製 ））
・ 設けない

(3.6.3)(2)

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2 ・	

保護層 ・ 図示（図面番号： ）

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(3)(イ)
(3.2.6)(3)(カ)
(M4AS,M4ASI,M4C,M4DI) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

⑥ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)
材料

種類	材種	施工箇所
(・) SR-1	シリコーン系	ｶﾞﾗｽ廻り
(・) MS-2	変成シリコーン系	建具廻り
(・) PS-2	ポリサルファイド系	ｽﾛｰﾌﾞ
・ PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4～7) 工法
(・) シーリング充填工法
(・) シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法

(3.7.8) シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (・) 行わない

7 とい
(3.8.2) 材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（カラー） ・ 配管用鋼管（白管）
(表3.8.1) ・( )
(表3.8.2) とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工法 ・ 図示（図面番号： ）

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(3) 部材の種類
(表3.9.1) ・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・（ ））

(3.9.3)(2) 固定金具の間隔（ mm）
固定方法 ・（ ）

(3.9.2)(4) 表面処理 ・（ ）
(3.9.3) 工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示（図面番号： ）
下地補修の工法 ・ 図示（図面番号： ）
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示（図面番号： ）
笠木固定金具の工法 ・ 図示（図面番号： ）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

⑨ 保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	(・)防水	(・)10年 ・ 年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

④ 外壁改修工事

① 施工数量調査
(・) 行う ・ 行わない
調査範囲 (・) 全面 ・（ ）
調査項目 (・) ひび割れ部（・ 幅0.2mm未満 (・) 0.2mm以上～1.0mm以下 (・) 1.0mm超）
(・) はがれ及びはく落部分
(・) 浮き部
調査方法 (・) 打診、目視及びクラックスケール等（(・) 足場 ・ ゴンドラ）
報告書 ２部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

② 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・（ ）
(・) モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	(・) 樹脂注入工法 (・) Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	(・) 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	(・) アンカーピンニング (・) 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
(・) 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	(・) 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り (・) 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

③ 改修工法等
(4.2.2)(1)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)
(・) 樹脂注入工法
種類 (・) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入間隔（ ）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
(・) 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う (・) 行わない
・ 抜取り個数（ ）
・ 抜取り部分補修方法（ ）

(4.2.2)(2)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)
(・) Ｕカットシール材充填工法
材料 (・) シーリング用材充填
（(・)ＰＵ－１ ・ ＰＵ－２ ・（ ））
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
(・) 行う ・ 行わない

(4.2.2)(3)
(4.3.6)
(4.4.7)
・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(4)
(4.3.7)
(4.4.8)
(・) 充填工法
材料 (・) エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(7)
(4.4.9)
・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
・ 既製目地材の適用及び形状（ ）
・ 仕上げ厚（ 50mm ）

(4.2.2)(5)
(4.4.10)
(図4.4.1)
(・) アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 (・) 標準 ・（ ）
材料 (・) ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(5)
(4.4.11)
(図4.4.2)
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(5)
(4.4.12)
(図4.4.2)
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(6)
(4.4.13)
(図4.4.3)
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・（ ）
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(6)
(4.4.14)
(図4.4.4)
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(6)
(4.4.15)
(図4.4.4)
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・（ ）
材料 ・ ポリマーセメントスラリー（ ）
・ 注入口付アンカーピン（ ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ））
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(8)
(4.5.7)
・ タイル部分張替え工法
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤（一液反応硬化形変成シリコーン樹脂） ・ （ ）

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・ 役物（ ・ 一体成形 ・ 接着加工）
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

(4.2.2)(8)
(4.5.8)
(表4.5.4)
・ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5～8
		・ 改良積み上げ張り	7～10
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・ モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15) ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数（ 本）

(4.2.2)(9)
(4.5.16)
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置 寸法 × ）
検査 シーリング接着性試験
・ 行う（ ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験）

特記

月	日	

Ｕ 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号 内 田 貴 之

設計番号 | 年 月 日 | 縮尺 | 設計

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（２）

NO. A-02 **
原図：A2

④ 塗り仕上げ
(4.2.2)(10)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	(・) 外装薄塗材Ｅ	(・) 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて
		・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー
複層仕上塗材	(・) 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理 (・) 凹凸状	吹付け
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
		・ ゆず肌状	吹付け

・ 外装厚塗Ｃの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（　　kg／m2）

(4.7.2)　・ マスチック塗材塗り　・ Ａ種　・ Ｂ種
(表4.7.1)

(表4.2.5)　複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外　観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
(・) ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	(・) 水系	(・) 艶有　・ 艶無

（注）　艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(表4.2.6)　外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状 ・ 凸部処理	・ 吹付け
	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ ローラー

(4.6.3)　既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
(・) 高圧水洗工法	外壁
・ 塗膜はく離剤工法	
(・) 水洗いエ法（ ・ デッキブラシ (・) 高圧ポンプ(10～15MPa)）	巾木

(4.6.4)　下地調整
(・) C-1　・ C-2　・ CM-2　・ E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

1　改修工法　(・) かぶせ工法
(5.1.3)　(・) カバー工法　・ 持出し工法　・ ノンシール工法
・ 撤去工法
・ はつり工法　・ 引抜き工法

2　防火戸　・ 例示仕様　・ 個別認定（認定番号：　　）
(5.1.4)　・ 自動閉鎖機構　・ 図示（図面番号：　　）

3　見本の製作　・ 製作する　・ 製作しない
(5.1.5)

4　防犯建物部品　・ 図示（図面番号：　　）
(5.1.7)

5　ブラインドボックス等　・ 再使用する　・ 再使用しない
(5.1.6)(3)

⑥ アルミニウム製建具　外部建具の性能等級等　(・) Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
(5.2.2)　(・) 枠の見込み寸法　・ 70mm　(・)（ 図示 ）
(5.2.4)　・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
(表5.2.1)　・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ 結露水の処理方法　・ 図示（図面番号：　　）

(表5.2.2)　アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・ 外部に面する建具（過酷な環境の屋外）
・ BA-1　・ BA-2　・（　　）
(・) 外部に面する建具（一般的な環境の屋外）
・ BB-1　(・) BB-2　・（　　）
・ 内部に面する建具
・ BC-1　・ BC-2　・（　　）

7　網戸　・ 可動式　・ 固定式
(5.2.3)(5)　防虫網の材質
・ 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ ステンレス(SUS316)製
網目
・ 16メッシュ　・ 18メッシュ

8　樹脂製建具　外部に面する樹脂製建具の性能等級等
(5.3.2)～(5.3.5)　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
(表5.3.1)～
(表5.3.3)
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
ガラス　・ 複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・ 図示（図面番号：　　）
水切り　・ 図示（図面番号：　　）
ぜん板　・ 図示（図面番号：　　）
丁番　・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による　・ 図示（図面番号：　　）

9　鋼製建具　鋼製建具の性能等級
(5.4.2)
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）

(5.4.4)　・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　A-52　）

１０　鋼製軽量建具　鋼製軽量建具の性能等級
(5.5.2)　・ 簡易気密性ドアセット
(5.5.5)　・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
(5.2.2)(2)　・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
(5.5.3)　・ 耐震ドアセット（等級　　）
(5.5.4)　・ H>2400又はW>950の建具
(5.6.3)(1)　鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　A-52　）
(5.2.3)(1)

表面仕上げ
・ 焼付け塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板（ ・ HL　・ 鏡面）
・（　　）

１１　ステンレス製建具　ステンレス製建具の性能等級
(5.6.2)　・ 簡易気密性ドアセット
(5.4.2)　・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）

(5.6.3)　材料　・ SUS304　・（　　）

(5.6.4)　表面仕上げ　・ HL仕上げ　・（　　）

(5.6.5)　曲げ加工　・ 普通曲げ　・ 角出し曲げ

⑫ 建具用金物　金物の見え掛かり部等の材質等
(5.7.2)　(・) 改修標準仕様書(表5.7.1)による
・ 図示（図面番号：　　）

(5.7.4)　マスターキー　・ 製作する　(・) 製作しない（既設マスター合わせ）
引渡用鍵箱　・ 必要　(・) 不要

１３　自動ドア開閉装置　駆動装置及び検出装置の性能値（ ・ 多機能トイレ出入口用 ）
(5.8.2)　・ 図示（図面番号：　　）

(5.8.3)　引き戸用検出装置の種類
(表5.8.4)　・ 図示（図面番号：　　）

(5.8.3)(7)　凍結防止措置　・ あり　・ なし

⑭ 自閉式上吊り引戸装置　自閉式上吊り引戸装置の性能値
(5.9.3)　(・) 改修標準仕様書(表5.9.1)による　・（　　）

１５　重量シャッター　種類
(5.10.2)　・ 一般重量シャッター　・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター

耐風圧強度（　　Pa以上）

(5.10.2)(3)　開閉機能
(表5.10.1)　・ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式

(5.10.2)(6)　一般重量シャッターのシャッターケース
(5.10.3)　・ 設ける　・ 設けない
・ めっき付着量　・ Z12　・ F12　・（　　）

１６　軽量シャッター　開閉形式
(5.11.2)　・ 上部電動式（手動併用）　・ 手動式

(表5.11.1)　耐風圧強度（　　Pa以上）
(5.11.3)
(5.11.4)　スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量　JIS G 3312　・ Z06　・ F06　・（　　）
JIS G 3322　・ AZ90　・（　　）

１７　オーバーヘッドドア　型式及び機構
セクション材料
(5.12.2)　・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ　・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度（　　Pa以上）

開閉方式
・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式

収納形式
・ スタンダード形　・ ローヘッド形　・ ハイリフト形　・ バーチカル形

(5.12.3)　ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板

⑱ 板ガラス　(・) 図示（図面番号：A-41、A-60 ）
(5.13.2)(1)
(5.13.4)

⑲ ガラス留め材　(・) シーリング　・ ガスケット（　　）
(5.13.2)(2)

⑳ ガラス溝の寸法、形状等　・ 図示（図面番号：　　）
(5.13.3)　(・) 改修標準仕様書（表5.13.1） による

２１　ガラスブロック積み　ガラスブロック
(5.13.5)　表面形状、寸法、厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・ 図示（図面番号：　　）

化粧カバー　・ 図示（図面番号：　　）
工法　・ 図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥ 内装改修工事

① 一般事項　既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲
(6.1.3)(2)

改修部分	改 修 範 囲
(・) 天井	(・) 図示
(・) 壁	(・) 図示
(・) 床	(・) 図示

(6.1.3)(3)　天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
(・) 図示（図面番号：A-59　）　・（　　）

(6.1.3)(5)　天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
(・) 図示（図面番号：　　）　・（　　）

② 既存床撤去、下地補修　既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
(6.2.2)(1)(ｱ)　(・) 行う　・ 行わない

(6.2.2)(1)(ｲ)　合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法

(6.2.2)(3)　改修後の床の清掃範囲
(・) 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

③ 既存壁撤去、下地補修　既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
(6.3.2)　(・)（ 既設同等 ）

4　木下地等　表面仕上げ
(6.5.1)(3)　機械加工　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
(表6.5.1)　手加工　・ Ｈ－Ａ種　・ Ｈ－Ｂ種　・ Ｈ－Ｃ種
(表6.5.2)
(6.5.2)(1)(ｲ)　木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）
(表6.5.3)

部材名称	種　別
下地材	・ Ａ種　・ Ｂ種
造作材	・ Ａ種　・ Ｂ種

(6.5.2)(2)(ｱ)　製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号：　　)	・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号：　　)	・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号：　　)	・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）

(6.5.2)(2)(ｲ)　「製材の日本農林規格」以外の製材
(6.5.2)(2)(ｳ)　樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率　・ 図示（図面番号：　　）
(表6.5.4)　造作材の材面の品質　・ Ａ種　・（　　）
樹種

部　位	樹　種	県　産　材
巾木、額縁	米栂	○

(6.5.2)(3)(ｱ)　造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部　位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号：　　)	・ 図示 (図面番号：　　)	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号：　　)	・ 図示 (図面番号：　　)	・（　　）
化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示 (図面番号：　　)		・（　　）

特記

月	日	

Ｕ　建　築　設　計
三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之

設計番号　年　月　日
設計
縮尺　1/200

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（３）

NO.　A-03
**
原図：A2

(6.5.2)(2)(イ)
(6.5.2)(2)(ウ)
(表6.5.2)

「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率　・　図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・　Ａ種　・（　　）
樹種

(5.5.6)(1)～
(5.5.9)(1)

部　位	樹　種	県　産　材

(6.5.2)(3)(ア)

造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部　位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・　図示 （図面番号：　　）	・　図示 （図面番号：　　）	
化粧ばり造作用集成材	・　図示 （図面番号：　　）	・　図示 （図面番号：　　）	・（　　）
化粧ばり構造用造作用集成柱	・　図示 （図面番号：　　）		・（　　）

(6.5.2)(3)(イ)

「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質　・　図示（図面番号：　　）
含水率　・　１５%以下　・（　　）

(6.5.2)(4)(ア)

造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・　図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）

(6.5.2)(4)(イ)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質、防虫処理　・　図示（図面番号：　　）
含水率　・　１４%以下　・（　　）

(6.5.2)(5)

「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板
品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法　・　図示（図面番号：　　）

(6.5.2)(6)

・　合板等

品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.3)(1)

接合具等
造作材化粧面の釘打ち　・　隠し釘打ち　・　（　　）

(6.5.3)(2)

諸金物
形状、寸法及び材質　・　図示（図面番号：　　）

(6.5.5)(1)

・　防腐、防蟻処理
適用部位　図示（図面番号：　　）
保存処理性能区分（　　）
薬剤の塗布等の処理方法（　　）
附属書Ａに基づく表面処理用木材保存剤　・　適用する（　・薬剤の種類（　　）　・　適用部材（　　））
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（　　）

(6.5.5)(2)

・　防虫処理
・　図示（図面番号：　　）

⑤ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
(・) 屋内　(・) 19形　・（　　）
(6.6.2)　・　屋外　・　25形　・（　　）
(表6.6.1)
(6.6.3)　形式及び寸法
・　屋外　・　図示（図面番号：　　）
・　耐震天井　・　図示（図面番号：　　）
・　ふところ≧3.0m　・　改修標準仕様書(6.6.4)(8)　・　図示（図面番号：　　）

(6.6.4)

既存埋込みインサート
・　使用する　(・) 使用しない　（※使用する場合は、確認試験を行う）
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験
・　行う（　図示（図面番号：　　））　(・) 行わない
・　確認試験の箇所数（　　箇所）　・　確認強度（　　）
耐震性・耐風圧性を考慮した補強
・　図示（図面番号：　　）

⑥ 軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)

スタッド、ランナー等の種類
(・) 図示（図面番号：　A-49-、A-51、A-53、A-55　　）

⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

材料
(・) ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
ＦＳ	無地	2.0mm	

(6.8.2)
(6.8.2)(1)

(6.8.2)(2)

(・) ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考
ＫＴ			2.0mm	

(6.8.2)(3)(ア)(イ)

・　帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	寸法	厚さ	備考

(6.8.2)(3)(ウ)

・　視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(3)(エ)

・　耐動荷重性床シート

種類	厚さ	備考

(6.8.2)(3)(オ)(カ)

・　防滑性床シート又は床タイル

種類	寸法	厚さ	備考

(6.8.2)(5)

・　ゴム床タイル

種類	色柄	寸法	厚さ	備考

(6.8.3)(1)

工法
下地　(・) モルタル塗り　・　セルフレベリング材塗り　・　木下地　・　その他（　　）

(6.8.3)(2)(ウ)

ビニル床シート張り
熱溶接工法　(・) 適用する　・　適用しない

8　カーペット敷き
(6.9.2)(1)
(表6.9.1)

・　織じゅうたん

種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
・　Ａ種 ・　Ｂ種 ・　Ｃ種	・　そ毛 ・　紡糸 ・（　）	・　カットパイル ・　ループパイル ・　カット、ループ併用	・　人体帯電圧 3KV以下 ・（　　）	・（　　）	・　無地 ・　柄物

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.2)(2)
(表6.9.2)

・　タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・　カットパイル ・　ループパイル ・　カット、ループ併用		・　人体帯電圧 3KV以下 ・（　　）	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・（　　）

(6.9.2)(3)
(表6.9.2)

・　タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・　カットパイル ・　ループパイル	・500×500 ・（　　）	・6.5 ・（　　）	・（　　）

(6.9.2)(4)　下敷き材　・　第２種第２号、厚さ８mm　・（　　）
(6.9.2)(5)　見切り、押え金物　・　適用する（材質、種類及び形状　・　図示（図面番号：　　））

(6.9.3)(3)

織じゅうたんの接合方法
・　ヒートボンド工法　・　（　　）

(6.9.3)(5)

タイルカーペットの敷き方

平場	・　市松敷き　・　模様流し　・（　　）	
階段部分	・　市松敷き　・　模様流し　・（　　）	

9　合成樹脂塗床
(6.10.3)(2)(a)
(表6.10.4)

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・　平滑仕上げ　・　防滑仕上げ　・　つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)(b)
(6.10.3)(3)
(表6.10.5)～
(表6.10.8)

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
・　薄膜流しのべ仕上げ（・　平滑　・　防滑）　・　厚膜流しのべ仕上げ（・　平滑　・　防滑）
・　樹脂モルタル仕上げ（・　平滑　・　防滑）　・　薄膜型塗床仕上げ（・　平滑）

１０　フローリング張り
(6.11.4)
(表6.11.2)

・　釘留め工法

材料	種別	樹種
・　フローリングボード （根太張用）		・　なら ・（　　）
・　複合フローリング （根太張用）	・　Ａ種 ・　Ｂ種 ・　Ｃ種	

防湿処理　・　図示（図面番号：　　）

(6.11.5)
(表6.11.5)
(表6.11.6)

・　接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・　フローリングボード（直張用） ・　フローリングブロック（直張用） ・　複合フローリング（直張用） ・Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種	・　なら ・（　　）		

緩衝材　・　合成樹脂発泡シート　・　図示（図面番号：　　）

(6.11.6)

塗替え
下地調整　・　（　　）
塗装
・　ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種）
・　オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・　生地のままワックス塗り
・（　　）

１１　畳敷き
(6.12.2)
(表6.12.1)

種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種
・　Ｄ種の畳床　ＫＴ－（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ｋ　・Ｎ　）

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り
(6.13.2)
(表6.13.1)

材種	種別		厚さ(mm)
(・) せっこうボード		壁	(・) 9.5(準不燃) (・) 12.5(不燃)
		天井	(・) 9.5(準不燃) ・　12.5(不燃)
・　化粧せっこうボード	・　トラバーチン模様		・　9.5(不燃)　・　9.5(準不燃)
	・　木目模様		・　9.5(不燃)　・　9.5(準不燃)
(・) ロックウール化粧吸音板	・　普通		(・) 9(　)・(　)
	・　立体模様		・　9(　)・(　)
・　けい酸カルシウム板	・　タイプⅡ0.8FK		
(・) 強化せっこうボード			(・) 21(不燃)

(6.13.3)(4)(ウ)

合板類の張付け
・　Ａ種　・　Ｂ種

(6.13.3)(6)(ア)
(表6.13.5)

せっこうボードの目地工法
(・) 継目処理　(・) 突付け　(・) 目透し

１３　壁紙張り
(6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能
		・　不燃　・　準不燃
		・　不燃　・　準不燃
		・　不燃　・　準不燃

⑭ モルタル塗り
(6.15.3)
(6.15.5)
(6.15.6)

モルタル　(・) 現場調合材料　・　既調合材料
既製目地材　・　使用する（形状：　　）
床の目地　・　図示（図面番号：　　）
下地処理　・　壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超　図示（図面番号：　　）

⑮ タイル張り
(6.16.2)
(6.16.3)

伸縮調整目地
位置　・　図示（図面番号：　　）

タイルの種類

施工箇所	工　法	種　類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役　物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無
ｳﾁ部ｽﾛｰﾌﾟ	ﾓﾙﾀﾙ貼り	ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾙ	100角	あり	無釉		標準	

(6.16.3)(2)

試験張り　・　行う　・　行わない
見本焼き　・　行う　・　行わない
既調合モルタル　・　使用できる　・　使用できない

１６　セルフレベリング材塗り
(6.17.2)
(6.17.3)

・　せっこう系　・　セメント系
塗厚（　　）mm

１７　断熱材
(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
・　ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・　押出法ポリスチレンフォーム			
・　Ａ種硬質ウレタンフォーム			
・　フェノールフォーム			

(9.5.3)

断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・　Ａ種１ ・　Ａ種１Ｈ ・（　　）	・（　　）	・　窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（　　）

⑦ 塗装改修工事

１　材料
(7.1.3)

・　屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・　次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整
(7.2.1～7.2.7)
(表7.2.1)～
(表7.2.7)

既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
(・) 図示（図面番号：　　）

種別

下地	種別	ひび割れ部の補修
(・) 木部	・　RA種　(・) RB種　・　RC種	
(・) 鉄鋼面	・　RA種　(・) RB種　・　RC種	
・　亜鉛めっき鋼面	・　RA種　・　RB種　・　RC種	
(・) モルタル、プラスター面	・　RA種　(・) RB種　・　RC種	(・) 行う
・　コンクリート、ＡＬＣパネル面	・　RA種　・　RB種　・　RC種	・　行う
・　コンクリート、押出成形セメント板面	・　RA種　・　RB種　・　RC種	・　行う
(・) せっこうボード、その他ボード面	・　RA種　・　RB種　(・) RC種	

③ 素地ごしらえ
(7.3.1～7.3.7)
(表7.3.1)～
(表7.3.7)

種別

下地	種別
(・) 木部	(・) Ａ種　・　Ｂ種
・　鉄鋼面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・Ｃ種
・　亜鉛めっき鋼面	・　Ａ種　・　Ｂ種
・　モルタル、プラスター面	・　Ａ種　・　Ｂ種
・　コンクリート、ＡＬＣパネル面	・　Ａ種　・　Ｂ種
・　コンクリート、押出成形セメント板面	・　Ａ種　・　Ｂ種
(・) せっこうボード、その他ボード面	(・) Ａ種　(・) Ｂ種

④ 錆止め塗料塗り
(7.4.2)
(7.4.3)
(表7.4.3)～
(表7.4.5)

錆止め塗料種別
鉄鋼面　・　Ａ種　(・) Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種
亜鉛めっき鋼面　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面　・　Ａ種　・　Ｂ種　(・) Ｃ種
亜鉛めっき鋼面　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

５　合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
(7.5.3～7.5.4)
(表7.5.1)～
(表7.5.3)

塗料種別　・　１種　・（　　）
種別

下地	種別
・　木部	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
・　鉄鋼面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
・　亜鉛めっき鋼面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

６　クリヤラッカー塗り(CL)
(7.6.2)
(表7.6.1)

種別
木部　・　Ａ種　・　Ｂ種

特記

月	日	

Ｕ　建　築　設　計
三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之

設計番号　年　月　日
設計
縮尺　1/200

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（４）

NO.　A-04　**
原図：A2

7　アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
(7.7.2)
(表7.7.1)

種別
・　A種　　・　B種

⑧　耐候性塗料塗り(DP)
(7.8.2)～(7.8.4)
(表7.8.1)～(表7.8.3)

上塗り等級
(・)　1級（フッ素系）　・　2級（シリコン系）　・　3級（ポリウレタン系）

下地	種別
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・　A－1種　・　A－2種 ・　B－1種　・　B－2種 ・　C－1種　・　C－2種

⑨　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～(表7.9.4)

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・　A種　・　B種　・　C種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	(・)　A種　(・)　B種　・　C種
鉄鋼面（屋内）	・　A種　・　B種　・　C種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・　A種　・　B種　・　C種

⑩　合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

種別
・　A種　(・)　B種　・　C種
しみ止め　・（　　）

１１　ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.11.2)
(表7.11.1)

種別
・　A種　・　B種
工程１の着色　・　適用する　・　適用しない

１２　ステイン塗り(OS)
(7.12.2)
(表7.12.1)

種類　・　ピグメントステイン塗り　・　オイルステイン塗り
オイルステイン塗りの工程、塗料　・（　　）

１３　木材保護塗料塗り(WP)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　A種　・　B種

⑧の１　耐震改修工事　共通事項

（一般事項）
①適用範囲
(8.1.1)
(8.1.2)

工事内容
・　現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・　鉄骨ブレースの設置工事
・　柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・　柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・　柱補強工事（連続繊維補強工法）
・　耐震スリット新設工事
・　免震改修・制振改修工事

工事種別
(・)　鉄筋工事
(・)　あと施工アンカー工事
(・)　コンクリート工事
(・)　鉄骨工事
(・)　グラウト工事
・　連続繊維補強工事
・　スリット新設工事
・　免震改修、制振改修工事
(・)　土工事及び地業工事

⑧の２　耐震改修工事　撤去工事

①既存部分の撤去等
(8.21.2)

撤去の範囲
(・)　図示（図面番号：　　）
・　新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
(・)　既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・（　　）

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲
(・)　本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
・　設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・（　　）
撤去範囲　(・)　図示

②既存構造体の撤去
(8.21.2)
(8.22.2)
(8.23.2)
(8.24.4)

既存構造体の撤去
撤去範囲　・　図示（図面番号：　　）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・既存鉄筋は切断せず残す	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
・コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
(・)コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 (・)（　全ての撤去部分　）	

はつりだした鉄筋の処置
・　鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・（　　）

はつりだした鉄骨の処置
・　発泡スチロール等で養生する。
・（　　）

（既存部分の処理）
３　既存構造体コンクリート面の目荒らし
(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

既存構造体コンクリート面の目荒らし
目荒らし程度
・　平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように施す。
・　図示（図面番号：　　）

⑧の３　耐震改修工事　鉄筋工事

①鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

材料　改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径(mm)
(・)　SD295	D16以下
(・)　SD345	D19以上D25以下
・　SD390	
・（　　）	

２　溶接金網
(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

３　加工
(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径　・　図示（図面番号：　　）

④鉄筋の継手及び定着
(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	(・)　D１６以下	
ガス圧接	・　D１９以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
(・)　改修標準仕様書(8.3.4)(3)(ｱ)による
・　図示（図面番号：　　）

継手位置
・　各部配筋参考図による
・　図示（図面番号：　　）

先組み工法等
・　柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ
(・)　改修標準仕様書(表8.3.4)による
・　（表8.3.4）のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法　図示（図面番号：　　）
・　図示（図面番号：　　）

機械式定着工法　適用箇所（　　）　種類（　　）

帯筋組立の形、継手及び定着
・　図示（図面番号：　　）

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(8.3.5)
(表8.3.6)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ　(・)（　40　）mm

⑥各部配筋

(・)　図示（図面番号：A-58、A-62、A-65　）

７　ガス圧接
(8.3.8)

圧接完了後の試験
超音波探傷試験　・　行う　・　行わない

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)
８　割裂補強筋
(8.21.6)
(8.22.7)

割裂補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼 ・（　　）	・　R235 ・（　　） ・（　　）	・　6Φ ・　9Φ ・（　）	スパイラルの径(mm) （　　） スパイラルのピッチ(mm) （　　）	・図示 （図面番号：　　）
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋) ・（　　）	・　295 ・（　　）	・　10 ・（　）	壁内方向筋 （　　） 壁面外方向筋 （　　）	

９　鉄筋の機械式継手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

・　機械式継手
種類　（　　）　適用箇所　（　　）
性能　（　　）　鉄筋相互のあき　（　　）mm
施工完了後の継手部の試験　（　　）
不合格となった継手部への措置等　（　　）

・　溶接継手
工法　（　　）　適用箇所　（　　）
性能　（　　）　鉄筋相互のあき　（　　）mm
溶接完了後の溶接部の試験　（　　）
不合格となった溶接部への措置等　（　　）

⑧の４　耐震改修工事　コンクリート工事

（コンクリート工事一般事項）
①コンクリートの種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

コンクリートの類別
(・)　Ⅰ類　・　Ⅱ類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
(・)　24+S	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	(・)2.3t/m3程度	18
(・)（　24+S　）	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		18
(・)（　21　）	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ		15

(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ
・　36	・　１種 ・　２種			
・（　　）				

②構造体コンクリートの仕上り
(8.1.4)
(表8.1.4)
(表8.1.5)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・　A種　・　B種　・　C種

コンクリートの仕上りの平たんさ
・　a種　(・)　b種　・　c種

（コンクリート）
③コンクリートの材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類
(・)　普通ポルトランドセメント
・　高炉セメントA種
・　シリカセメントA種
・　フライアッシュセメントA種
・（　　）
・　高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種
適用箇所　（　　）

骨材
アルカリシリカ反応性による区分
・　ＡＬ（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・　Ａ（安全と認められる骨材を使用）
なお、ＡＬで規制できない場合は、Ａとし、その試験は、施工着手前、工事中１回／６ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・　特殊な骨材の使用
・　フェロニッケルスラグ細骨材
・　銅スラグ細骨材
・　電気炉酸化スラグ骨材
・　再生骨材H（普通エコセメントを使用するコンクリートに限る）

④混和材料
(8.2.5)

(・)　混和剤
混和剤の種類
(・)　改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による
・　図示（図面番号：　　）

・　混和材
混和材の種類
・　改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による
・　図示（図面番号：　　）

⑤調合管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

構造体強度補正値（S）
・　３N/mm2　・　６N/mm2　(・)（　改修標準仕様書表8.2.4による　）

６　養生
(8.7.7)

・　普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間　（　　）

⑦型枠
(8.2.7)
(8.7.8)

材料
(・)　複合合板（厚さ　(・)　12mm　・（　　））
スリーブ
・　材種（　　）　規格（　　）

型枠存置期間及び取外し
・　普通エコセメント使用の場合の最小存置期間　（　　）

⑧暑中コンクリート
(8.10.2)

構造体強度補正値（S）
(・)　6N/mm2　・（　　）

⑨無筋コンクリート
(8.11.1)

コンクリートの種類
(・)　普通コンクリート　・（　　）
設計基準強度
(・)　18N/mm2　・（　　）
スランプ
(・)　15cm　・18cm　・（　　）

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)
１０　コンクリートの打込み工法等
(8.21.8)
(8.23.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(ｱ)及び(2)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(ｲ)及び(3)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(ｱ)及び(2)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(ｲ)及び(3)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）

(8.23.6)

柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・　発泡プラスチック保温材等を埋込む
・（　　）

柱頭柱脚の隙間寸法
・　図示（図面番号：　　）

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ
・　図示（図面番号：　　）　・　60mm　・（　　）

１１　増設壁工事後の仕上げ
(8.21.10)
(8.23.7)

・　図示（図面番号：　　）

特記		月	日		U　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		――	改修特記仕様書（５）	A-05
					登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					**

原図：A2

⑧の５ 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

(あと施工アンカー)

① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)

種類
(・) 金属系 セットの方式 (・) 本体打込み式（ ・ 改良型 ・ 従来型）
径及び埋込み長さ (・) 図示（図面番号： ）
引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
接合筋の種類・径・長さ (・) 図示（図面番号： ）

(・) 接着系 アンカーの種類 (・) カプセル型回転・打撃式 ・（ ）
接着剤の品質 (・) 有機系 (・) 無機系
径及び埋込み長さ (・) 図示（図面番号： ）
引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
アンカー筋の種類 (・) 図示（図面番号： ）
アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示（図面番号： ）
あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う (・) 行わない

② あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)

穿孔
埋込み配管等の探査の方法
(・) 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ はつり出しによる。
・（ ）

あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する (・) 実施しない
試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・（ ）
１ロットの単位 ・ １日に施工されたものの径及び仕様ごと ・（ ）
試験の箇所数 ・ １ロットに対し３本（無作為） ・（ ）
確認強度 ・（ ）

(場所打ちコンクリート壁の増設工事)

３ シアコネクター

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
径[mm] ・ Ｄ１０
長さ[mm] ・ 増打壁厚－４０ ・（ ）
彫込み深さ[mm] ・ ５ｄ(d: シアコネクタの径)以上 ・（ ）
間隔[mm] ・ ５００×５００

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・（ ）

⑧の６ 耐震改修工事 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場 (8.1.5)

㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
(・) Ｊ ・ Ｒ ・ Ｍ ・ Ｈ ・ Ｓ

２ 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)

施工管理技術者（鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等）の配置
・ しない ・ する

③ 鋼材 (8.2.8)

種類・形状及び寸法 (・) 図示（図面番号： ）

④ 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)

高力ボルトの適用
(・) トルシア形高力ボルト２種（S10T）
・ JIS形高力ボルト２種（F10T）
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルトI種（F8T相当）

ねじの呼び
・ 図示（図面番号： ）

すべり試験
・ 行う（試験方法等 図示：図面番号 ）

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの５倍を超える場合の回転量
・（ °）

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの５倍を超える場合の回転量
・（ °）

⑤ 溶接材料 (8.2.10)

(・) 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・ 図示（図面番号： ）

６ 仮組 (8.13.10)

仮組の実施
・ 実施する（ ） ・ 実施しない

⑦ 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)

溶接作業における技能資格者の技量付加試験
・ 実施する（ ） (・) 実施しない

８ 溶接の準備 (8.15.4)

開先の形状 ・ 図示（図面番号： ）

９ 溶接施工 (8.15.7)

鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ）
切断面の仕上げ ・（ ）
鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
１．相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。
２．製作工場がＪ、Ｒ、Ｍグレードの場合は、溶接技能者がＮＰＯ法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者（溶接技能者・Ａ級以上）又はＡＷ検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。また、製作工場がＨ、Ｓグレードの場合は、溶接技能者がＡＷ検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示（図面番号： ）
スカラップの形状 ・ 図示（図面番号： ）

⑩ 溶接部の試験 (8.15.12)

溶接部の外観試験 ・ 試験方法（ ） ・ 確認方法（ ）

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
工場溶接の場合
・ 全数試験とする
(・) 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。
平均出検品質限界(AOQL) (・) 4.0% ・ 2.5% ・（ ）
検査水準 (・) 第６水準 ・（ ）
ロットの構成（ ）
工事現場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。
平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・（ ）

⑪ 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) （ ）種
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示（図面番号： ）
・ 改修標準仕様書(7.3.3)(表7.3.2) （ A ）種
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 (・)図示（図面番号： ）

⑫ 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)

部位	種類	材料・工法	耐火性能
鉄骨梁	耐火材吹付	ﾛｯｸｳｰﾙ	1時間耐火

１３ ブレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)

・ 図示（図面番号： ）

１４ スタッド (8.2.11)

スタッドの種類 ・（ ）

⑧の７ 耐震改修工事 グラウト工事

(グラウト工事)

① モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)

構造体用モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。
無収縮モルタル
(・) 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による
・（ ）
グラウト材
・ 改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による
・（ ）	・（ ）	・（ ）

２ 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)

⑧の８ 耐震改修工事 柱補強工事

(連続繊維補強工事)

１ 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)

連続繊維による補強、補修工法
・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
・（ ）

２ 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)

連続繊維の材料
・（ ）
工法
・（ ）
引張強度（含浸硬化後）
・（ ）
ヤング係数（含浸硬化後）
・（ ）

３ 連続繊維シートの施工準備

仕上げモルタルの除去
・ 既存構造躯体面まで除去する
・ モルタル除去は行わない
・（ ）
既存モルタルの圧縮強度測定
・ 行う（ ）
・ 行わない
ひび割れ部の改修工法
・ 樹脂注入工法
・ Ｕカットシール材充填工法
・ シール工法

４ 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

５ 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7)

・ 図示（図面番号： ）

６ 炭素繊維シートの施工

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・（ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ １巻き
・ ２巻き
・（ ）

７ 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)

引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）

⑧の９ 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事

(耐震スリット新設工事)

１ スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)

耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W (mm)	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	
既存鉄筋の処理	・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・（ ）	・切断してよい ・（ ）	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W (mm)	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts (mm)	・（ ）	・（ ）	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・（ ）	・ 存置する ・ 切断してよい	

２ スリットの施工

スリット部の配管等の調査
範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
・ 図示（図面番号： ）
・（ ）
方法 ・ 鉄筋探査機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
スリットの逃げ位置
壁上端部 ・ 梁との接合部 ・（ ）
壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃げたきわ部 ・（ ）
壁下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・（ ）

撤去部の補修
・ 図示（図面番号： ）

充填材
・ 耐火材 使用箇所（ ） 仕様（ ）
・ 遮音材 使用箇所（ ） 仕様（ ）

３ 免震・制振改修 (8.26.1)～(8.27.9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

⑧の10 その他工事

① 土工事 (8.28.2) (8.28.3)

既存杭の撤去
・ 図示（図面番号： ）
埋戻し及び盛土の材料及び工法
・Ａ種 (・)Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種
建設発生土の処理
・処分地指定 処分地（ ）
(・)処分地未定につき相互協議する。
暫定運搬距離 ・ 8km (・) 4km ・（ ）

山留めの撤去
・撤去（鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・（ ））
・存置

② 地業工事 (8.28.4)

杭の施工監理
杭工事特記仕様書による。
適用基準
本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)

施工記録
受注者は、杭の施工期間中は、１ 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料
共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。
保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘
(・) 試験杭 位置、本数及び寸法は図示(図面番号： ）による。
・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示(図面番号： ）による。

杭の支持層
支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ (・)図示(図面番号： ） ・（ ）

水平方向の位置ずれの精度
・（ ）mm以下

杭の載荷試験
試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号： ） 載荷荷重 （ kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

特記

月	日	

Ｕ 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号 内田 貴之

設計番号 年 月 日
設計
縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（６）

NO. A-06 **
原図：A2

地盤の載荷試験
試験方法　・平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示(図面番号：　　)　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

杭地業の工法、寸法
(・)図示（図面番号：　　）

杭頭処置
・行う　　・行わない

砂利及び砂地業
範囲　・　図示（図面番号：　　）　厚さ（mm）　・　60　(・)（　100　）

捨てコンクリート地業
範囲　・　図示（図面番号：　　）　厚さ（mm）　(・) 50　・（　　）

⑨ 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去工事

(9.1.1)

・　石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	計　点
・	測定４		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計　点
・	測定５		処理作業室外（敷地境界）	計　点
・	測定６	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計　点
・	測定７	処理作業後シート撤去後１週間以降	処理作業室内	計　点
・	測定８		調査対象室外部の付近	計　点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1　・（　　）	・5　・（　　）	・10　・（　　）
試料の吸引時間(min)	・5　・（　　）	・120　・（　　）	・240　・（　　）

(9.1.3)　・　石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去工法　・　改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による　・（　　）
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・　湿潤化　・　固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.4)　・　石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去方法　・　改修標準仕様書9.1.4(1)による　・（　　）
除去した石綿含有保温材等の処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.5)　(・) 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　(・) 図示（図面番号：　　）
石綿含有せっこうボードの処分
・　埋立処分（管理型最終処分場）
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
(・) 埋立処分（安定型最終処分場）　(・) 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.6)　・　石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲　・　図示（図面番号：　　）
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・　埋立処分（安定型最終処分場）　・　中間処理（溶融又は無害化による）

※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。

・　除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2　断熱アスファルト防水改修工事

(9.2.1)～(9.2.3)

改修特記仕様書３章による

3　外断熱改修工事

(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ロックウール断熱材	
・グラスウール断熱材	
・　（　　）	

施工箇所
・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)　既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去　・　あり　・　なし
下地面の清掃　・　行う　・　行わない
欠損部の改修工法　・　充填工法　・　モルタル塗替え工法　・（　　）

(9.3.4)　工法
通気層の有無　・　あり（　　mm）　・　なし
断熱材の施工　・　断熱材製造所の仕様による　・（　　）
外装材の施工　・　外装材製造所の仕様による　・（　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・　適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・　適用しない
不陸等の下地調整　・　行う

4　断熱・防露改修工事

(9.5.2)　・　断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・　（　　）	

施工箇所　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

(9.5.3)　・　断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・　Ａ種１　・　Ａ種１Ｈ　・（　　）
厚さ（mm）　・　25　・　30　・（　　）
施工箇所　・　図示（図面番号：　　）

・　現場発泡断熱材
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4)　・断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有　・無	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有　・無	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有　・無	
・フェノールフォーム断熱材	・有　・無	
・（　　）	・有　・無	

施工箇所　・図示（図面番号：　　）　・（　　）

5　屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
(9.6.1)　・　適用する　・　適用しない
(9.6.2)　芝及び地被類の樹種並びに種類等　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）
(9.6.3)　工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・　適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・　適用しない
かん水装置　・　設置する（種類　・　　・　　）
既存保護層の撤去　・　行う　・　行わない

6　透水性アスファルト舗装改修工事

(9.5.2)～(9.5.7)(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示（図面番号：　　） ・（　　）
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 （7μmふるい通過量10%以下） ・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）
・フィルター層	・砂 ・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）

路床安定処理
・　添加材料による安定処理
種類　・　普通ポルトランドセメント　・　フライアッシュセメントＢ種
・　生石灰（・特号　・１号）　・　消石灰（・特号　・１号）
添加量（　　kg/m2）（目標CBR　・５以上　・　　）

・　ジオテキスタイル
単位面積質量　・　60g/m2以上　・（　　）
厚さ[mm]　・　0.5～1.0　・（　　）
引張強さ　・　98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・（　　）
透水係数　・　1.5×10^-1cm/sec 以上　・（　　）

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・　行う　・　行わない
路床締固め度の試験　・　行う　・　行わない
現場ＣＢＲ試験　・　行う　・　行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）
路盤材料　・　再生材のクラッシャラン
・　クラッシャラン鉄鋼スラグ
・　図示（図面番号：　　）
・（　　）

試験
路盤締固め度の試験　・　行う　・　行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ストレートアスファルト	・図示（図面番号：　　） ・（　　）

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・　行う　・　行わない
舗装の平たん性　・　著しい不陸がないもの　・（　　）

特記

月	日	

Ｕ　建　築　設　計
三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之

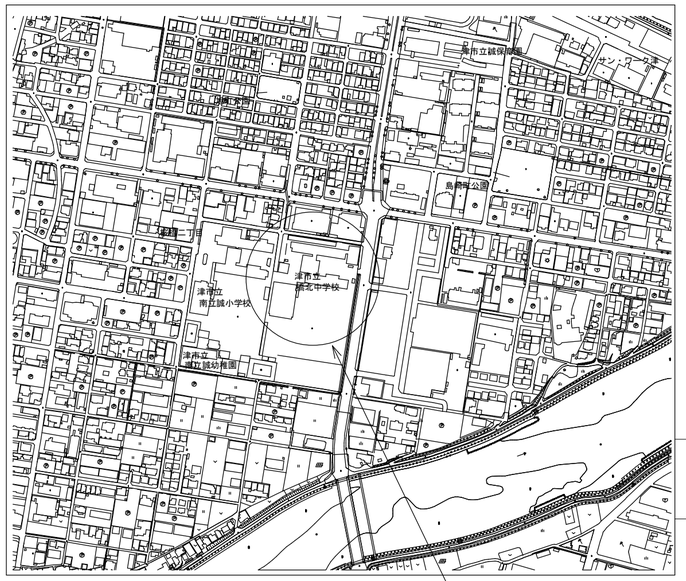
設計番号　年　月　日
設計
縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（７）

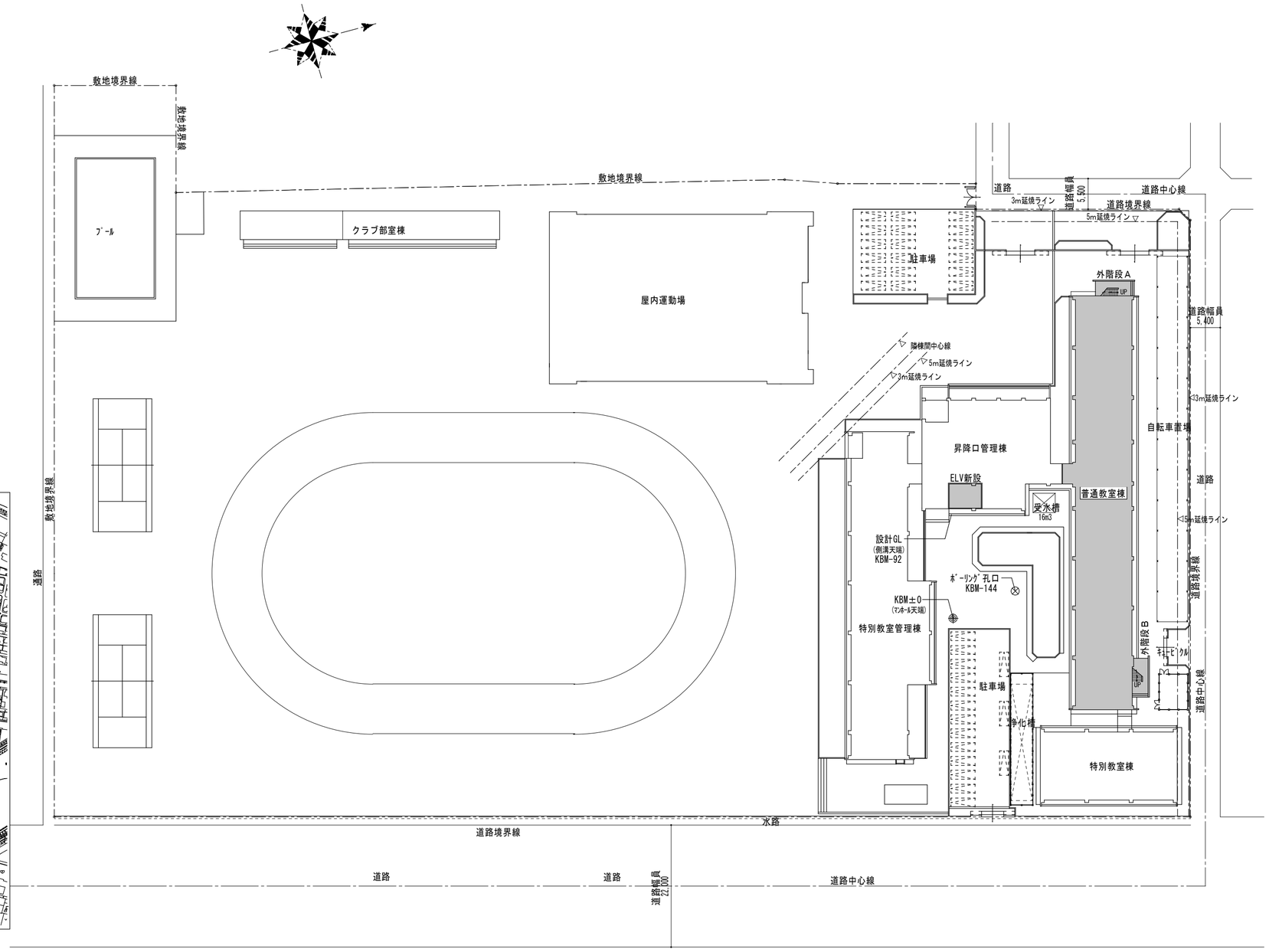
NO. A-07
**
原図：A2

建築概要

建築場所	三重県津市桜橋二丁目　地内	
	用途地域：第一種住居地域	
	防火地域・指定なし　22条区域	
敷地面積	24,462 ㎡	
建ぺい率	18.80 %（ 60 %）	(対象建物)
容積率	4.92 %（ 200 %）	(対象建物)
構造	普通教室棟　ＲＣ造　４階建	
	昇降口管理棟　ＲＣ造　４階建	
延べ床面積	3,145.00 ㎡(普通教室棟) 1,453.00 ㎡(昇降口管理棟)	
建築面積	777.10 ㎡(普通教室棟)　427.30 ㎡(昇降口管理棟)	



付近見取図



配置図　1/600

改修範囲を示す

特記		月	日		U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/600 A3 1/848	建築概要・付近見取図・配置図	A-08 **
					登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2

外部仕上表

	部位		仕上	部位		仕上	部位		仕上
普通教室棟	屋上	改修前	アスファルト防水、軽量コンクリートt=60押え、防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上。笠木：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上 伸縮目地(ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾙ)撤去、ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ撤去、ﾌｪﾝｽ及びﾌｪﾝｽ基礎全周撤去 ※伸縮目地(ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾙ)：石綿含有(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ　Level3)	庇	改修前	天端：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上げ 側面：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き下地の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付　。上裏：合板型枠打放の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	竪樋	改修前	白ガス管 P φ100　OP
		改修後	平場：水洗い、目地処理ﾃｰﾌﾟ、下地処理の上ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-1)ﾌｯ素仕上　新設 立上り・笠木：水洗い、下地処理の上ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)ﾌｯ素仕上　新設 SUS製脱気筒、改修用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ、ﾌｪﾝｽ及びﾌｪﾝｽ基礎新設		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水新設 側面：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上複層仕上塗材E 新設。 上裏：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上外装薄塗材E 新設		改修後	下地調整RB種の上DP塗　新設
	屋上 (ﾍﾟﾝﾄﾊｳｽ上部)	改修前	平場、立上り：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(改修済) ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ(既設のまま)　　屋上ｽﾁｰﾙｸﾗｯﾌﾟ	巾木	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金こて	建具	改修前	ｱﾙﾐ製建具(外部ｻｯｼ)、木製建具(教室間仕切り) 鋼製建具撤去(渡り廊下　4ヶ所)
					改修後	水洗い		改修後	ｱﾙﾐ製建具、木製建具：清掃の上飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　新設 ｱﾙﾐ2枚引き込みﾊﾝｶﾞｰ戸：4ヶ所　新設
		改修後	平場、立上り：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（既設のまま） 立上り壁・笠木：水洗い、下地処理の上ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)ﾌｯ素仕上　新設 屋上ｽﾁｰﾙｸﾗｯﾌﾟ：下地調整RB種の上DP　新設	外壁	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き下地の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付		改修前	
					改修後	高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上複層仕上塗材E 新設		改修後	
	ｼｰﾘﾝｸﾞ防水	改修前	建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	梁型	改修前	天端：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上 側面、下端：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き下地の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付		改修前	
		改修後	建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2新設		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水新設 側面、下端：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地処理の上複層仕上塗材E　新設		改修後	
昇降口管理棟	生徒用昇降口 （アプローチ）	改修前	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=120の上ｸﾘﾝｶｰﾀｲﾙ貼り　150角　一部撤去 側溝(W300)：一部SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ撤去	建具	改修前	鋼製建具：一か所撤去 (生徒用昇降口)		改修前	
		改修後	スロープ新設：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ貼り100角（一部警告ﾌﾞﾛｯｸ300角）、ｽﾃﾝﾚｽ製手摺(2段) 側溝(W300)：一部暗渠新設		改修後	ｱﾙﾐ製建具：両側引分けハンガー戸　新設。 (生徒用昇降口)		改修後	
		改修前			改修前			改修前	
		改修後			改修後			改修後	

その他特記事項	1.特記なき限り金物取合部はシーリング充填のこと。　2.コンクリート打放し仕上の型枠は化粧打放し仕上用型枠合板を使用のこと。 【注】既設RC壁ﾊﾂﾘ跡、鉄筋小口ｻﾋﾞ止め塗とする。

内部仕上表

	階	室名		床	巾木	H	壁	梁型	天井	廻縁	CH	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	備考
普通教室棟	1	廊下	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼り ｻｯｼ改修の為一部　撤去	ラワン OS	115	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP ｼﾅ合板t=6.0目透かし張り　OP		無孔　PB t=9.0目透かし張り EP	塩ビ製	2,725		※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	既存のまま 一部　ﾓﾙﾀﾙ補修の上ｻｯｼ下枠新設	下地調整RB種の上　EP-G塗	既存のまま	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 木部　：下地調整RB種の上　EP-G塗		既存のまま　※劣化部のみ取替	既存のまま	既存のまま		
	2 3 4	普通教室	改修前	ナラフローリングブロック　OSW	ラワン OS	100	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP ｼﾅ合板t=6.0目透かし張り　OP	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP	有孔、無孔　PB t=9.0目透かし張り EP	塩ビ製	3,020	木製　OS	※普通教室棟2-1：天井化粧石こうﾎﾞｰﾄt 9.5 既設のまま（改修済）
			改修後	既存のまま	下地調整RB種の上　EP-G塗	既存のまま	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ｼﾅ合板面：下地調整RB種の上　EP-G塗	下地調整RB種の上　EP塗	下地調整RC種の上　EP塗	既存のまま	既存のまま	既存のまま	掲示板：掲示ｸﾛｽ張替(ｽﾋﾟｰｶｰ、ｺﾝｾﾝﾄ等脱着)押し縁共 （ｱﾙﾐ枠除く） 木製ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(ｶﾞﾗｽ面)飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り
		廊下	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼り ｻｯｼ改修の為一部　撤去（2Fのみ）	ラワン OS	115	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP ｼﾅ合板t=6.0目透かし張り　OP		無孔　PB t=9.0目透かし張り EP	塩ビ製	2,725		※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	既存のまま 一部　ﾓﾙﾀﾙ補修の上ｻｯｼ下枠新設（2Fのみ）	下地調整RB種の上　EP-G塗	既存のまま	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ｼﾅ合板面：下地調整RB種の上　EP-G塗		既存のまま　※劣化部のみ取替	既存のまま	既存のまま		
			改修前										
			改修後										
			改修前										
			改修後										
			改修前										
			改修後										
			改修前										
			改修後										
	共通	屋内階段	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼り	人研ぎ	115	壁・手摺壁：ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP 有孔、無孔　PB t=9.0目透かし張り EP(PH階)	塩ビ製	2,300		
			改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	壁・手摺壁：下地調整RB種の上　EP塗	下地調整RB種の上　EP塗	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 PB面：下地調整RC種の上　EP塗(PH階)	既存のまま	既存のまま		手摺天端：ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸt=25(既存のまま) 段鼻：ｽﾃﾝﾚｽﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(既存のまま)
		屋外階段 A,B	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ金こて	防水ﾓﾙﾀﾙ金こて		壁・手摺壁：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き、ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き、ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	上裏：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き、ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付				
			改修後	防水ﾓﾙﾀﾙ金こて	防水ﾓﾙﾀﾙ金こて		下地調整の上複層仕上塗材E	下地調整の上複層仕上塗材E	上裏：下地調整の上外装薄塗材E				手摺天端：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて(既存のまま)

特記		月	日		U 建築設計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 仕上表（1）	NO. A-09 **

原図：A2

内 部 仕 上 表

	階	室　名		床	巾　木	H	壁	梁　型	天　井	廻　縁	CH	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	備　考
昇降口管理棟	1	倉庫	改修前	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り EV設置の為一部撤去	ラワン OS一部撤去	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	無孔　PB t=9.0目透かし張り EP(木下地共撤去)	塩ビ製撤去	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)　撤去	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄt=2.5貼り	ｿﾌﾄ巾木新設 既設巾木：下地調整RB種の上EP-G	100 115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP塗　新設	塩ビ製新設	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ新設　EP-G (Susｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び吊りﾎﾞﾙﾄ共)	ｱﾙﾐ天井点検口450角新設
		ｴﾚﾍﾞｰﾀｰｼｬﾌﾄ	改修後	ﾋﾟｯﾄ内 ｹｲ酸質系塗膜防水（C-UI）	——	——	LGS65+強化PBt=21+21(片面二重張り)　新設	——	——	——	——	——	ﾋﾟｯﾄ底盤と側壁取り合い部止水板（L＝200）
		廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 壁撤去の為一部撤去	ラワン OS一部撤去	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	2,725	——	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り　一部新設	既設のまま	115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部無孔PBt=9.5　EP塗　新設	塩ビ製 一部新設	2,725	——	
		職員昇降口	改修前	ｸﾘﾝｶﾀｲﾙ貼り　150角	人研ぎ	200	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP 出入り口設置の為一部撤去	——	LGS下地の上岩綿吸音板t=12 下張りPBt=9 一部撤去	塩ビ製			※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	既設のまま	既設のまま	200	既設のまま 一部ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗	——	一部岩綿吸音板t=12 下張りPBt=9　新設	塩ビ製 一部新設			
	2	支援室	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り EV設置の為一部撤去	ラワン OS一部撤去		ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	無孔　PB t=9.0目透かし張り EP(木下地共撤去)	塩ビ製撤去	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)　撤去	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ撤去
			改修後	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 一部ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 新設	ｿﾌﾄ巾木新設 既設巾木：下地調整RB種の上EP-G	100 115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP塗　新設	塩ビ製新設	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ新設　EP-G (Susｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び吊りﾎﾞﾙﾄ共)	ｱﾙﾐ天井点検口450角新設
		ｴﾚﾍﾞｰﾀｰｼｬﾌﾄ	改修後	——	——	——	LGS65+強化PBt=21+21(片面二重張り)　新設	——	——	——	——	——	
		廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 壁撤去の為一部撤去	ラワン OS一部撤去	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	2,725	——	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り　一部新設	既設のまま	115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部無孔PBt=9.5　EP塗　新設	塩ビ製 一部新設	2,725	——	
	3	実習生控室	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り EV設置の為一部撤去	ラワン OS　撤去	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP	——	無孔　PB t=9.0目透かし張り EP(木下地共撤去)	塩ビ製撤去	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)　撤去	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) 木間仕切り、家具撤去
			改修後	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 一部ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 新設	ｿﾌﾄ巾木新設	100	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP塗　新設	塩ビ製新設	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ新設　EP-G (Susｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び吊りﾎﾞﾙﾄ共)	ｱﾙﾐ天井点検口450角新設
		ｴﾚﾍﾞｰﾀｰｼｬﾌﾄ	改修後	——	——	——	LGS65+強化PBt=21+21(片面二重張り)　新設	——	——	——	——	——	
		廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り	ラワン OS	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP	塩ビ製 一部撤去	2,725	——	既設ｱﾙﾐ天井点検口450角　ﾎﾞｰﾄﾞ欠損
			改修後	既設のまま	既設のまま	115	ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	既設のまま	塩ビ製 一部新設	2,725	——	既設ｱﾙﾐ天井点検口450角　ﾎﾞｰﾄﾞ新設
	4	生徒会室	改修前	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り EV設置の為一部撤去	ラワン OS一部撤去		ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	無孔　PB t=9.0目透かし張り EP(木下地共撤去)	塩ビ製撤去	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)　撤去	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 一部ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 新設	ｿﾌﾄ巾木新設 既設巾木：下地調整RB種の上EP-G	100 115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP塗　新設	塩ビ製新設	2,725	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ新設　EP-G (Susｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及び吊りﾎﾞﾙﾄ共)	ｱﾙﾐ天井点検口450角新設
		ｴﾚﾍﾞｰﾀｰｼｬﾌﾄ	改修後	——	——	——	LGS65+強化PBt=21+21(片面二重張り)　新設	——	——	——	——	——	
		廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り 壁撤去の為一部撤去	ラワン OS一部撤去	115	ｺﾝｸﾘｰﾄt=120+ﾓﾙﾀﾙ両面t=25金こて　VP EV設置の為一部撤去	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	2,725	——	※ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ　：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3) ※天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：石綿含有(ｸﾘｿﾀｲﾙ　Level 3)
			改修後	ﾓﾙﾀﾙt=30下地の上ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙt=2.0貼り　一部新設	既設のまま	115	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上　EP塗 ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上　EP塗　新設	——	LGS下地の上無孔PBt=9.5 目透かし張り　EP 一部無孔PBt=9.5　EP塗　新設	塩ビ製 一部新設	2,725	——	

［特記事項］

・壁ﾎﾞｰﾄﾞ張部分は、ｼﾞｮｲﾝﾄﾚｽ大壁工法とする。
（寒冷紗・ｼﾞｮｲﾝﾄﾃｰﾌﾟ貼り処理）

ﾎﾞｰﾄﾞ類、壁ｺｰﾅｰ処理は、特記なき限りｺｰﾅｰ保護金物の上、
ｼﾞｮｲﾝﾄｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ塗とする。

・特記なきｽﾃﾝﾚｽ容摺は、SUS304 ⊓-40×20×2(HL仕上)とする。
また、床仕上げが異なる場合には、床ｽﾃﾝﾚｽ容摺を入れること。

・ﾋﾞﾆｰﾙ床シート張りは、熱溶接工法とする。

・床と巾木は原則床勝ちの納まりとする。

・参考ﾒｰｶｰ品番及び認定番号は同等品以上とする。

・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。

〈石綿含有建材〉　※Level 3

・普通教室棟屋上：伸縮目地(ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾙ)	アクチノライト含有
・普通教室棟　：1_4F 床材(ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ) ・昇降口管理棟　：1_4F 床材(ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ) ・昇降口管理棟　：1_4F 天井材(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ紙部分)	クリソタイル含有

【シックハウス対応】

・使用建材：F☆☆☆☆品
(天井・壁・家具・建具仕上材・接着剤・下地共)

・ｸﾛﾛﾋﾞﾘﾎｽ使用なし

【仕上記号略号】

記号	JIS記号	名称
EP	K5663	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ
SOP	K5516	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ
DP		耐候性塗料(鉄鋼面)
EP-G		つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ

【記号略号】

記号	名称
PB	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
GW	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
LGS	軽量鉄骨下地

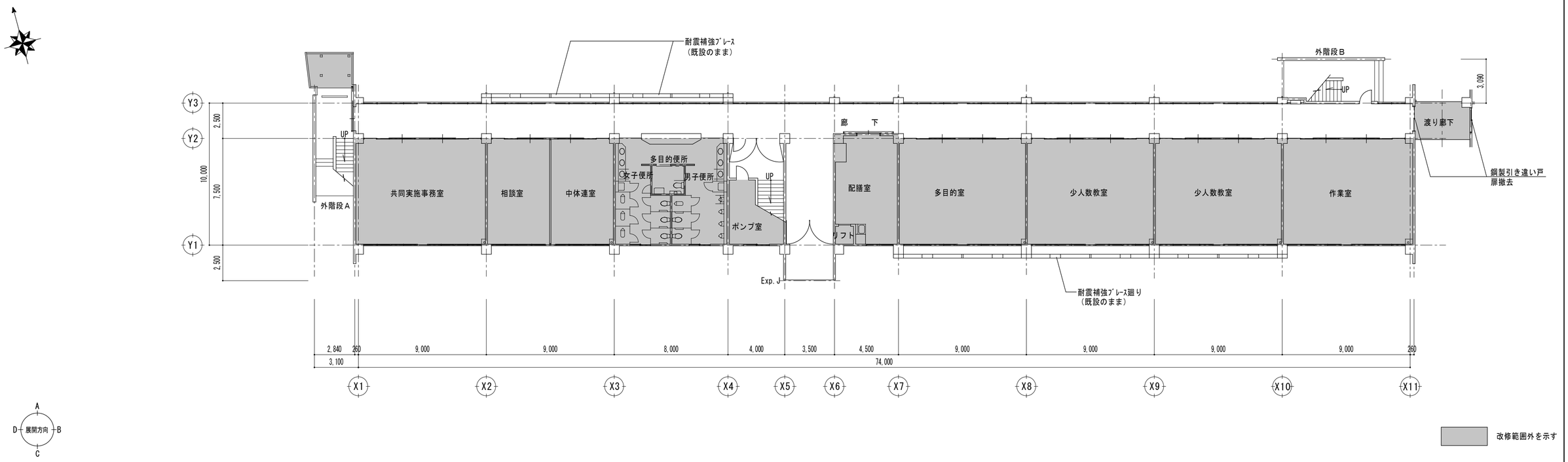
【防火認定番号】

PB(石膏ボード)厚 9.5	：QM-9828(準不燃)
PB(石膏ボード)厚12.5	：NM-8619(不燃)
吸音天井PB厚9.5	：QM-9827(準不燃)
不燃化粧PB厚9.5	：NM-1864(不燃)
化粧PB厚9.5	：QM-9824(準不燃)
塗料一般(EP)	：NM-8585(不燃)
区画壁：LGS65+ 強化PBt=21+21(片面二重貼)	：FP060NP-0233

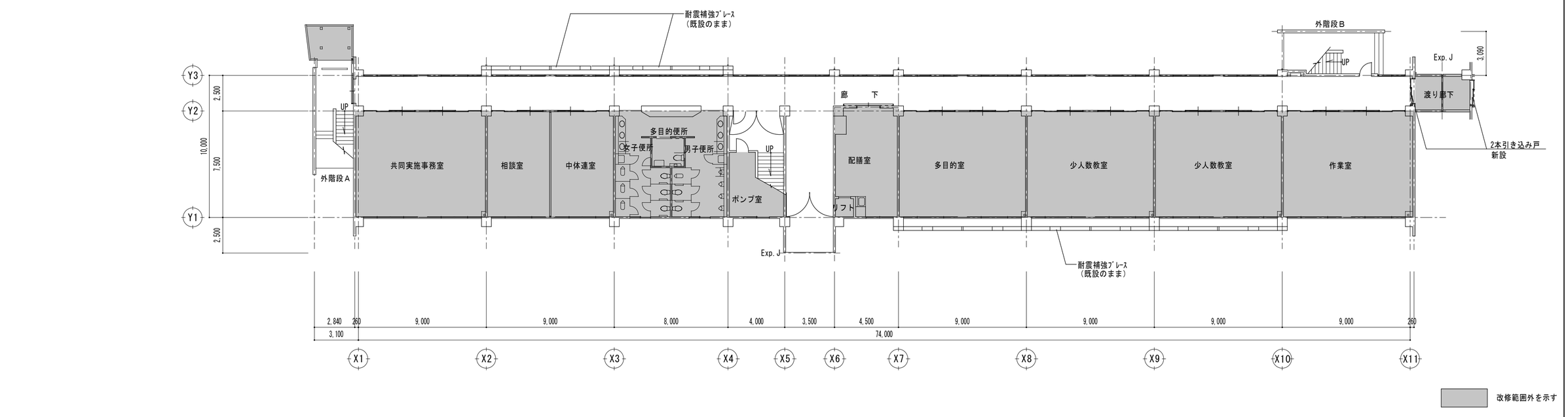
特記	月	日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		————	仕上表（2）	A-10
			登録番号（1）第２１１８号　内 田　貴 之					**

原図：A2

改修前　　1階平面図　1/200

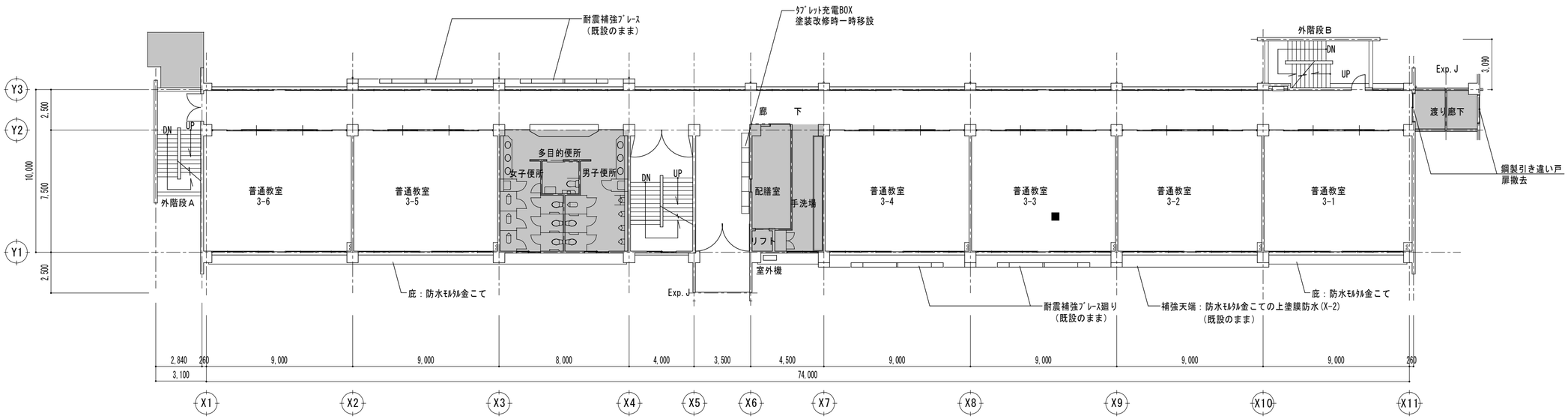


改修後　　1階平面図　1/200



特記		月　日		U　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計	A2　1/200 A3　1/282.8	1階平面図　　改修前後	A-11 **
				登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之				原図：A2

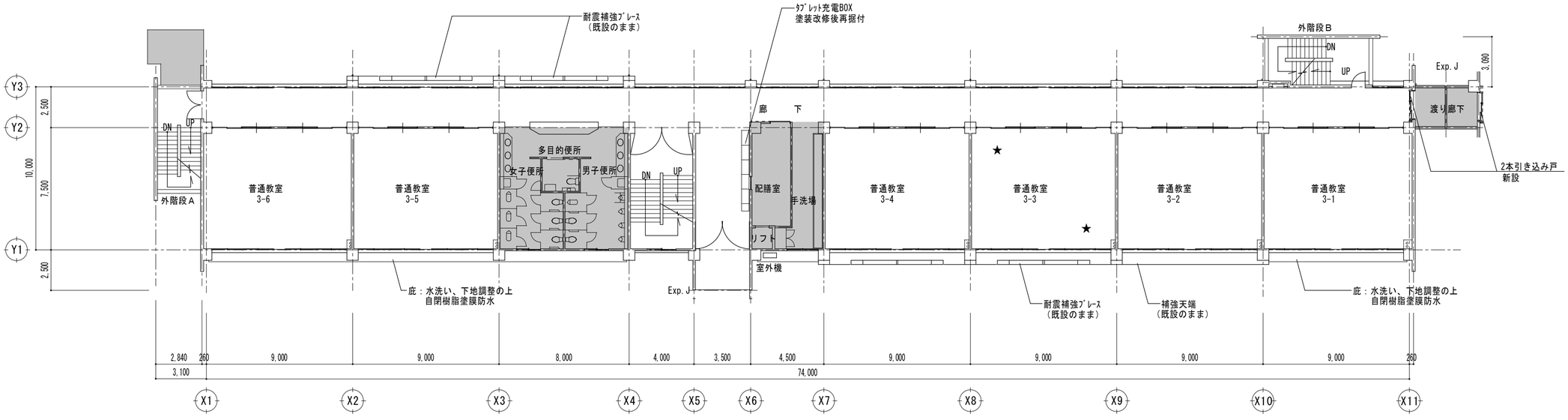
改修前　２階平面図　1/200



改修範囲外を示す

■　工事着手前
化学物質濃度測定箇所

改修後　２階平面図　1/200

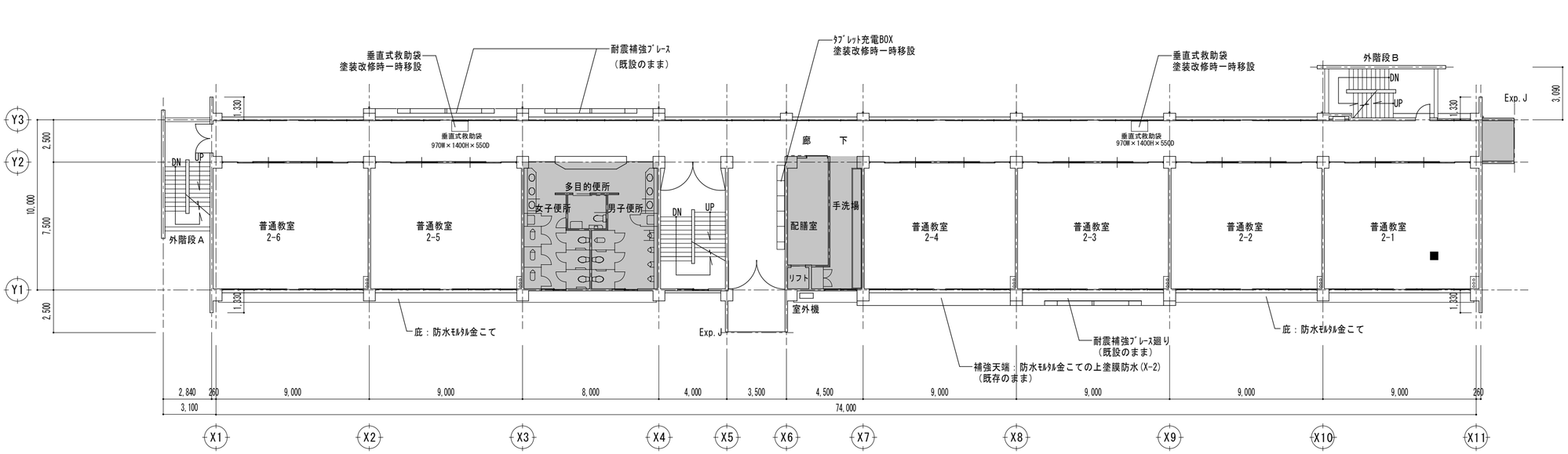


改修範囲外を示す

★　工事完了時
化学物質濃度測定箇所

特記		月　日	U　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/200 A3　1/282.8	２階平面図　改修前後	A-12 **
			登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之					原図：A2

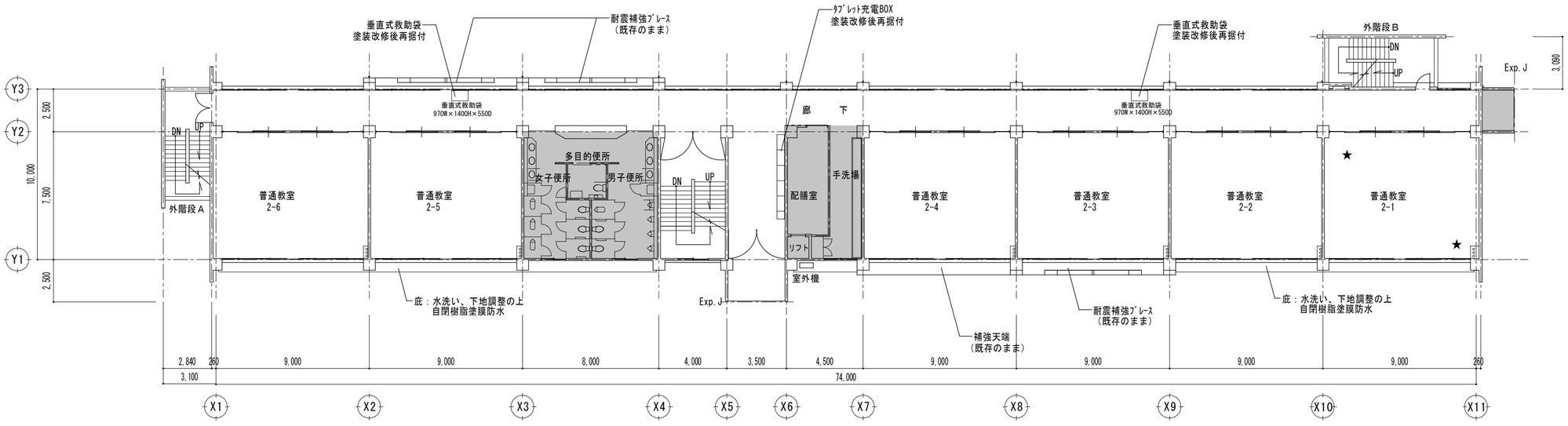
改修前　３階平面図　1/200



改修範囲外を示す

■　工事着手前
化学物質濃度測定箇所

改修後　３階平面図　1/200

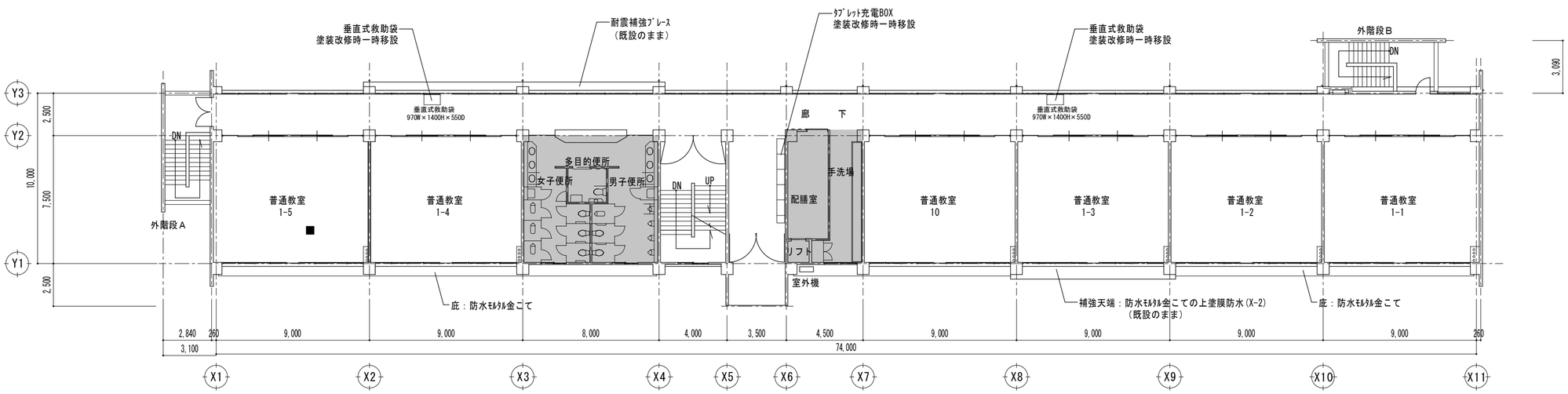


改修範囲外を示す

★　工事完了時
化学物質濃度測定箇所

特記		月　日		U　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/200 A3　1/282.8	３階平面図　改修前後	A-13 **
				登録番号（１）第２１１８号	内田　貴之					原図：A2

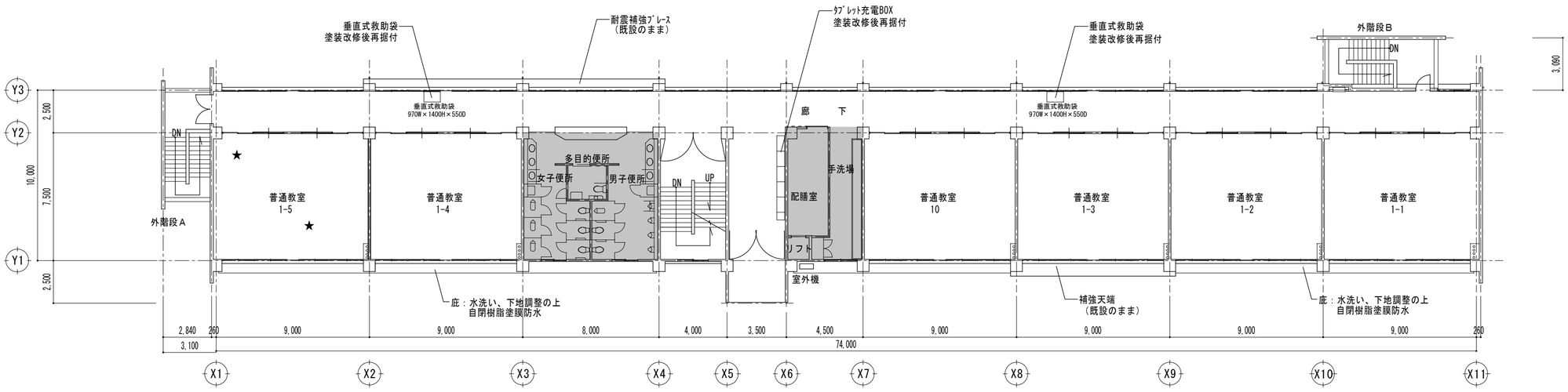
改修前　４階平面図　1/200



改修範囲外を示す

■　工事着手前
化学物質濃度測定箇所

改修後　４階平面図　1/200

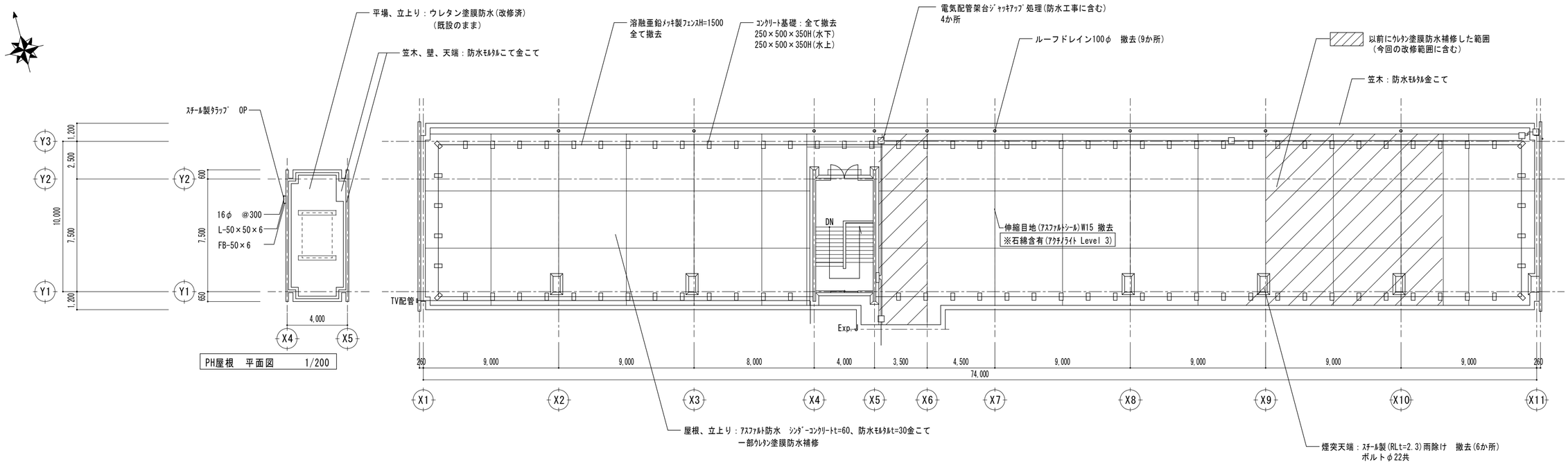


改修範囲外を示す

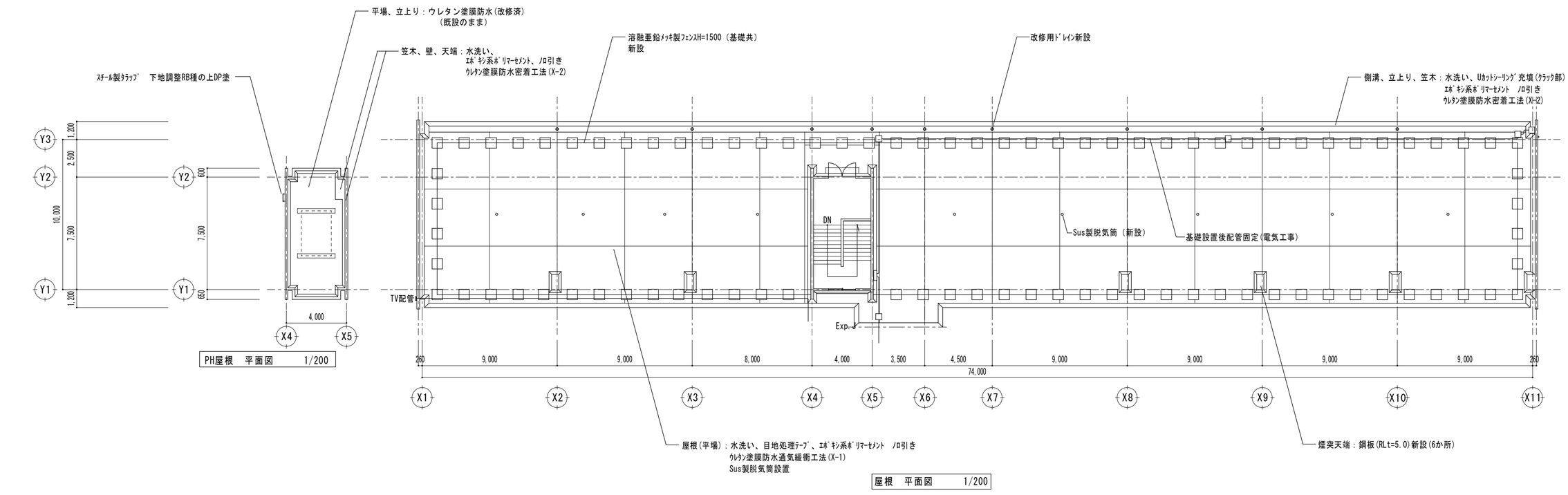
★　工事完了時
化学物質濃度測定箇所

特記		月　日	Ｕ　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計	A2　1/200 A3　1/282.8	４階平面図　　改修前後	A-14 **
			登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之				原図：A2

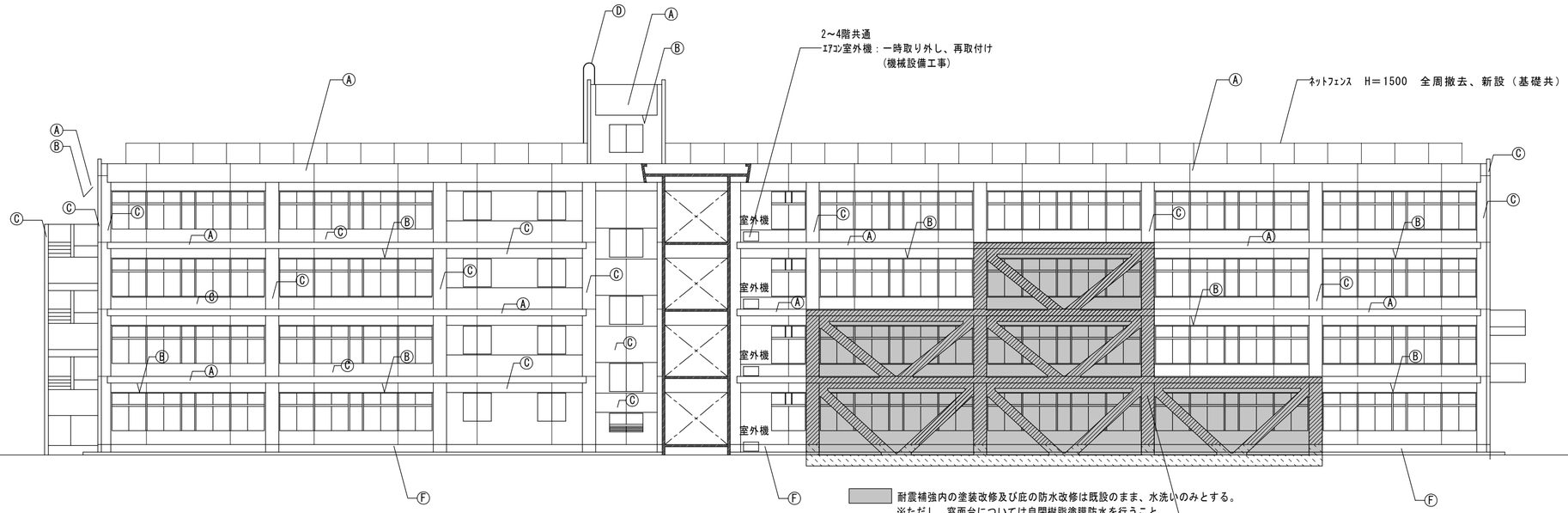
改修前　R・PH 屋根平面図　1/200



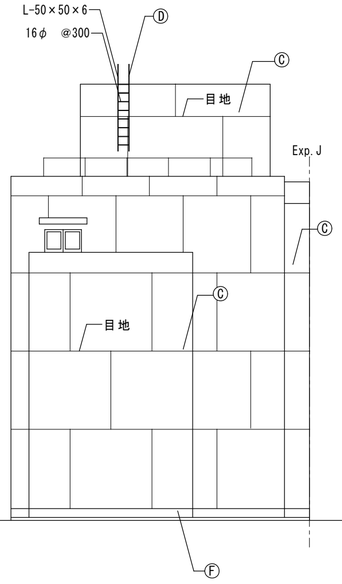
改修後　R・PH 屋根平面図　1/200



特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2　1/200 A3　1/282.8	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 屋根・PH屋根　平面図　改修前後	NO. A-15 ** 原図：A2
						設計				



南立面図　1/200



西立面図　1/200

外壁改修仕様　凡例

部位　記号			
庇	Ⓐ	改修前	天端、小口：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上　側面、下端：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水　側面、下端：高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
軒裏	Ⓑ	改修前	合板型枠打放補修の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上外装薄塗材E
外壁	Ⓒ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
ﾀﾗｯﾌﾟ	Ⓓ	改修前	ｽﾁｰﾙ製ﾀﾗｯﾌﾟ　OP　L=4000+2400 W=500（ｽﾃｯﾌﾟ8か所）
		改修後	ｽﾁｰﾙ製ﾀﾗｯﾌﾟ　下地調整RB種の上DP塗
竪樋	Ⓔ	改修前	白G管　100φ　OP
		改修後	下地調整RB種の上DP塗
巾木	Ⓕ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上
		改修後	水洗い
耐震補強部（ﾌﾞﾚｰｽ・柱等）	Ⓖ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金こての上防水型複層塗材E
		改修後	水洗い

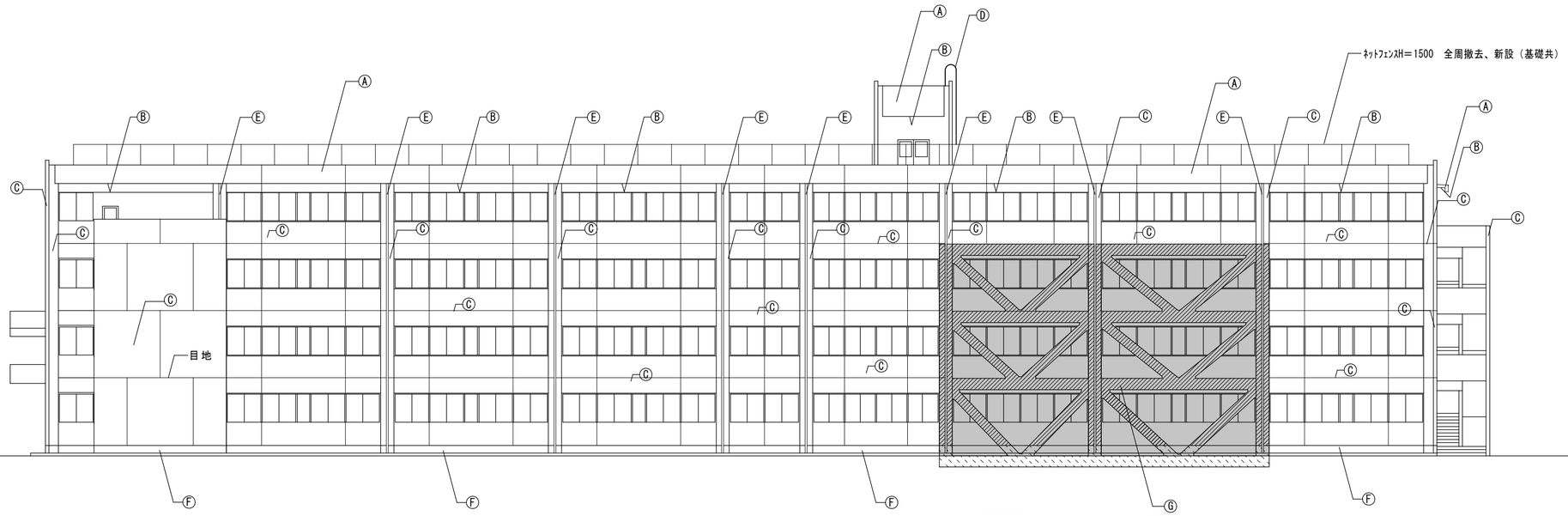
〈注記〉
・ｻｯｼ廻りのｼｰﾘﾝｸﾞ撤去、再ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)
・外壁目地部は、ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)新設を行う
・外壁に取り付く設備配管、器具類は、養生を行い脱着はしないものとする

■外壁改修工事仕様　※ひび割れ補修等は施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。

＜施工数量調査＞
・調査項目　ｸﾗｯｸ、剥がれ及び剥落部、浮き部
・調査方法　打診、目視及びｸﾗｯｸｽｹｰﾙ等
・報告書　2部(補修方法別に調査数量を集計すること。)

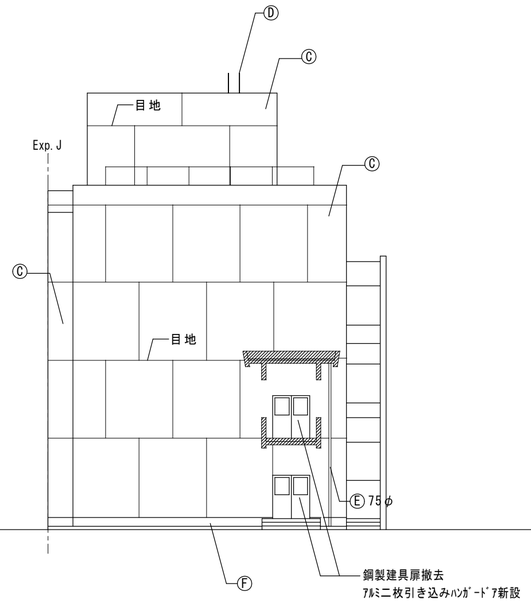
＜外壁ｸﾗｯｸ補修仕様＞
・ひび割れ補修(1mm超)　Uｶｯﾄｼｰﾙ充填工法の上ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ充填
・ひび割れ補修(1mm以下)　自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・欠損部補修　ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填工法(防錆処理共)
・浮き部補修　一般部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(16本/㎡　25ml/穴)
見上部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(25本/㎡　25ml/穴)
細幅部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(5本/㎡　25ml/穴)

特記	月　日	U 建 築 設 計	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
		三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897			A2　1/200	南・西立面図	A-16
		一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A3　1/282.8		**
		登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2



北立面図　1/200

耐震補強内の塗装改修及び庇の防水改修は既設のまま、水洗いのみとする。
※ただし、窓面台については自閉樹脂塗膜防水を行うこと。
また建具廻りのｼｰﾘﾝｸﾞは撤去の上再ｼｰﾘﾝｸﾞとする。



東立面図　1/200

外壁改修仕様　凡例

部位	記号		
庇	Ⓐ	改修前	天端、小口：防水ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上　側面、下端：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水　側面、下端：高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
軒裏	Ⓑ	改修前	合板型枠打放補修の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上外装薄塗材E
外壁	Ⓒ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
ﾀﾗｯﾌﾟ	Ⓓ	改修前	ｽﾁｰﾙ製ﾀﾗｯﾌﾟ　OP　　L=4000+2400 W=500（ｽﾃｯﾌﾟ8か所）
		改修後	ｽﾁｰﾙ製ﾀﾗｯﾌﾟ　下地調整RB種の上DP塗
竪樋	Ⓔ	改修前	白G管　100φ　OP
		改修後	下地調整RB種の上DP塗
巾木	Ⓕ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金こて仕上
		改修後	水洗い
耐震補強部（ﾌﾞﾚｰｽ・柱等）	Ⓖ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金こての上防水型複層塗材E
		改修後	水洗い

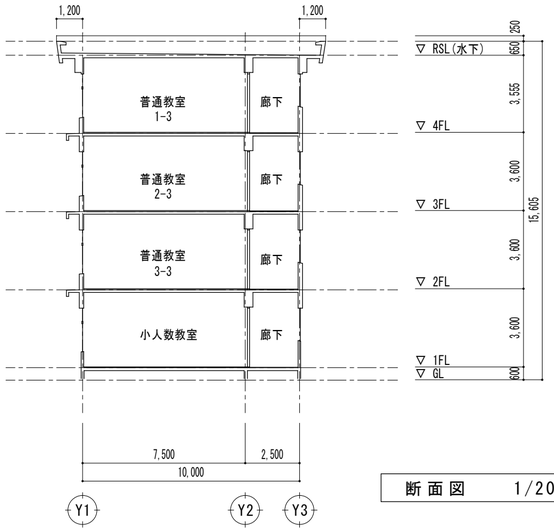
〈注記〉
・ｻｯｼ廻りのｼｰﾘﾝｸﾞ撤去、再ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)
・外壁目地部は、ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)新設を行う
・外壁に取り付く設備配管、器具類は、養生を行い脱着はしないものとする

■外壁改修工事仕様　　※ひび割れ補修等は施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。

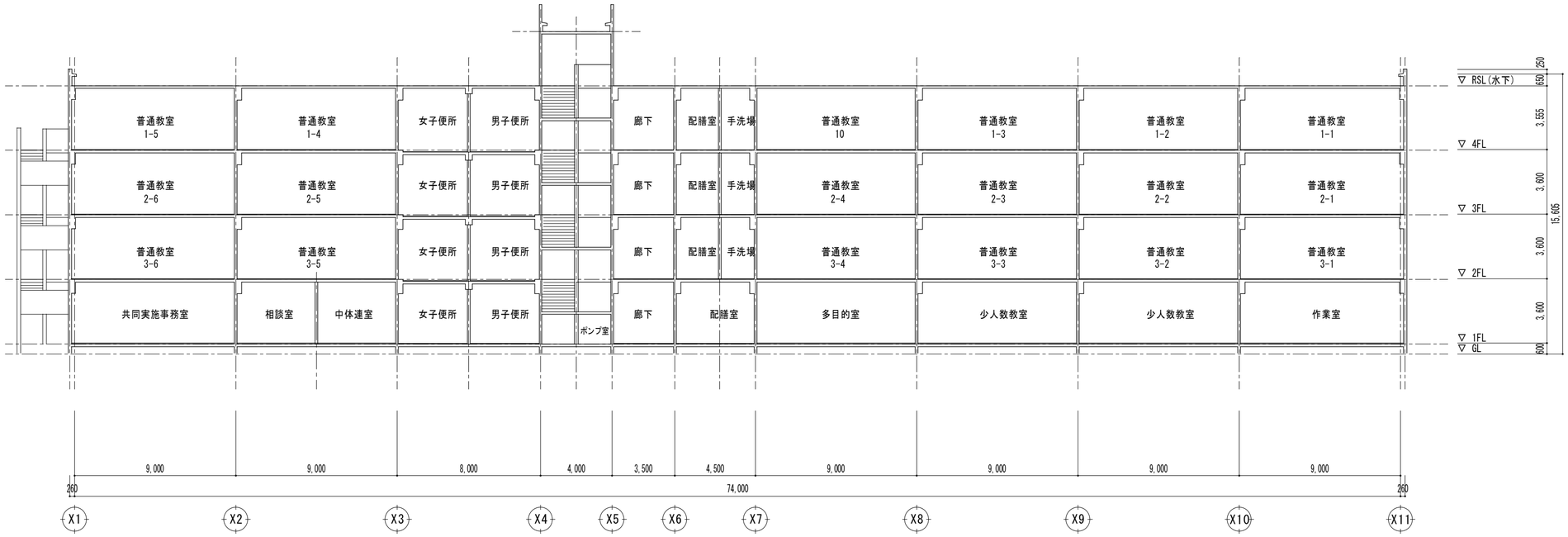
＜施工数量調査＞
・調査項目　ｸﾗｯｸ、剥がれ及び剥落部、浮き部
・調査方法　打診、目視及びｸﾗｯｸｽｹｰﾙ等
・報告書　2部(補修方法別に調査数量を集計すること。)

＜外壁ｸﾗｯｸ補修仕様＞
・ひび割れ補修(1mm超)　Uｶｯﾄｼｰﾙ充填工法の上ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ充填
・ひび割れ補修(1mm以下)　自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・欠損部補修　ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填工法(防錆処理共)
・浮き部補修　一般部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(16本/㎡　25ml/穴)
見上部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(25本/㎡　25ml/穴)
細幅部：ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分　ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(5本/㎡　25ml/穴)

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2　1/200 A3　1/282.8	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 北・東立面図　改修前後	NO. A-17 **
						設計				原図：A2

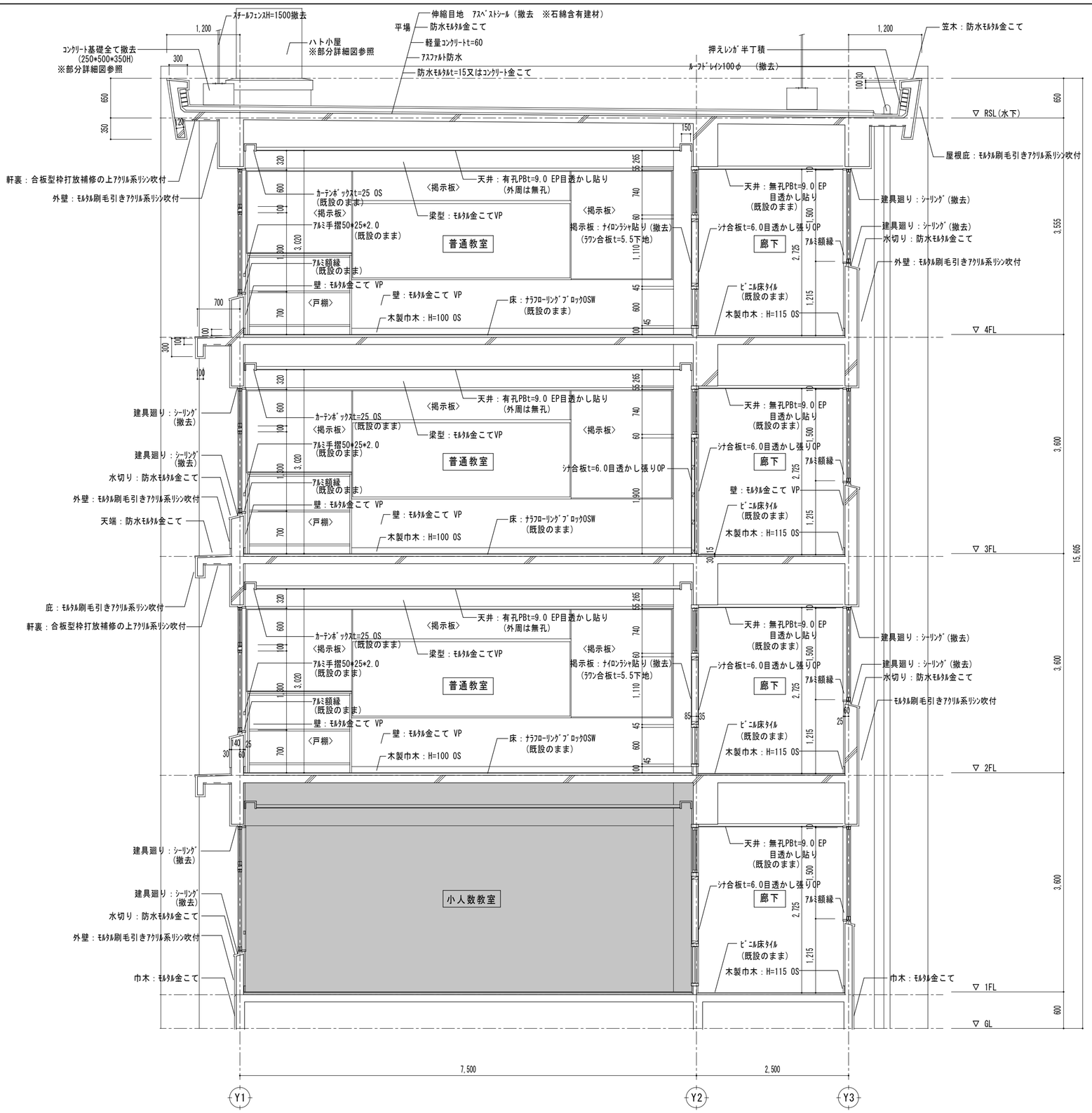


断面図　1/200



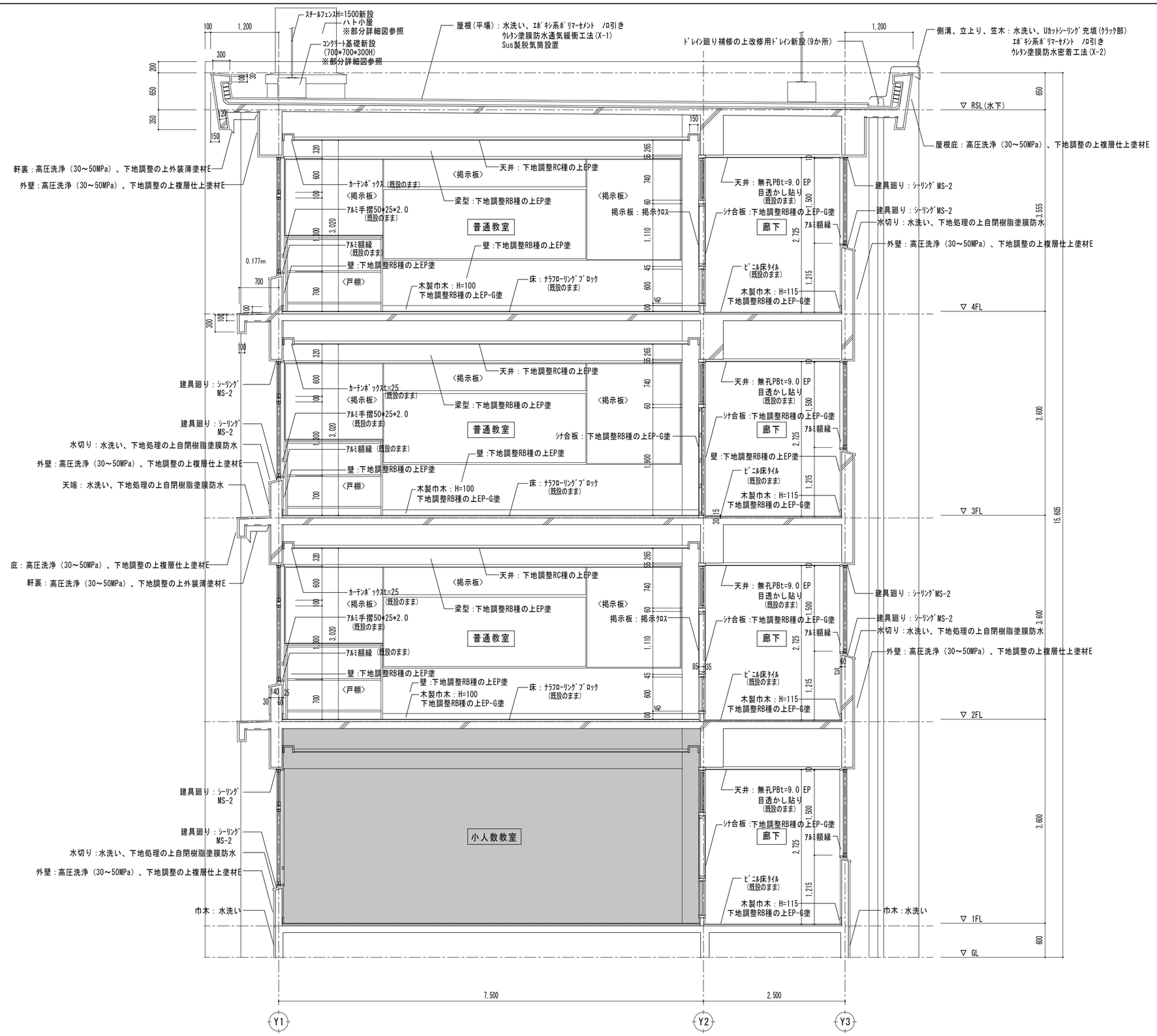
断面図　1/200

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	断面図　既存	A-18 **
					登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之					原図:A2



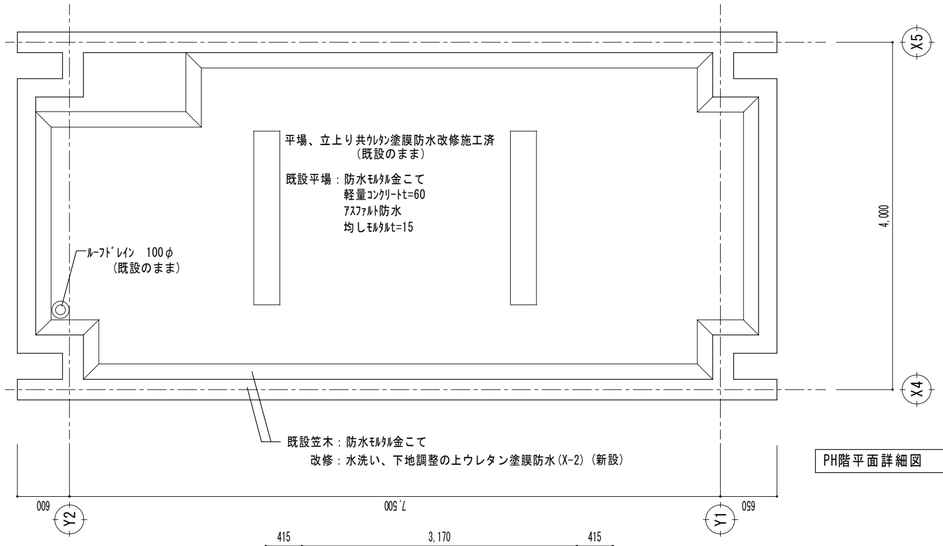
改修範囲外を示す

特記	月 日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 断面詳細図(1) 改修前	NO. A-19 ** 原図:A2
			設計				

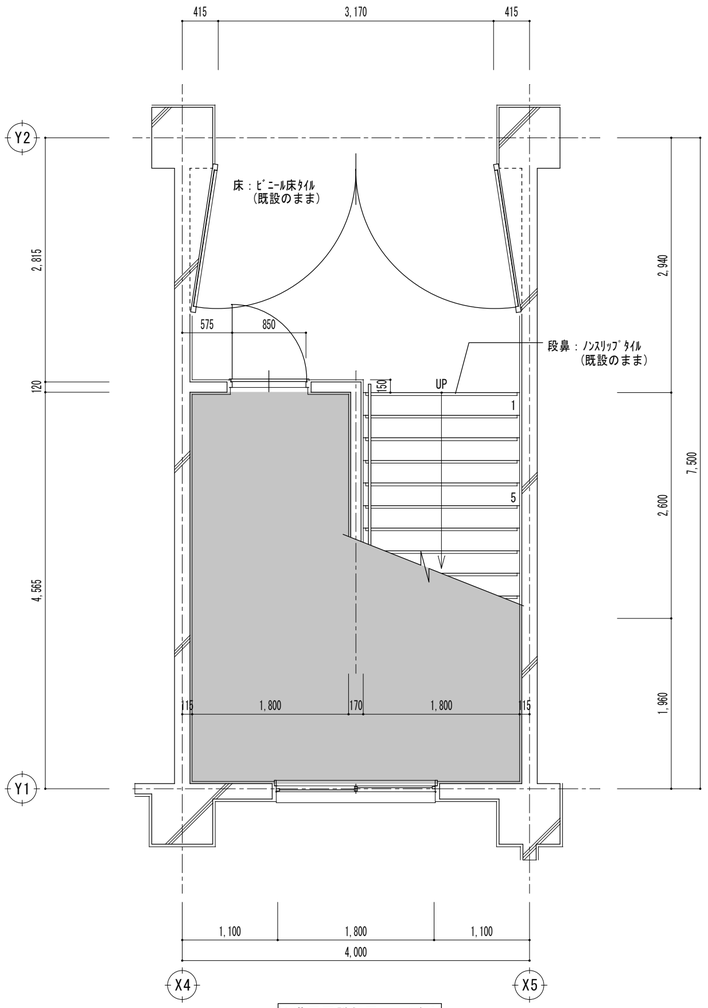


改修範囲外を示す

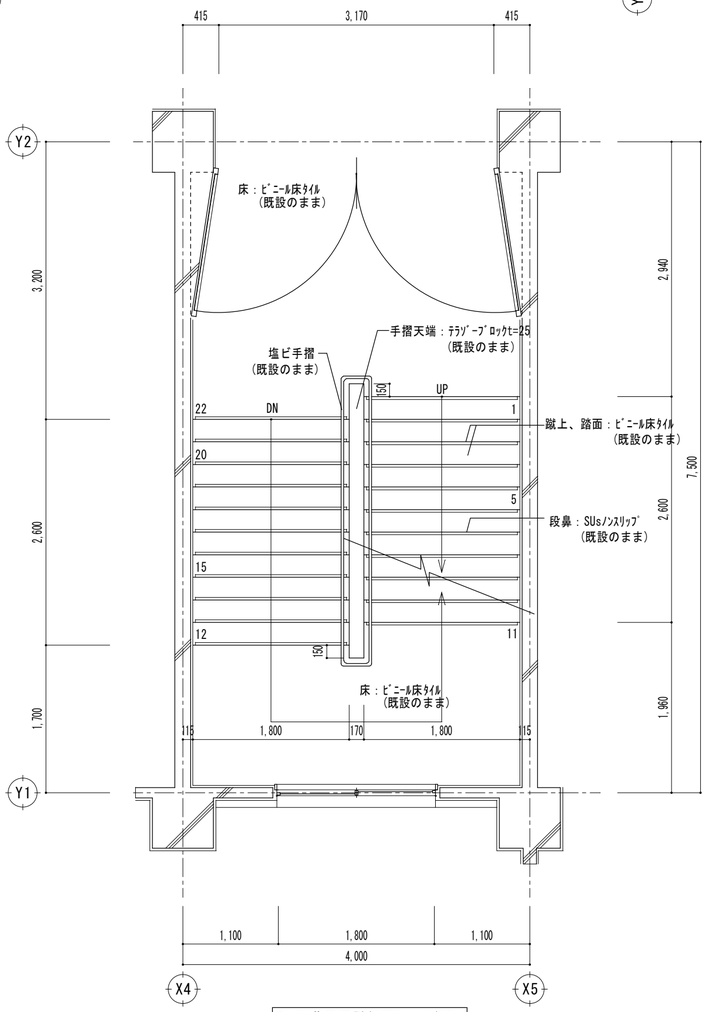
特記		月 日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 断面詳細図(2) 改修後	NO. A-20 ** 原図：A2
					設計				



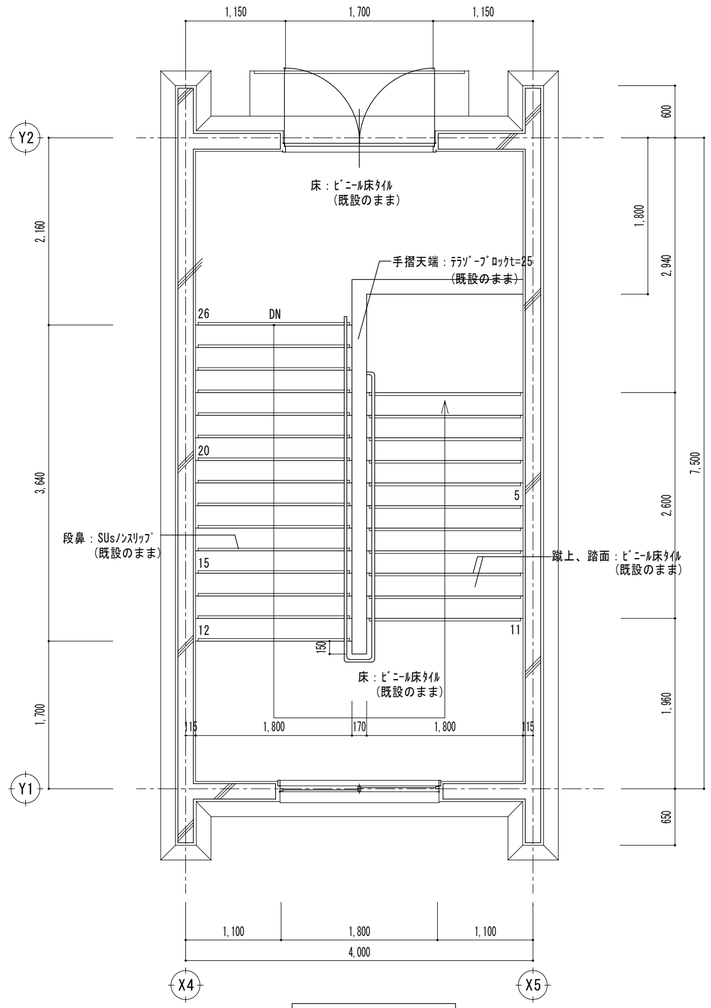
PH階平面詳細図　1/50



1階平面詳細図　1/50



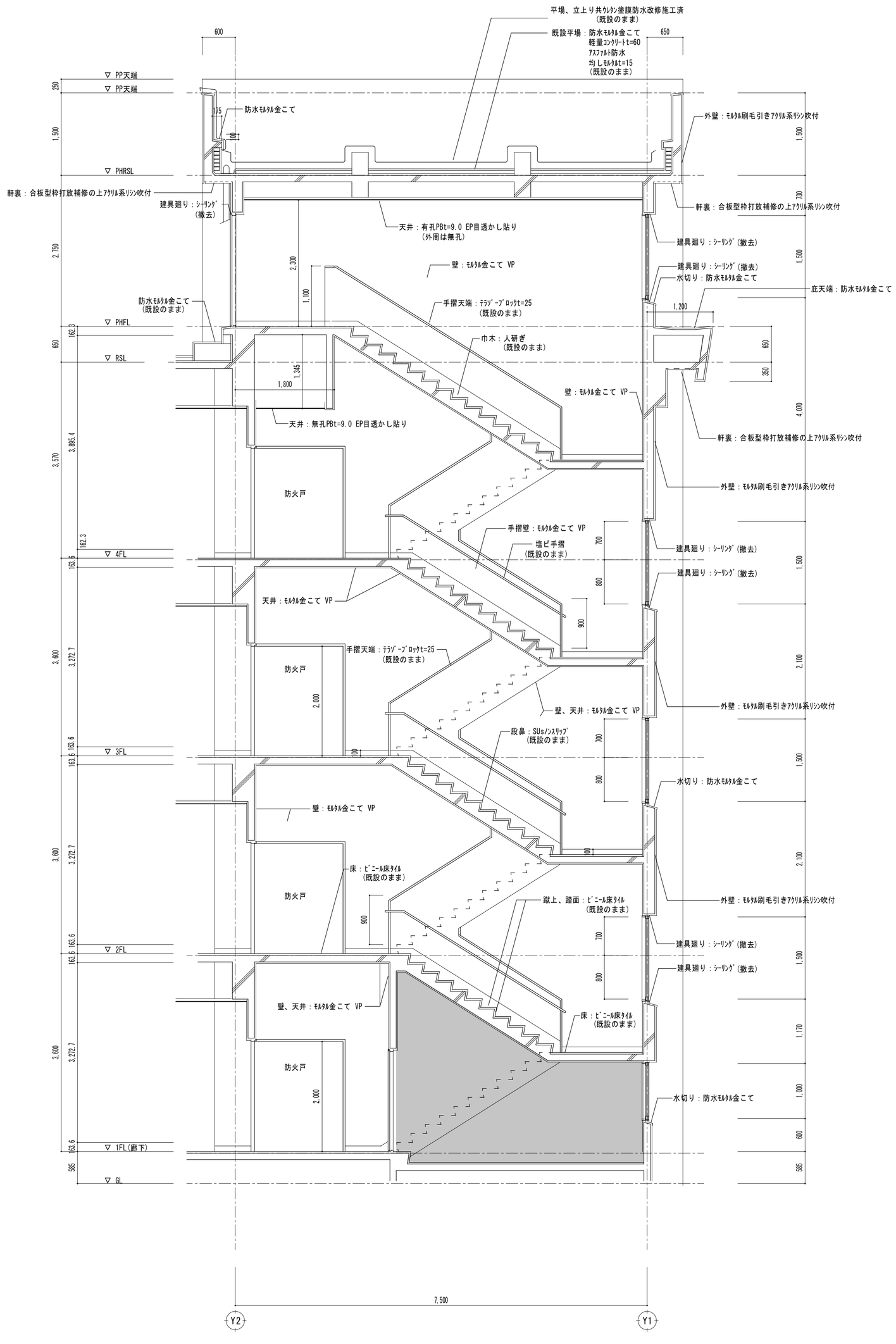
2_4 階平面詳細図　1/50



R階平面詳細図　1/50

改修範囲外を示す

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2　1/50 A3　1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 屋内階段平面詳細図　改修前後	NO. A-21 **
						設計				原図：A2



改修範囲外を示す

特記

建築設計	三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所 登録番号(1)第2118号	一級建築士第248160号 内田貴之

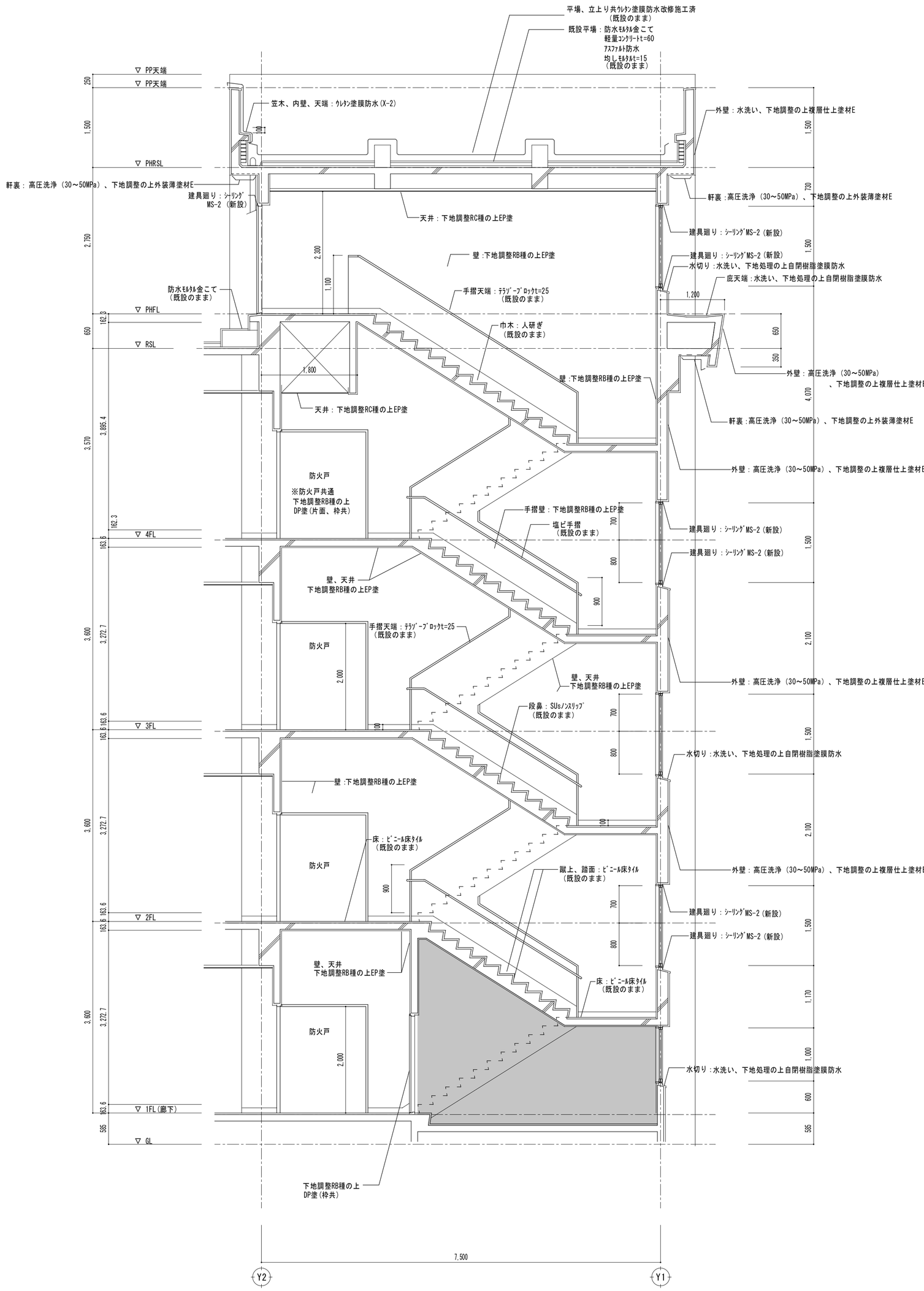
設計番号 / 年 月 日 / 設計

縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

屋内階段断面詳細図 改修前

NO. A-22 ** 原図:A2



改修範囲外を示す

特記

月	日	

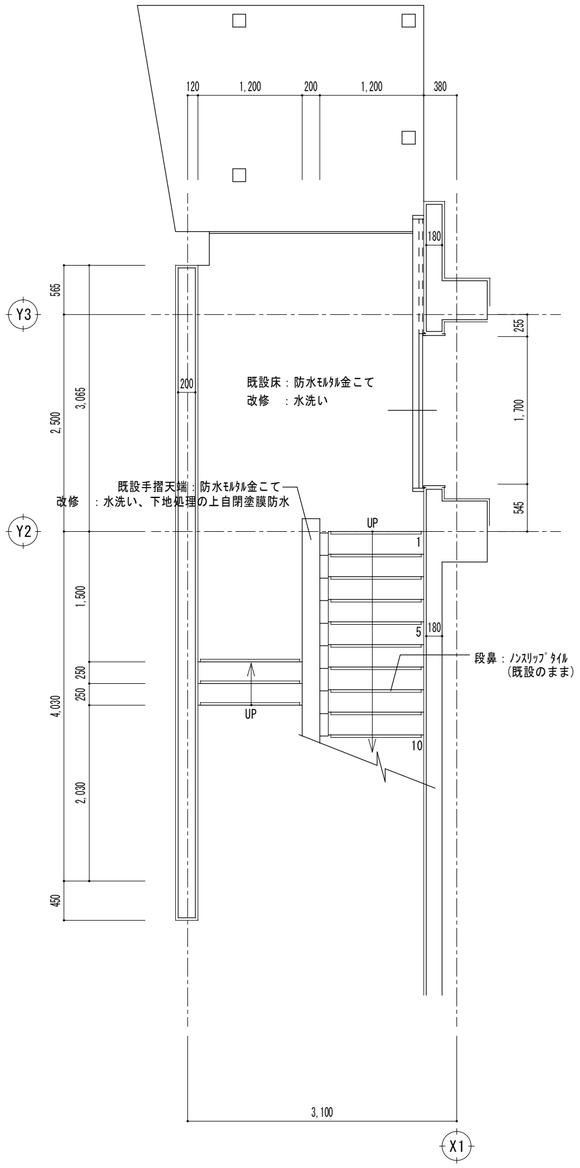
U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5168 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号
内 田 貴 之

設計番号
設計
年 月 日
縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7

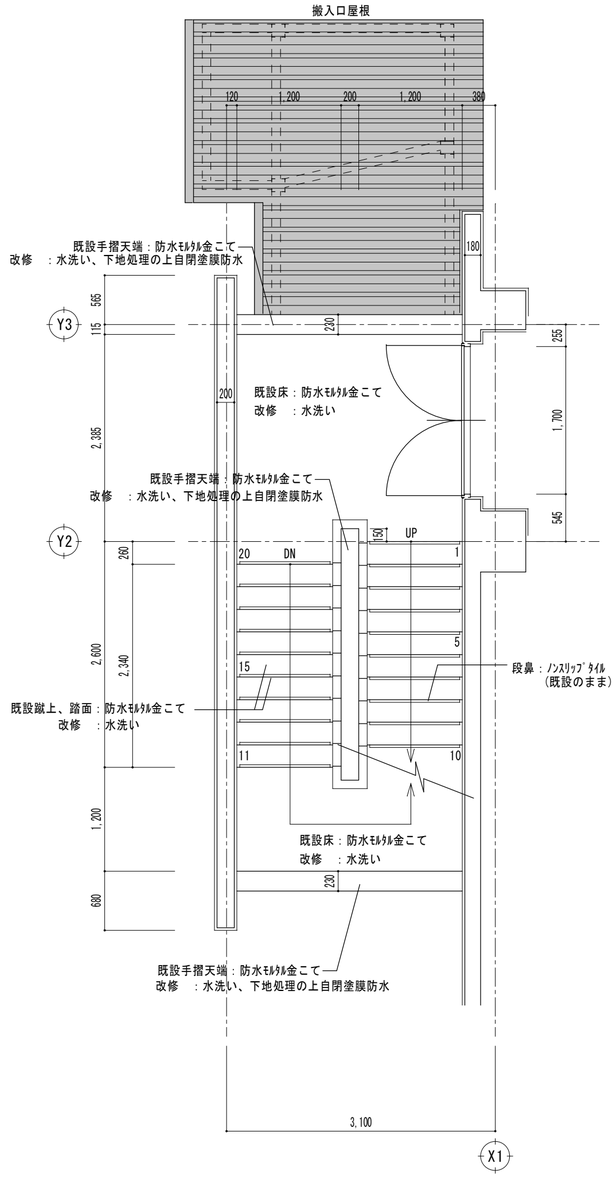
津市立橋北中学校長寿命化改修工事

屋内階段断面詳細図 改修後

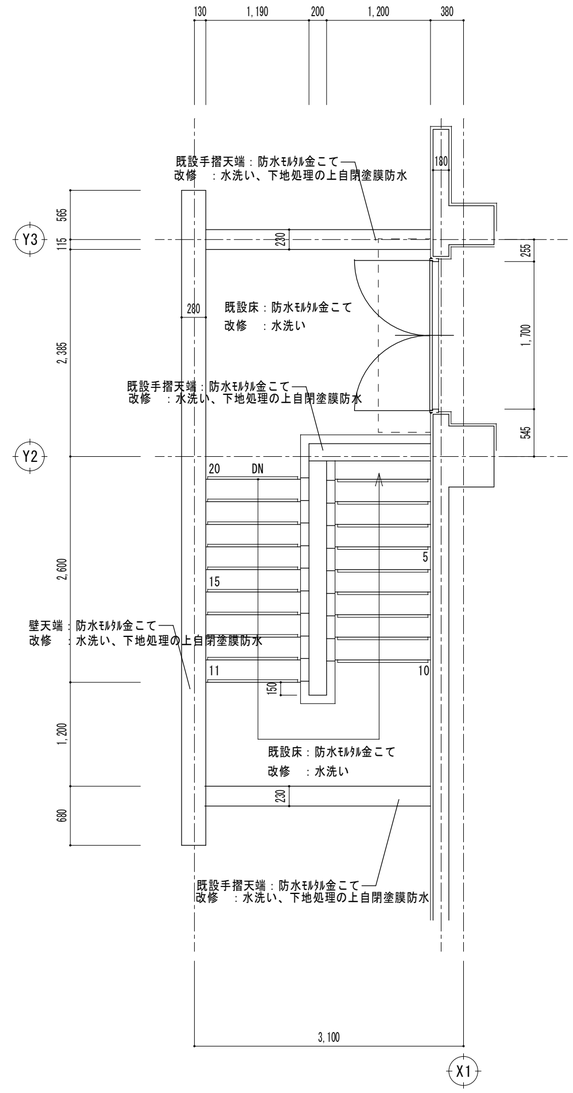
NO. A-23
**
原図：A2



1階平面詳細図　1/50



2_3 階平面詳細図　1/50

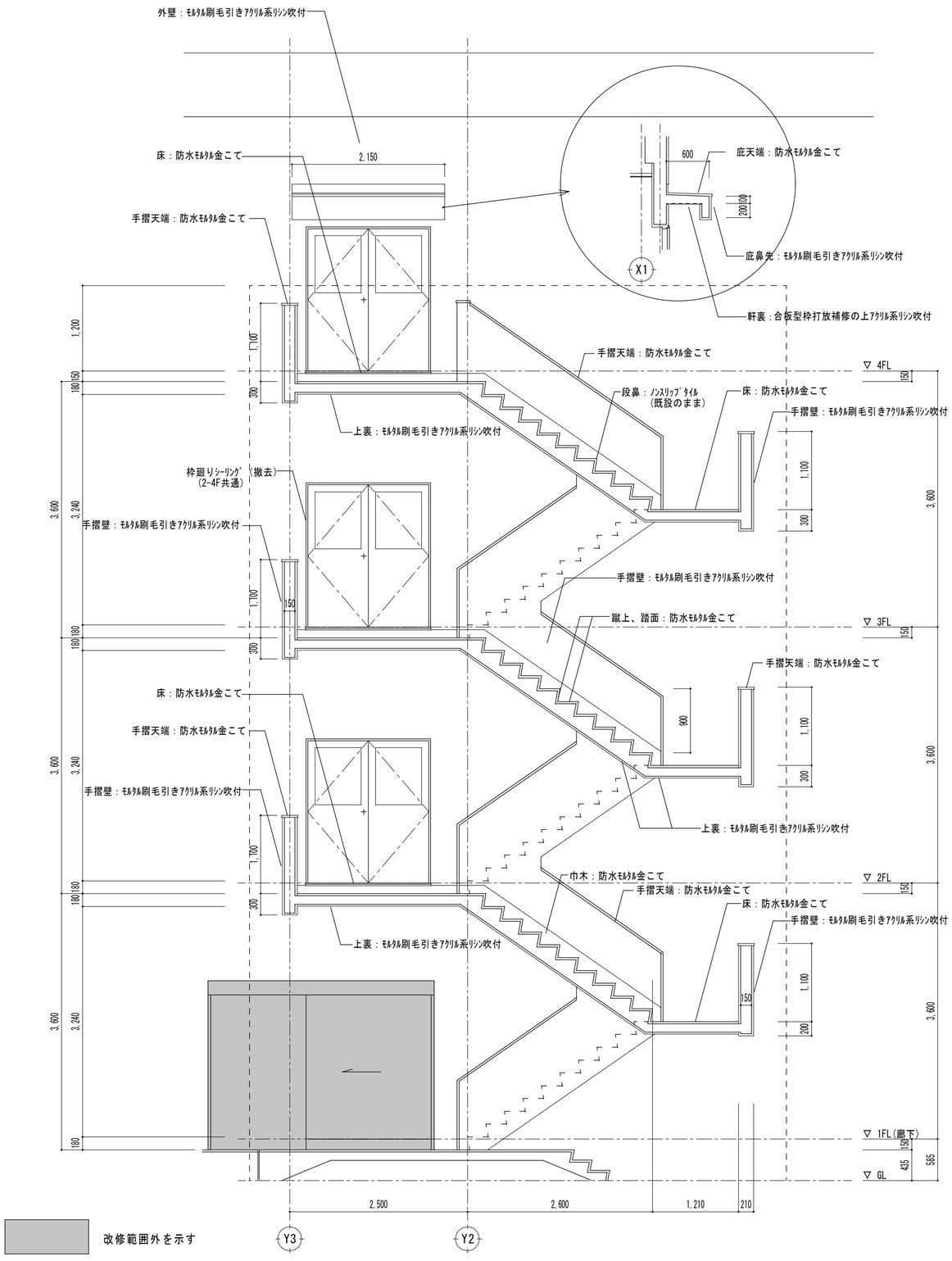


4階平面詳細図　1/50

改修範囲外を示す

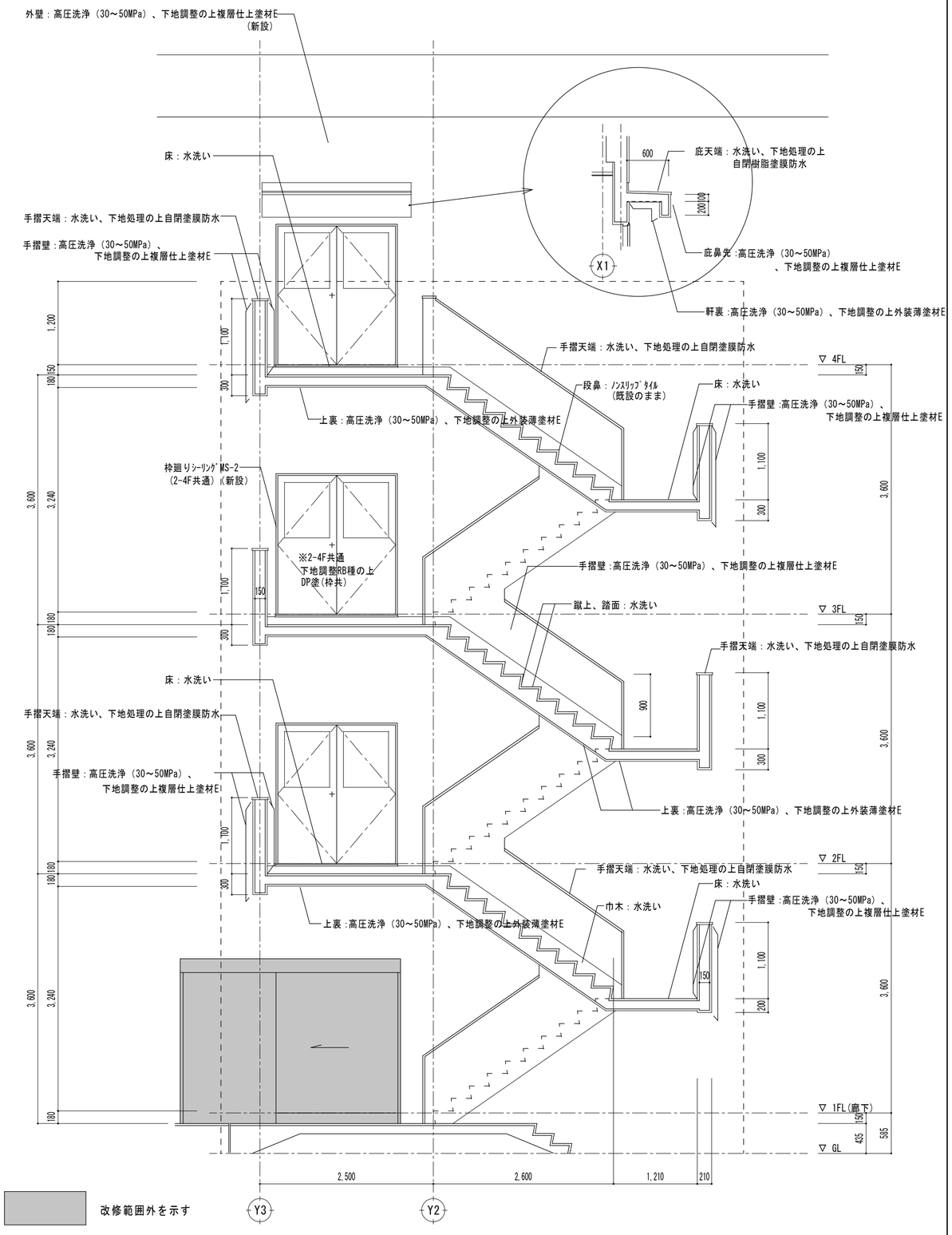
特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	屋外階段 A 平面詳細図 改修前後
			登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之				NO. A-24 ** 原図：A2

改修前



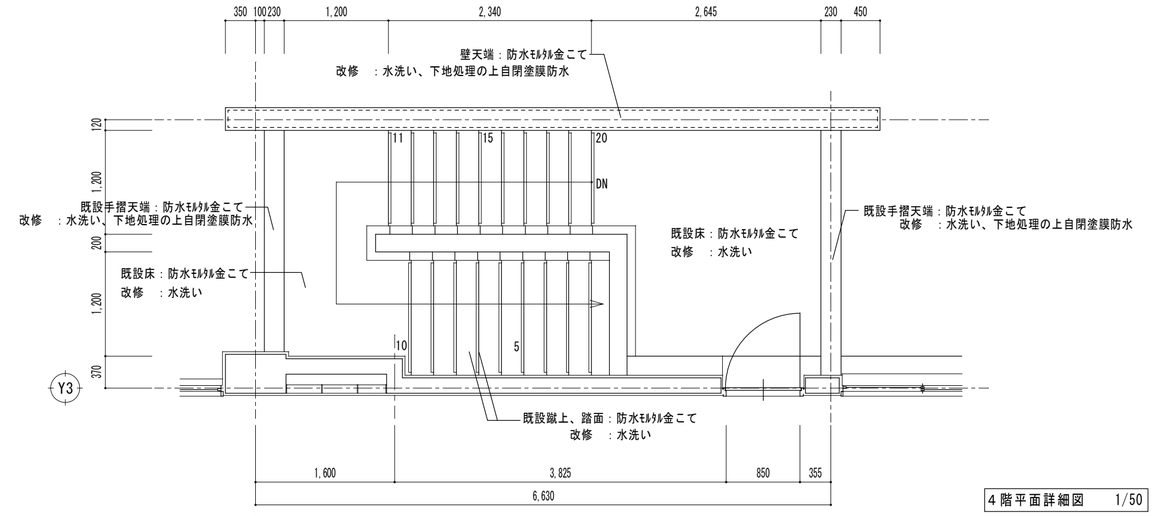
改修範囲外を示す

改修後

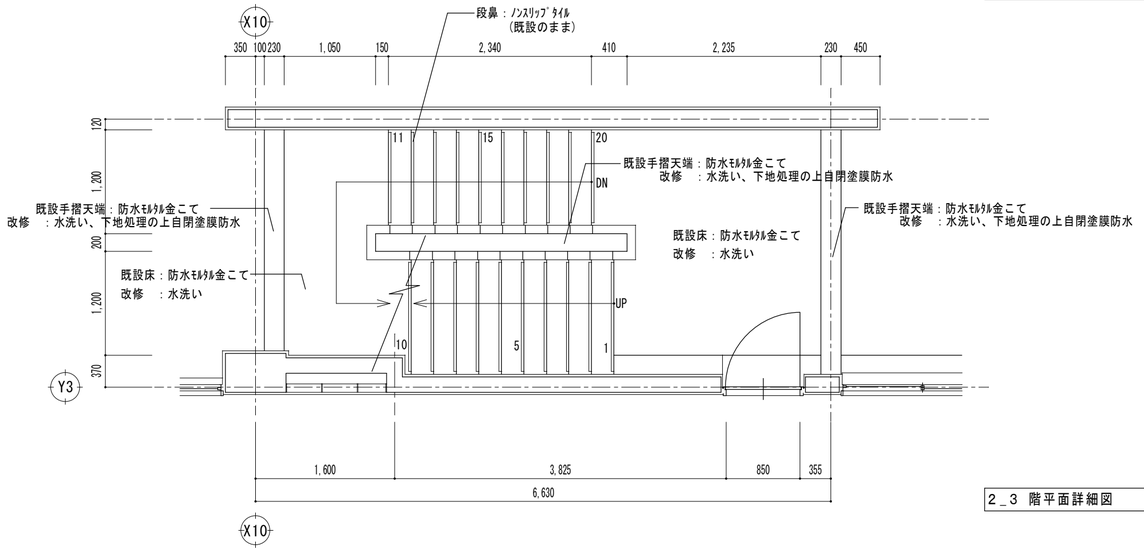


改修範囲外を示す

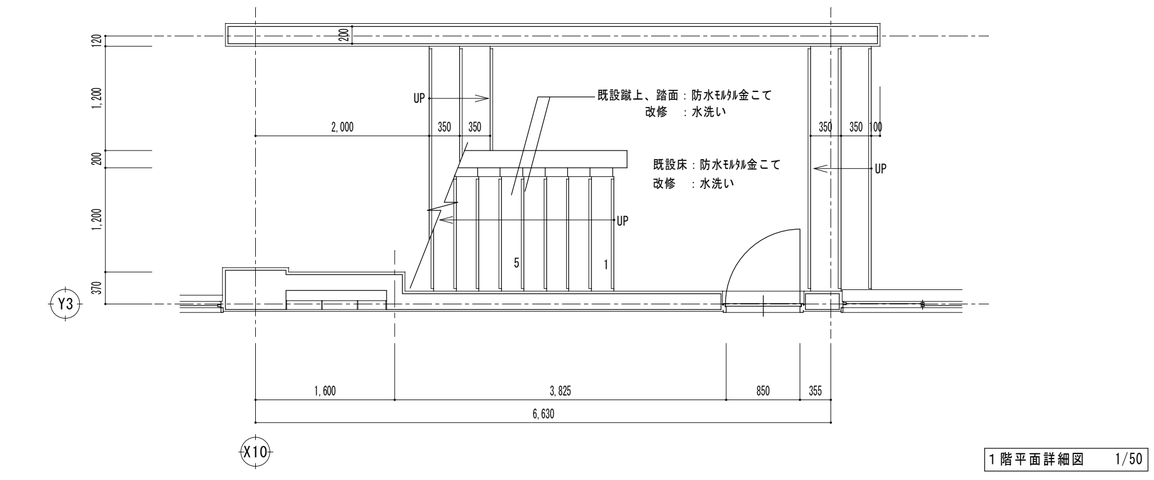
特記		月 日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 屋外階段 A 断面詳細図 改修前後	NO. A-25 **
					設計				原図：A2



4 階平面詳細図　1/50



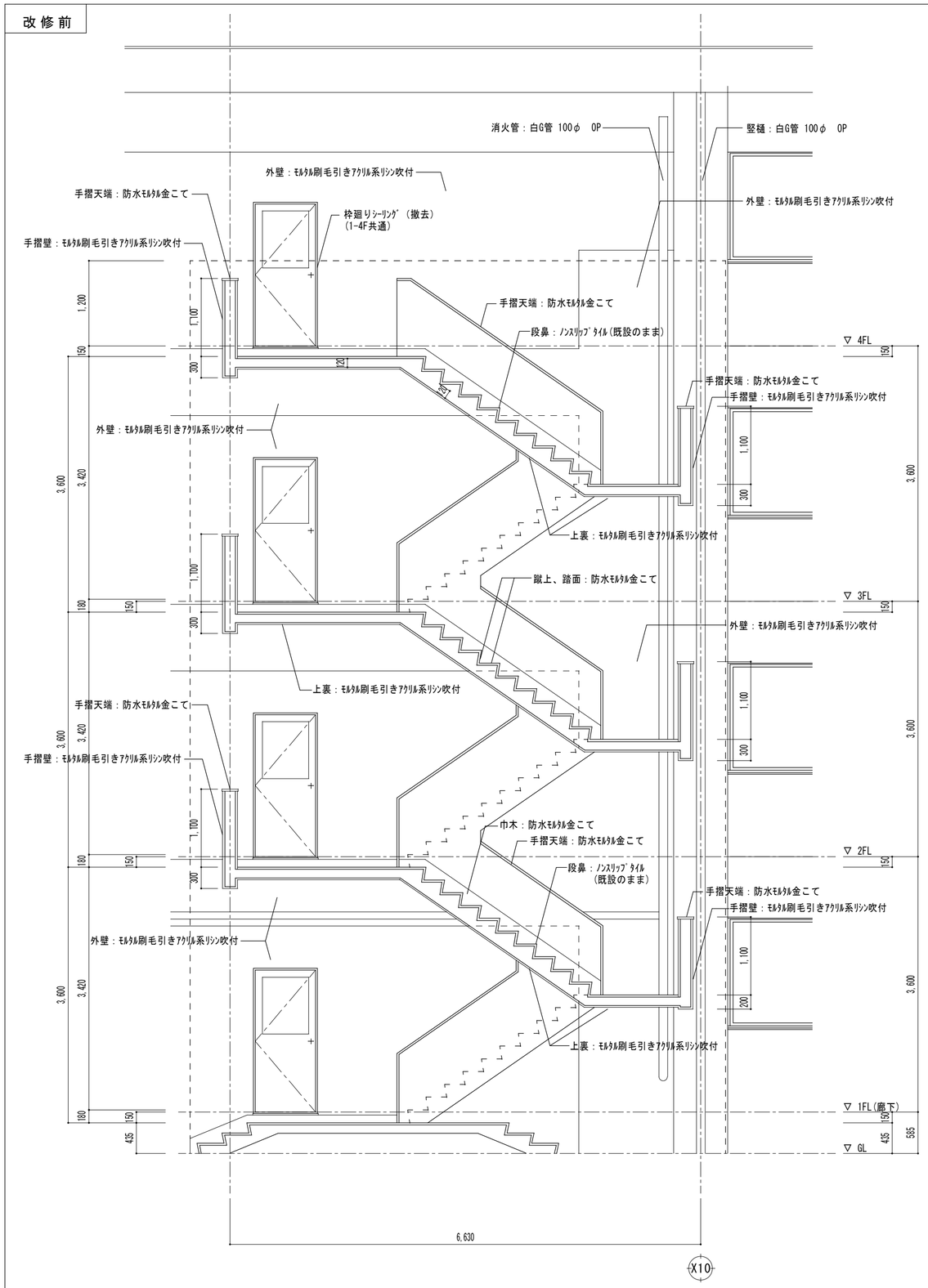
2_3 階平面詳細図　1/50



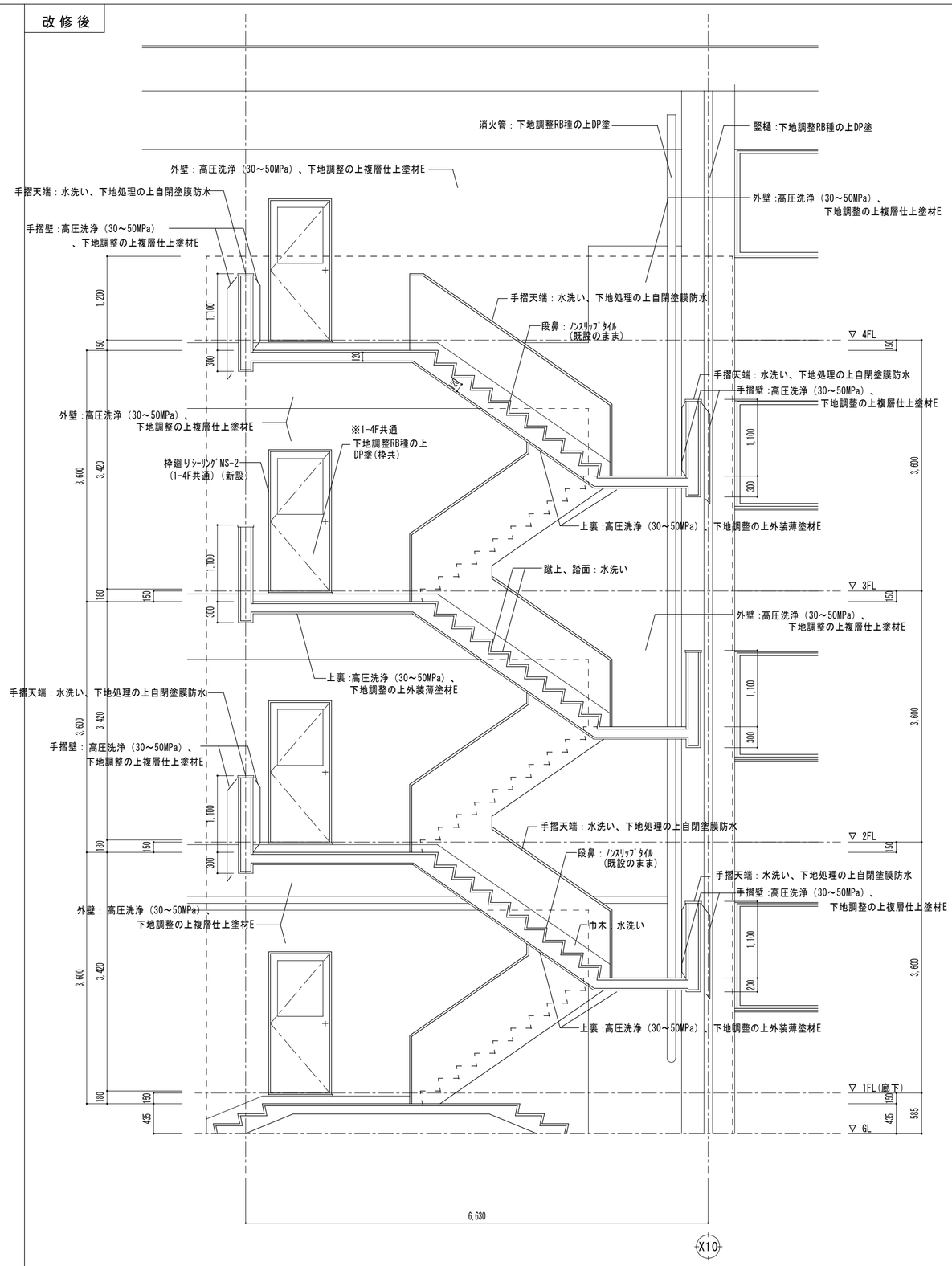
1 階平面詳細図　1/50

特記	月	日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	屋外階段 B 平面詳細図　改修前後	A-26 **
			登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

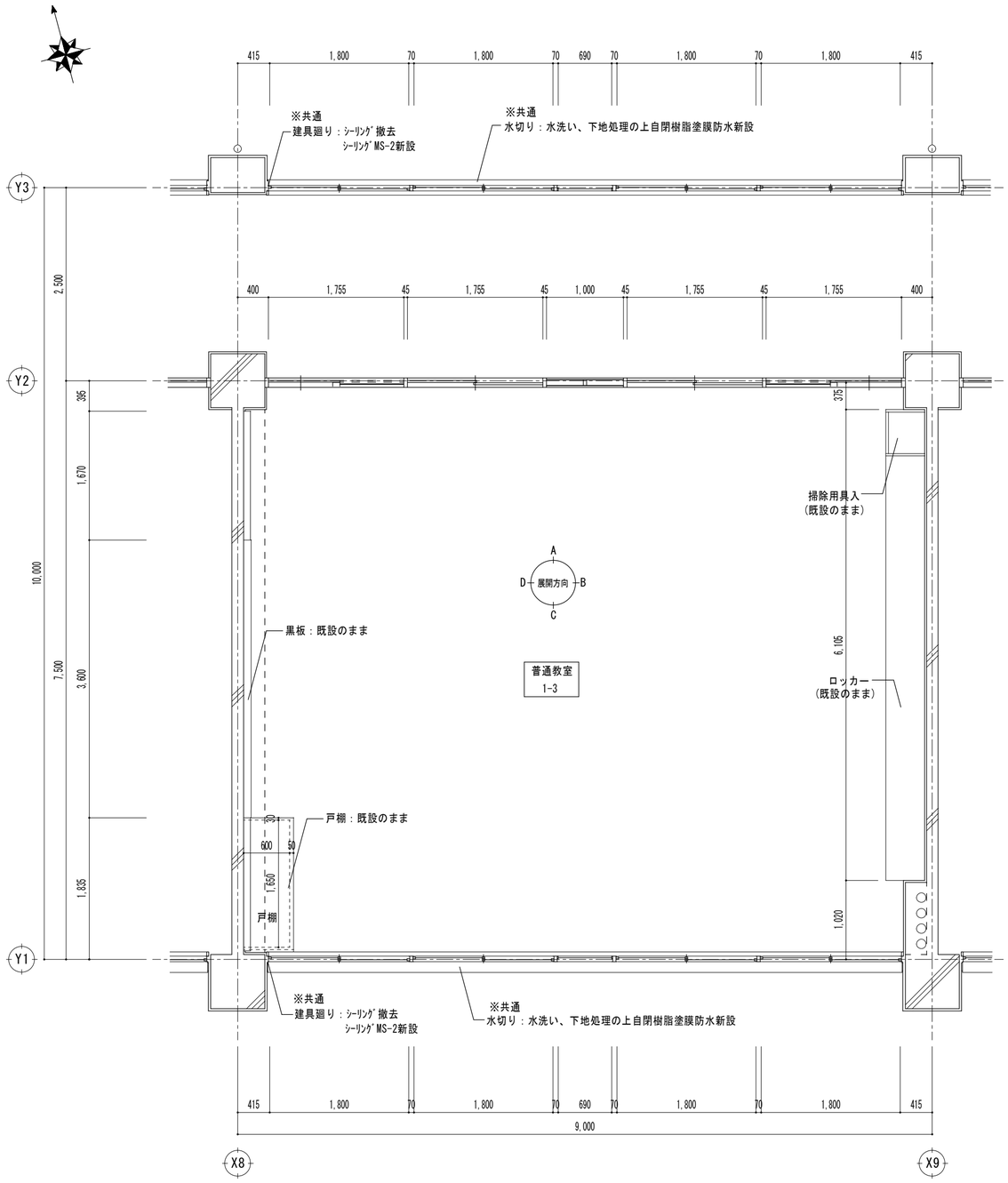
改修前



改修後

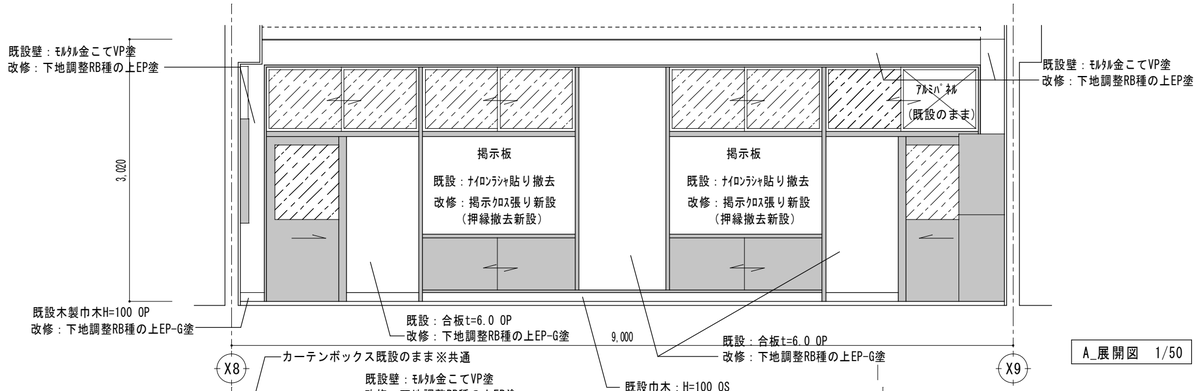


特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	屋外階段 B 断面詳細図　改修前後	A-27 **
					登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

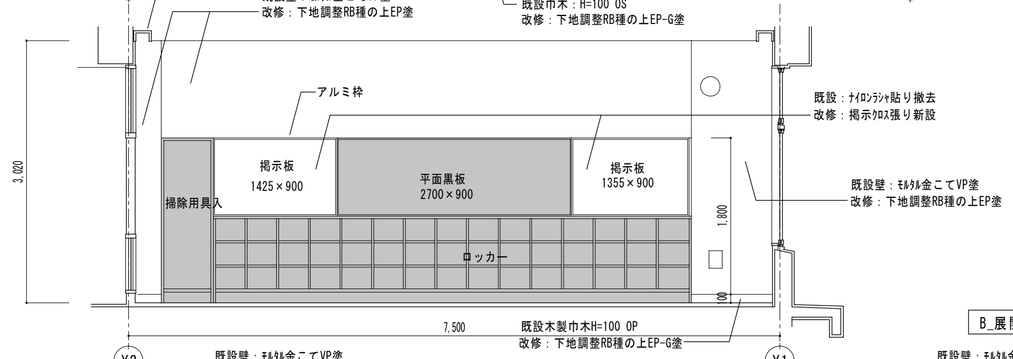


4階　平面詳細図　1/50

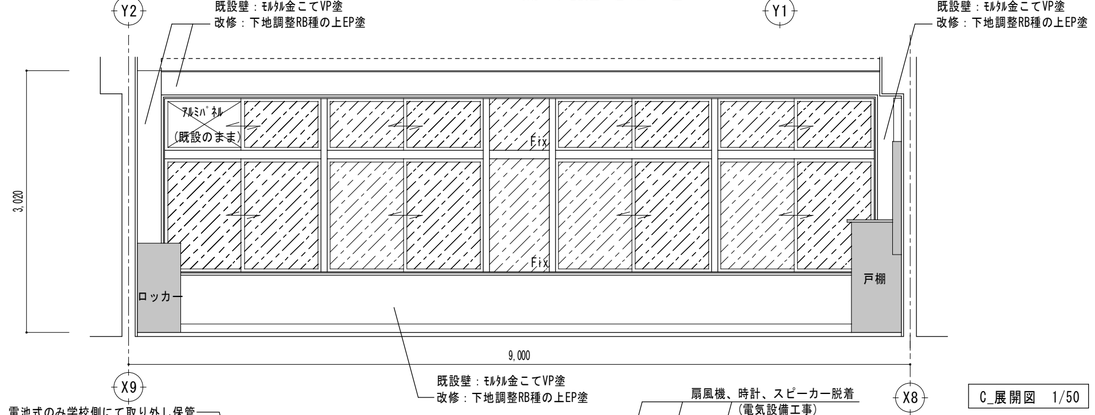
※特記なき限り普通教室　平面詳細図・展開図は、1-3教室と同様とする。



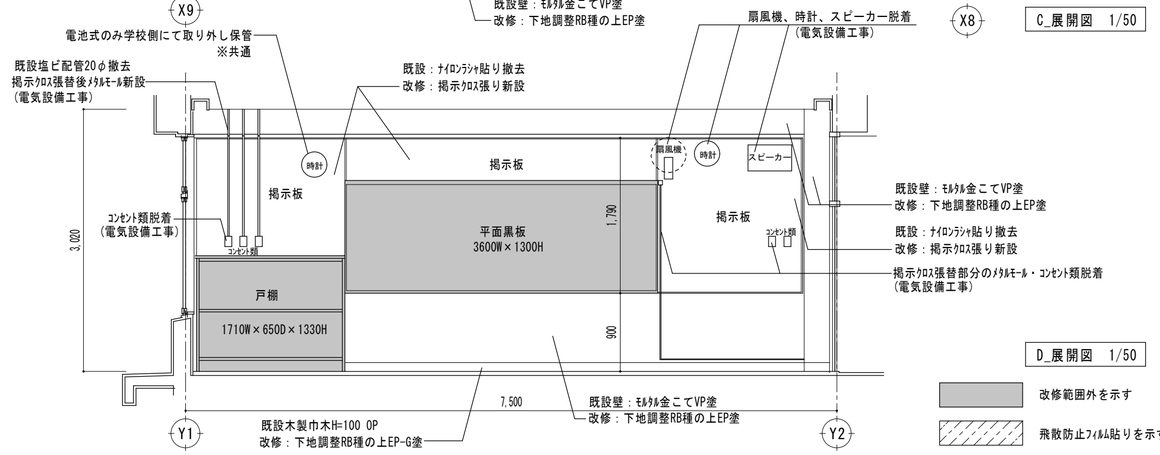
A_展開図　1/50



B_展開図　1/50



C_展開図　1/50

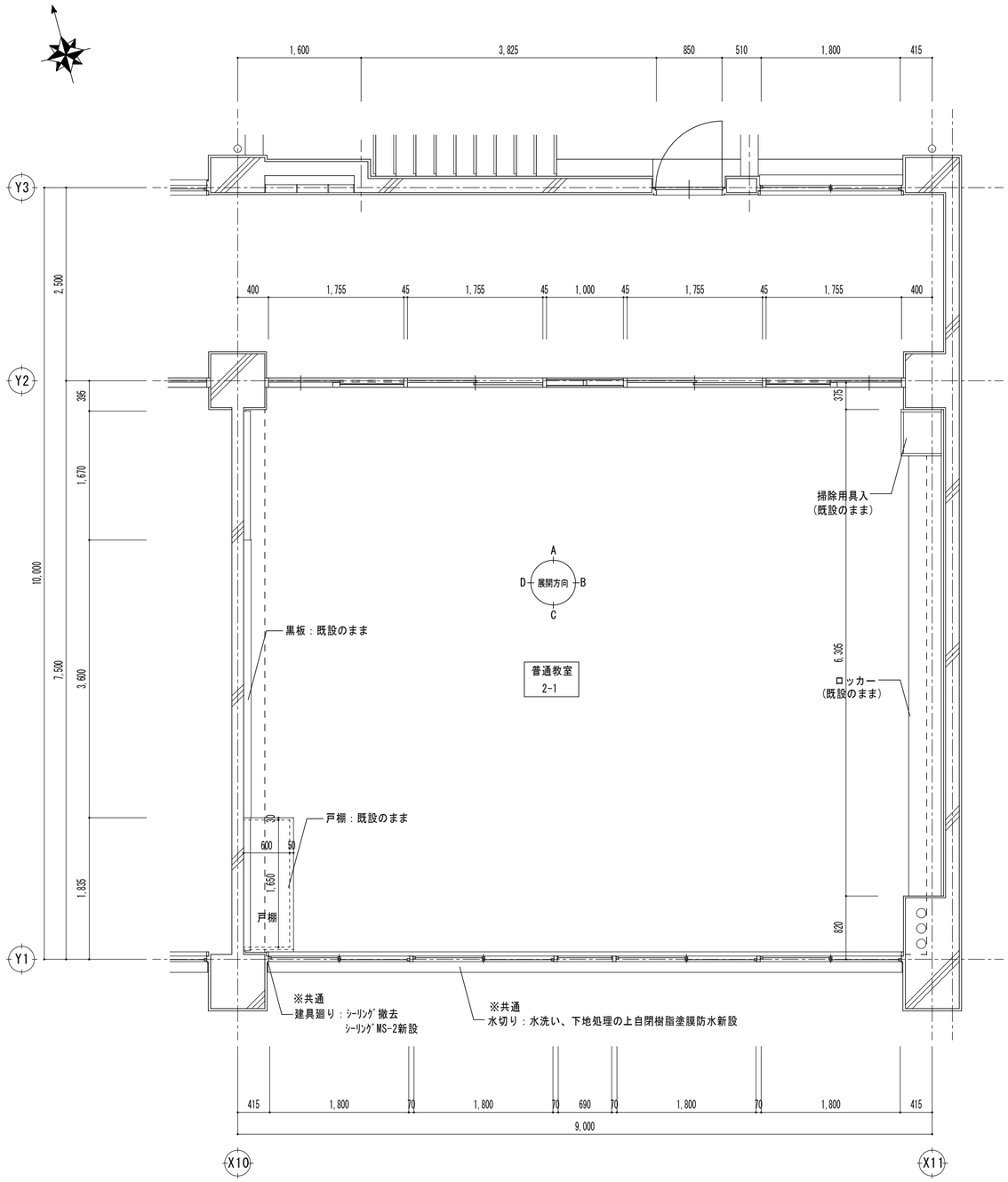


D_展開図　1/50

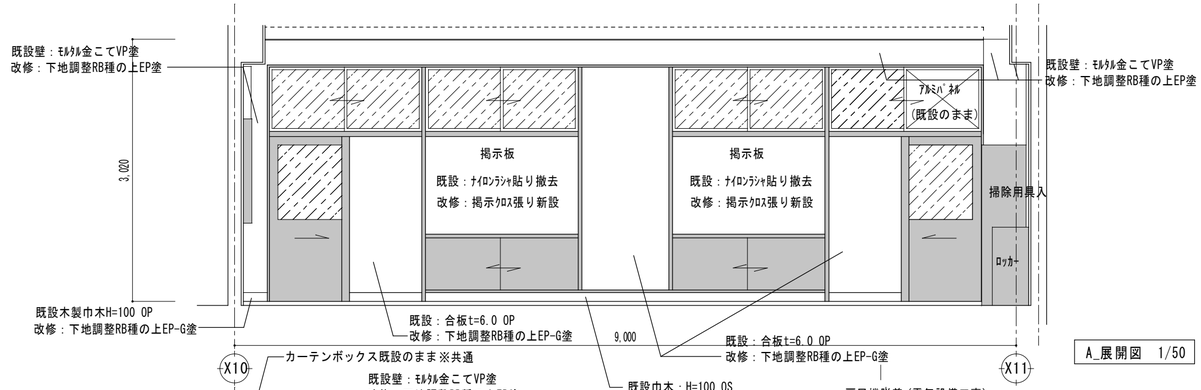
改修範囲外を示す

飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼りを示す

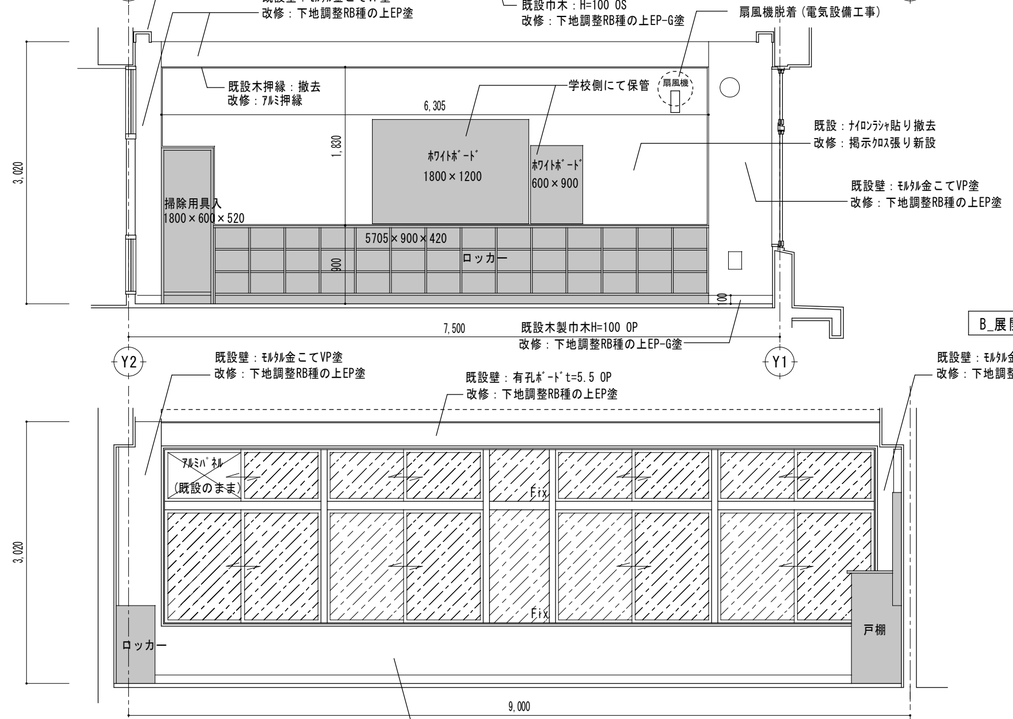
特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之	設計番号 設計	年　月　日	縮尺 A2　1/50 A3　1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 普通教室　4階　1-3教室 平面詳細図・展開図　改修前後	NO. A-28 ** 原図：A2



4階　平面詳細図　1/50

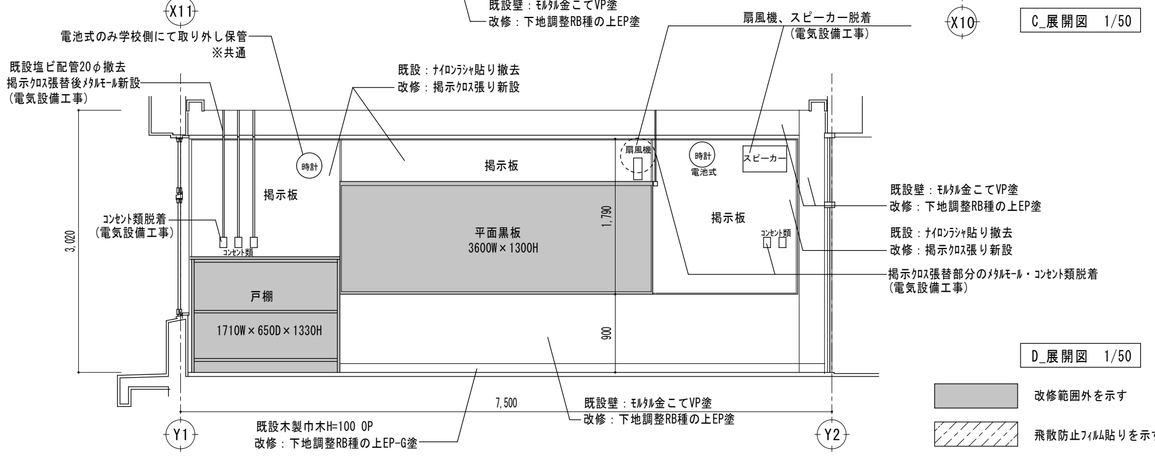


A_展開図　1/50



B_展開図　1/50

C_展開図　1/50

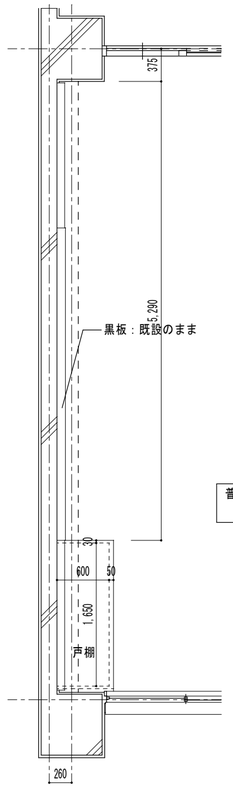


D_展開図　1/50

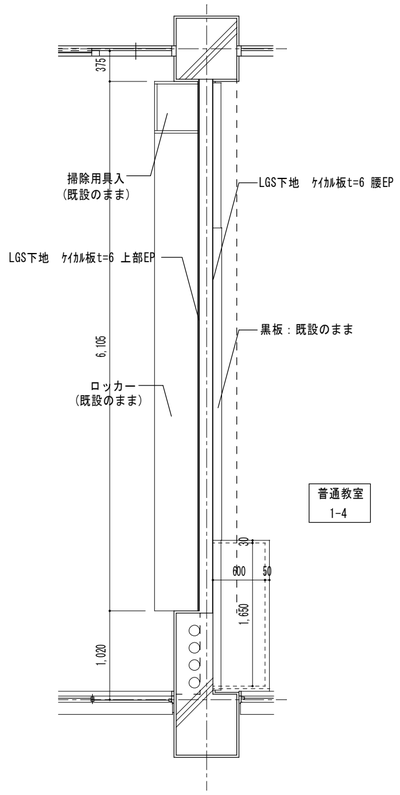
改修範囲外を示す

飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼りを示す

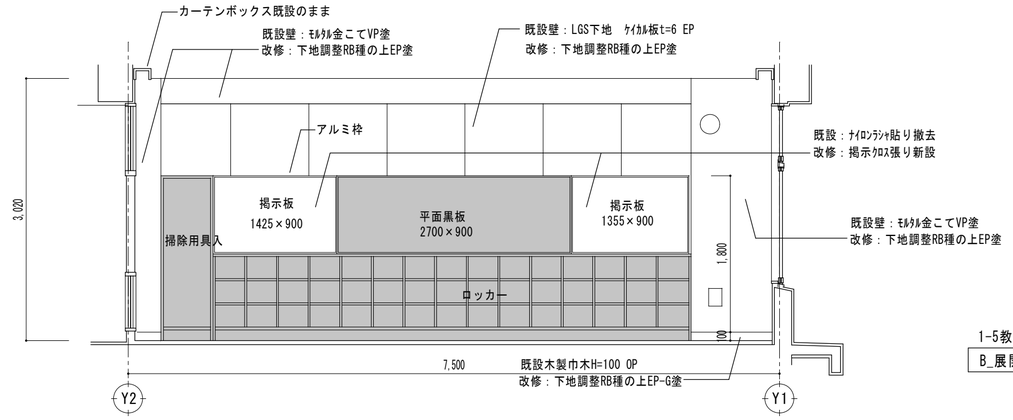
特記	月	日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	普通教室　3階　2-1教室 平面詳細図・展開図　改修前後	A-29 **
			登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2



4階

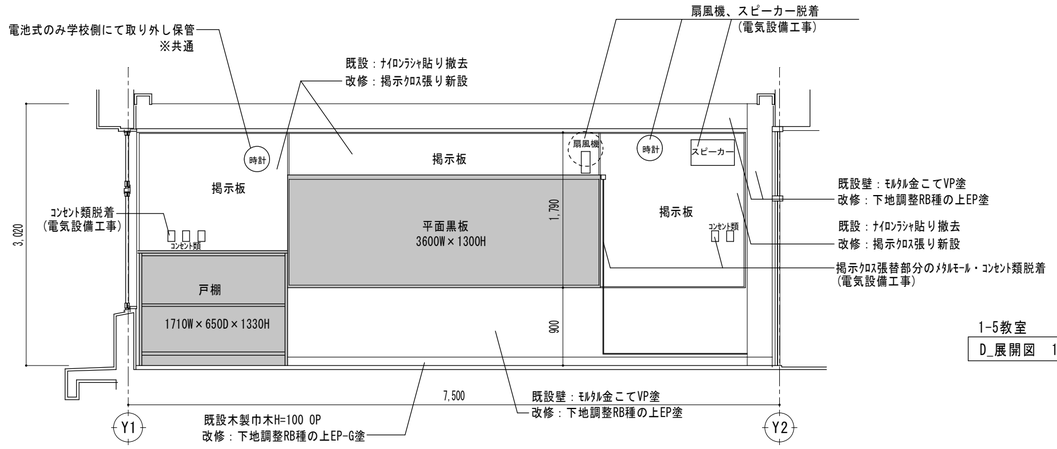


4階



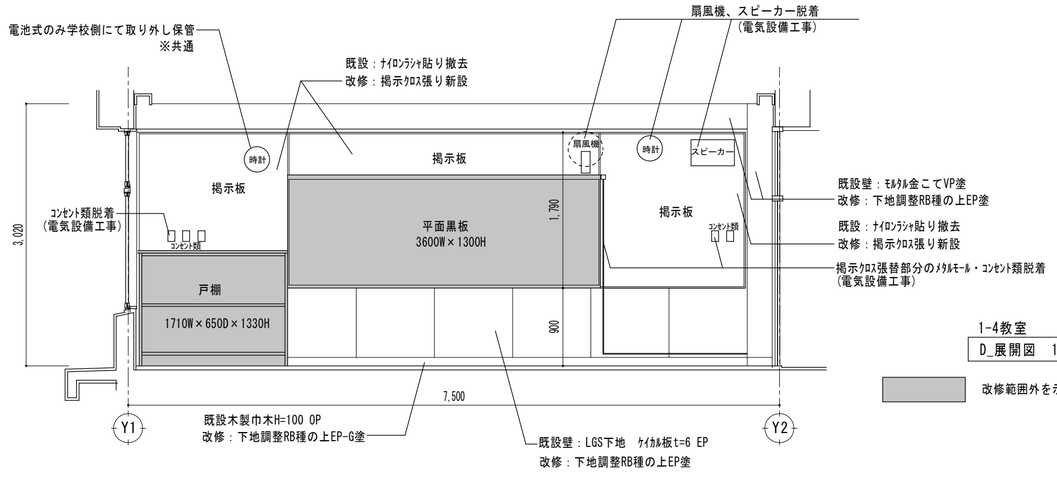
1-5教室

B_展開図　1/50



1-5教室

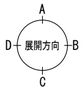
D_展開図　1/50



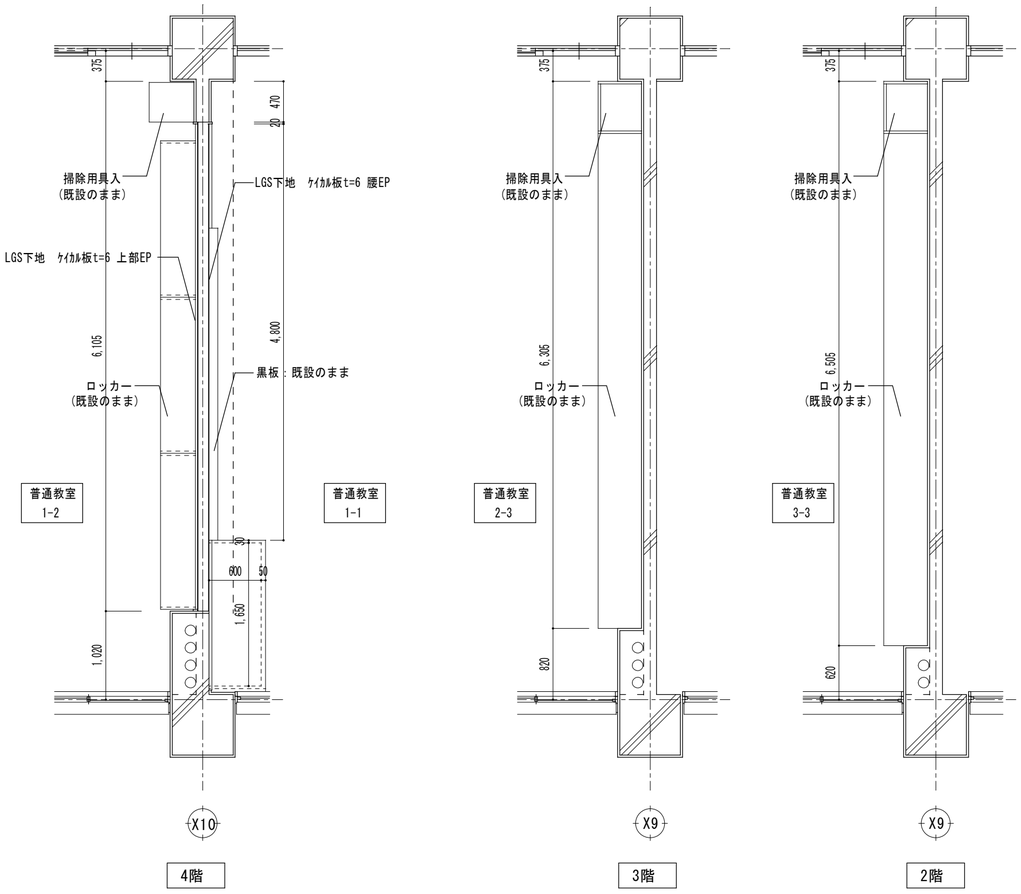
1-4教室

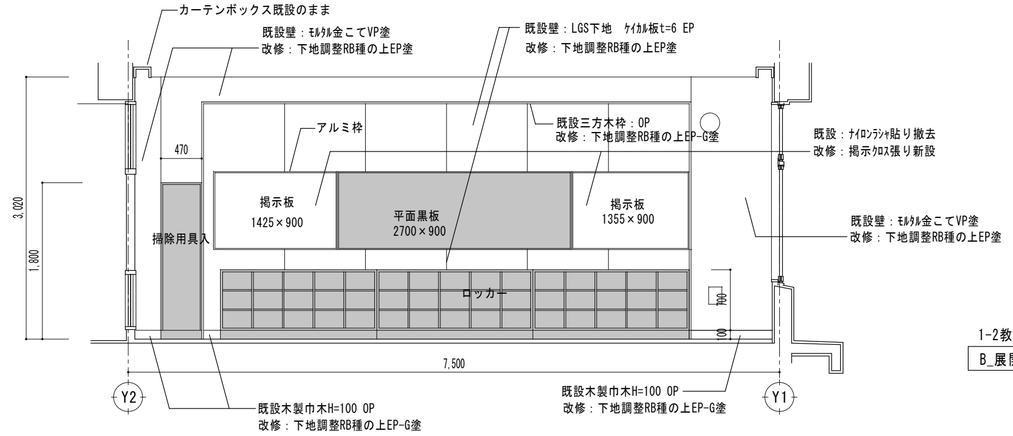
D_展開図　1/50

改修範囲外を示す

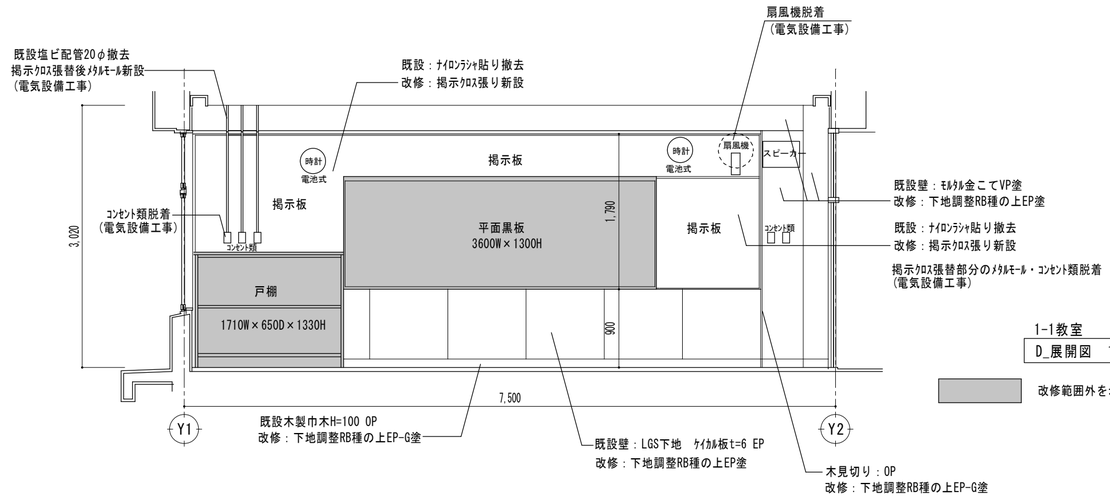


特記		月 日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	普通教室　4階　1-4, 1-5教室 平面部分詳細図・展開図　改修前後	A-30 **
				登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2



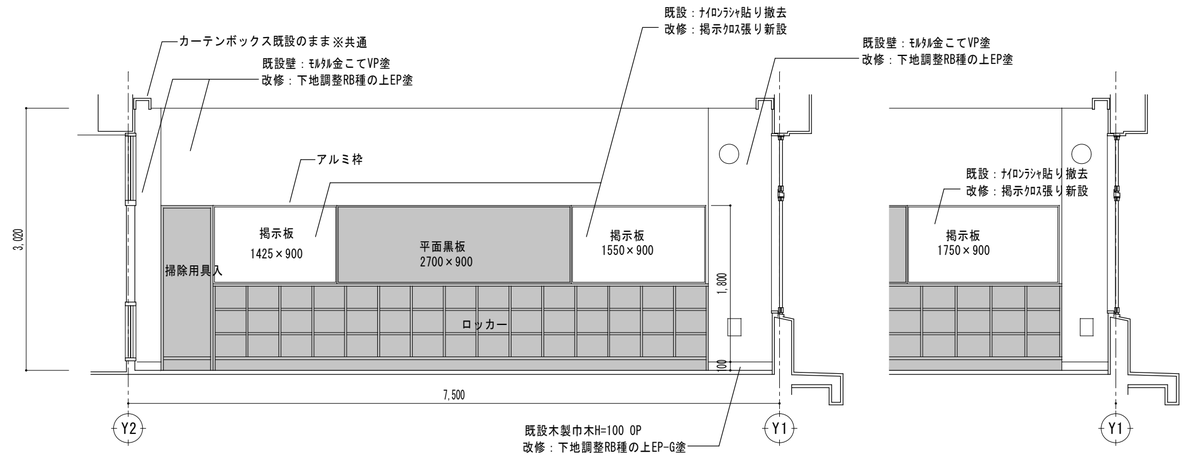


1-2教室
B_展開図　1/50



1-1教室
D_展開図　1/50

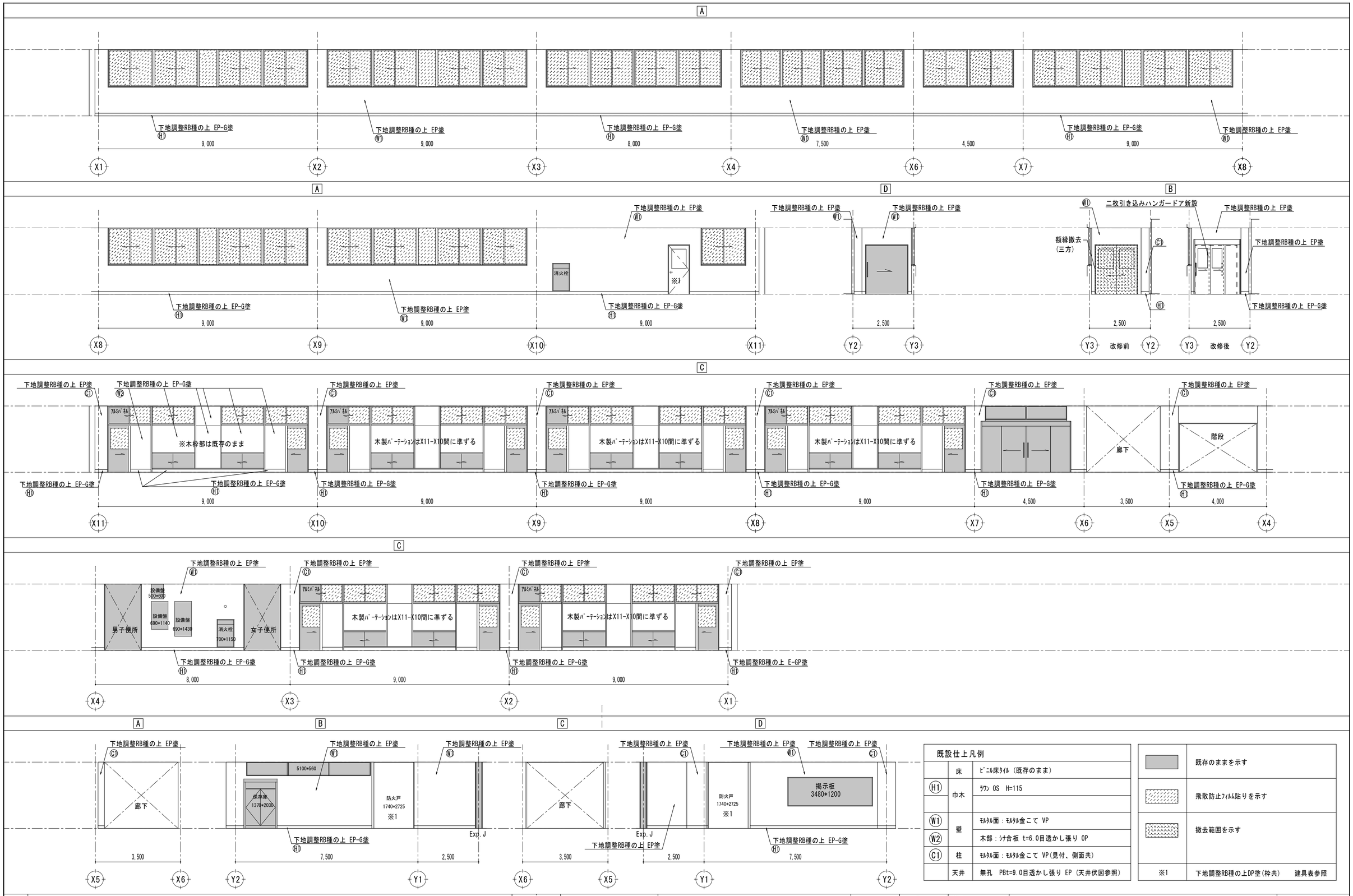
改修範囲外を示す



2-3教室
B_展開図　1/50

3-3教室
B_展開図　1/50

特記	月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
		一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	普通教室　4階1-2，1-1，3階2-3，　2階3-3教室 平面部分詳細図・展開図　改修前後	A-31 **
		登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

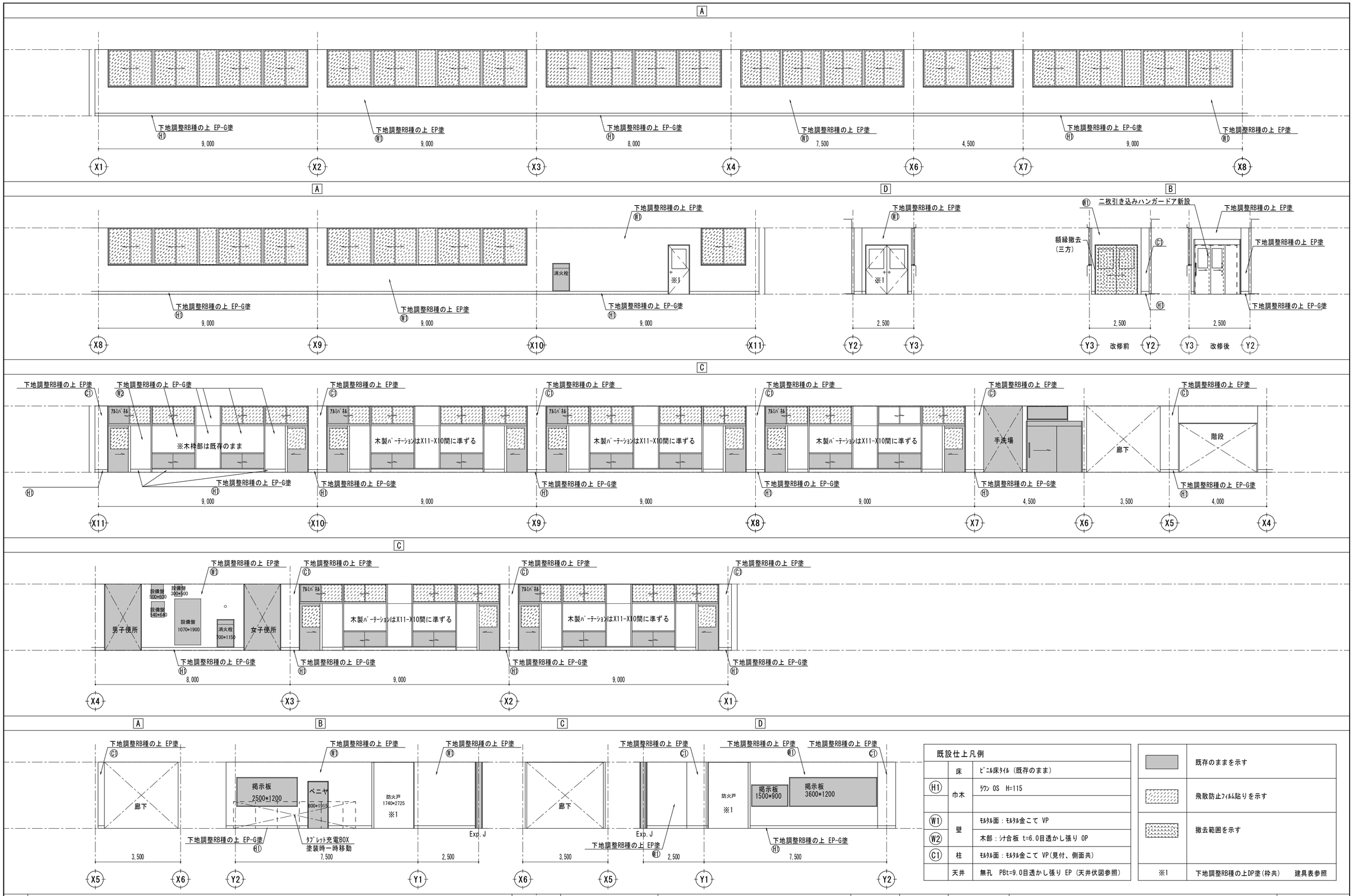


既設仕上凡例

	床	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ (既存のまま)
(H1)	巾木	ﾗｳﾝ OS H=115
(W1)	壁	ﾓﾙﾀﾙ面：ﾓﾙﾀﾙ金こて VP
(W2)		木部：ｼﾅ合板 t=6.0目透かし張り OP
(C1)	柱	ﾓﾙﾀﾙ面：ﾓﾙﾀﾙ金こて VP(見付、側面共)
	天井	無孔 PBt=9.0目透かし張り EP (天井伏図参照)

	既存のままを示す
	飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼りを示す
	撤去範囲を示す
※1	下地調整RB種の上DP塗(枠共) 建具表参照

特記		月 日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	１階廊下 展開図 改修前後	A-32 **
				登録番号（１）第２１１８号 内田 貴之					原図：A2

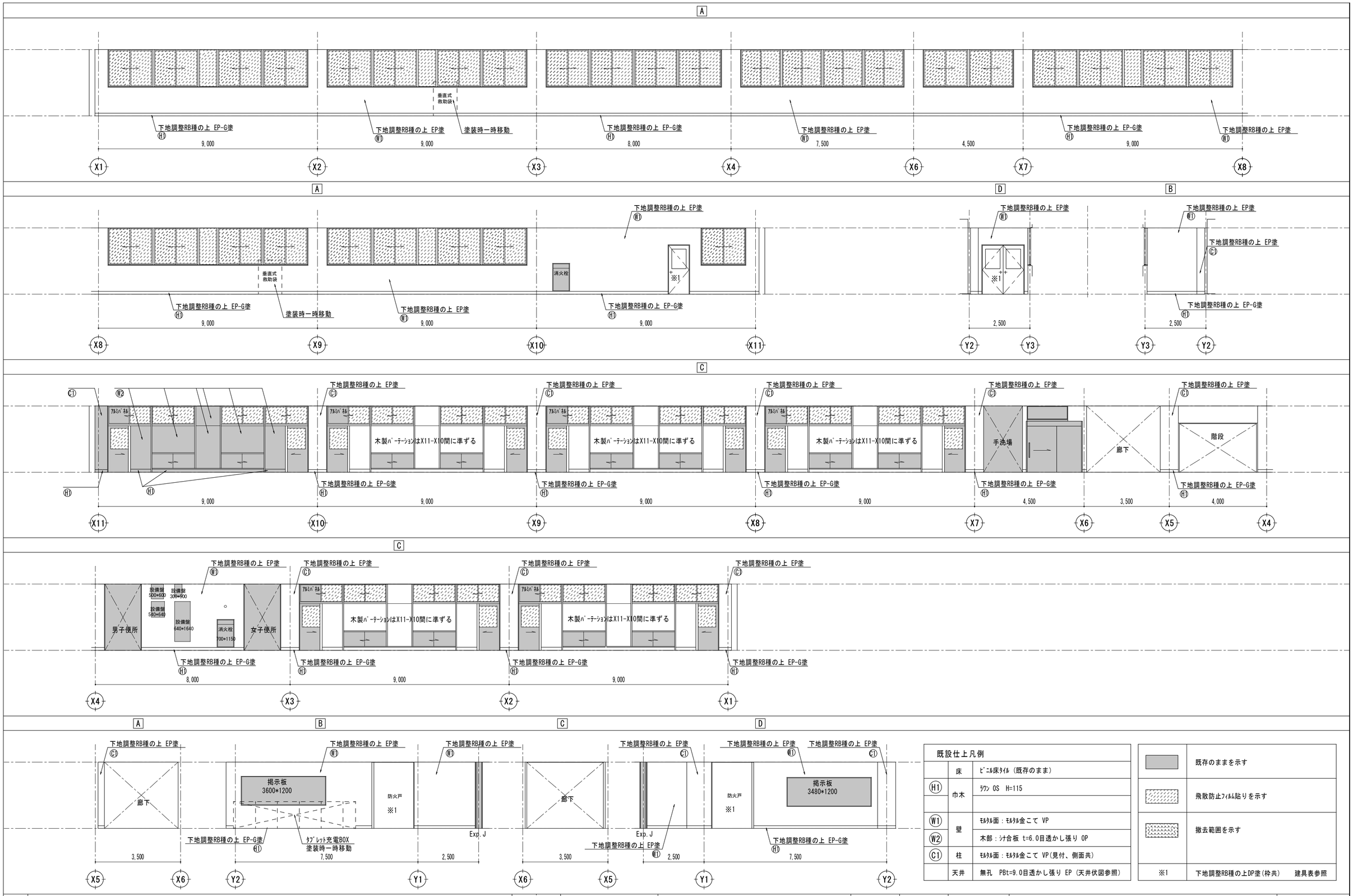


既設仕上凡例

	床	ビニル床タイル（既存のまま）
H1	巾木	ラワン OS H=115
W1	壁	モルタル面：モルタル金こて VP
W2		木部：シナ合板 t=6.0目透かし張り OP
C1	柱	モルタル面：モルタル金こて VP(見付、側面共)
	天井	無孔 PBt=9.0目透かし張り EP（天井伏図参照）

	既存のままを示す
	飛散防止フィルム貼りを示す
	撤去範囲を示す
※1	下地調整RB種の上DP塗(枠共)　建具表参照

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	２階廊下　展開図　改修前後	A-33 **
					登録番号（1）第２１１８号 / 内田 貴之					原図：A2



既設仕上凡例

	床	ビニル床タイル（既存のまま）
H1	巾木	ラワン OS H=115
W1	壁	モルタル面：モルタル金こて VP
W2		木部：シナ合板 t=6.0目透かし張り OP
C1	柱	モルタル面：モルタル金こて VP(見付、側面共)
	天井	無孔 PBt=9.0目透かし張り EP（天井伏図参照）

	既存のままを示す
	飛散防止フィルム貼りを示す
	撤去範囲を示す
※1	下地調整RB種の上DP塗(枠共)　建具表参照

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号　内田 貴之

設計番号　年 月 日
設計

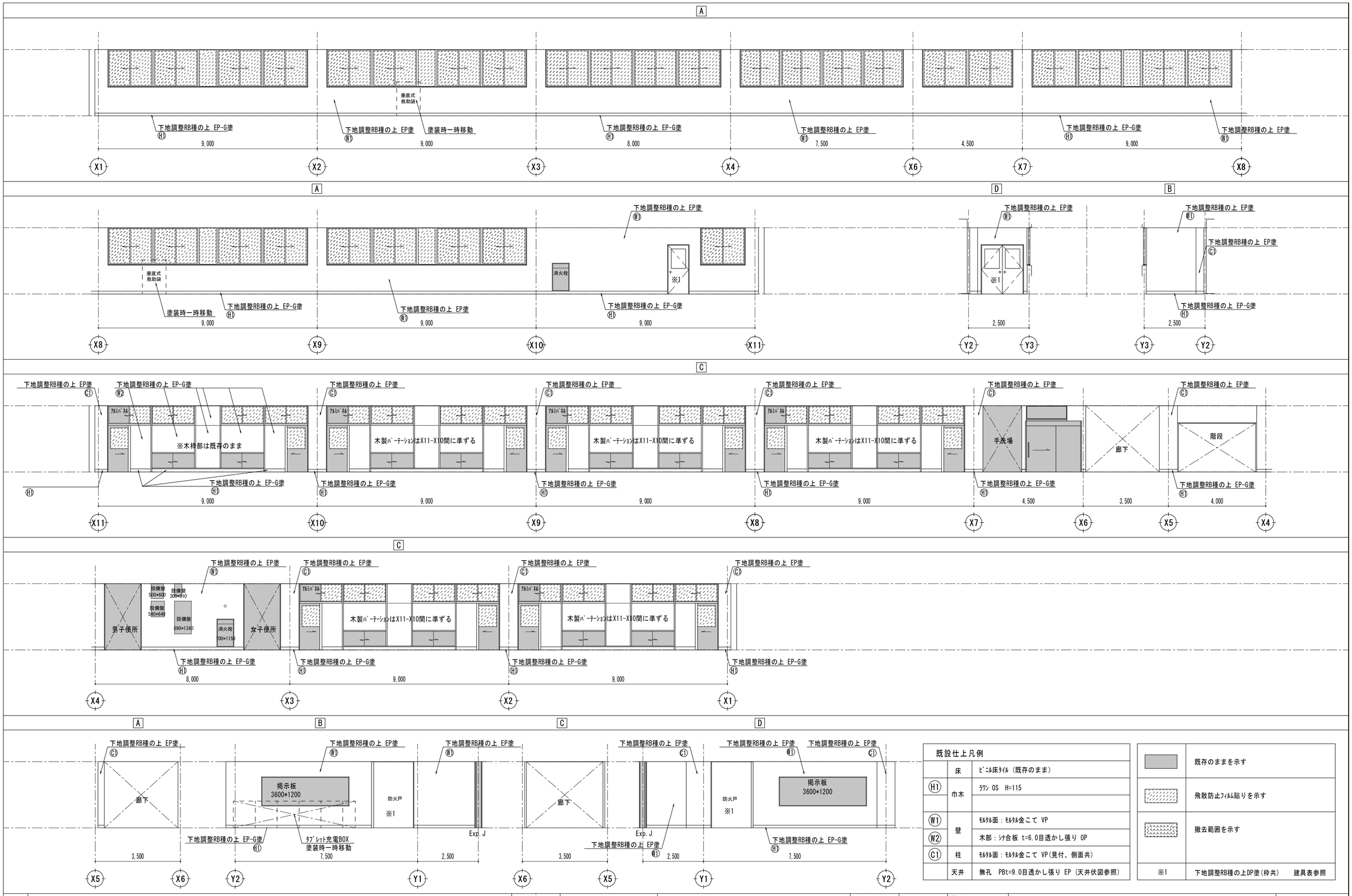
縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

３階廊下　展開図　改修前後

NO. A-34 **

原図：A2



既設仕上凡例

	床	ビニル床タイル（既存のまま）
H1	巾木	ラワン OS H=115
W1	壁	モルタル面：モルタル金こて VP
W2		木部：シナ合板 t=6.0目透かし張り OP
C1	柱	モルタル面：モルタル金こて VP(見付、側面共)
	天井	無孔 PBt=9.0目透かし張り EP（天井伏図参照）

	既存のままを示す
	飛散防止フィルム貼りを示す
	撤去範囲を示す
※1	下地調整RB種の上DP塗(枠共)　建具表参照

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号　内田 貴之

設計番号　年 月 日
設計

縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

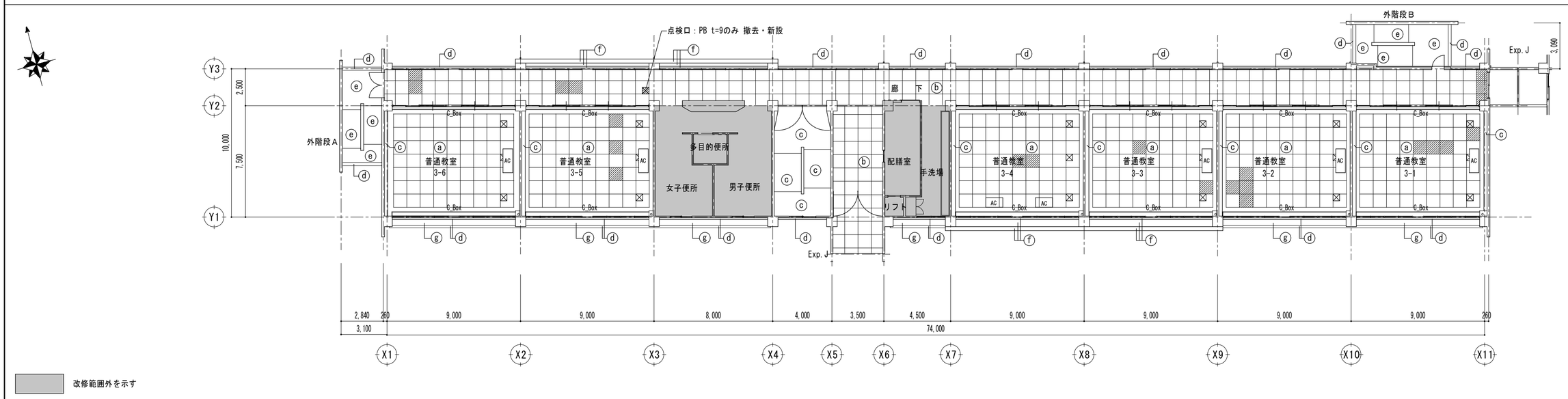
津市立橋北中学校長寿命化改修工事

4階廊下 展開図　改修前後

NO. A-35 **

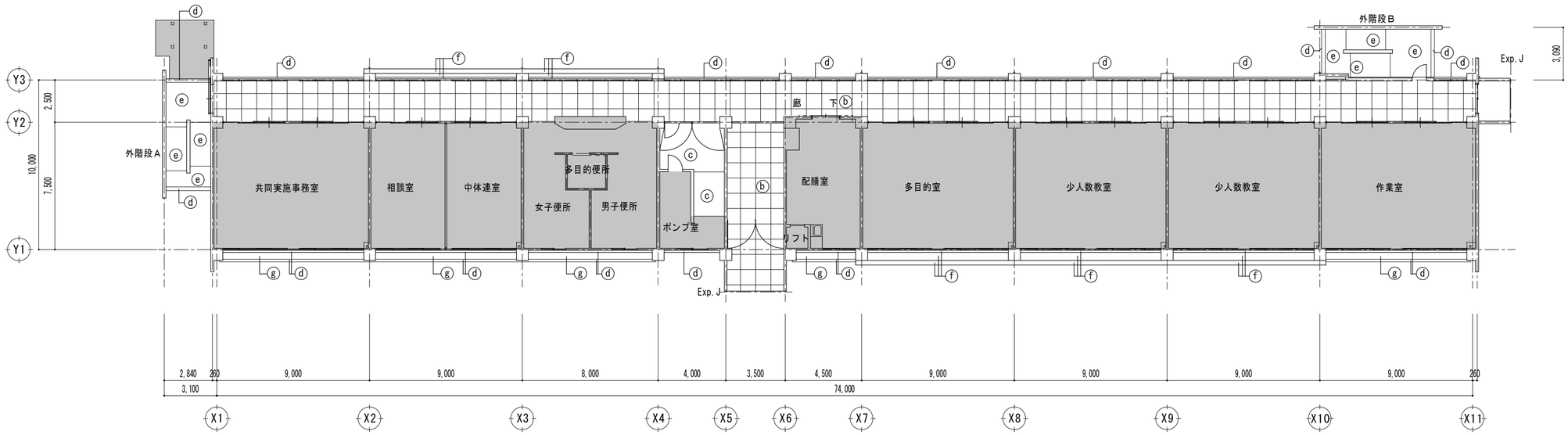
原図：A2

2階天井伏図　1/200



改修範囲外を示す

1階天井伏図　1/200

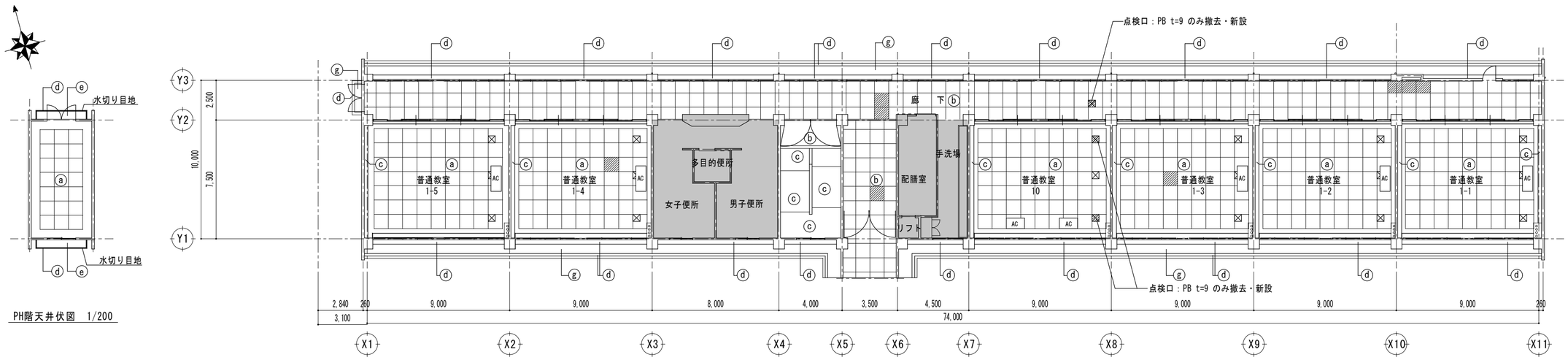


記号	改修前	改修後
ⓐ	有孔、無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗	下地調整RC種の上 EP塗
ⓑ	無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗　（既設のまま） 一部劣化部分撤去	無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗　（既設のまま） 一部劣化箇所 PBt＝9.5 EP塗(新設)
ⓒ	モルタル金こて VP塗	下地調整RB種の上 EP塗
ⓓ	モルタル刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、複層仕上塗材E
ⓔ	階段・庇上裏：モルタル刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、外装薄塗材E
ⓕ	防水型複層塗材E(耐震補強部分)	水洗い
ⓖ	庇上裏：合板型枠打放の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、外装薄塗材E
☒	天井点検口450角 （既設のまま）	
▨	天井PB劣化損傷部分を示す（撤去）	天井PB t=9.5 EP塗（新設）

改修範囲外を示す

特記		月	日							
				U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/200 A3　1/282.8	1，2階天井伏図 改修前後	A-36 **
				登録番号（1）第２１１８号	内 田　貴 之					原図：A2

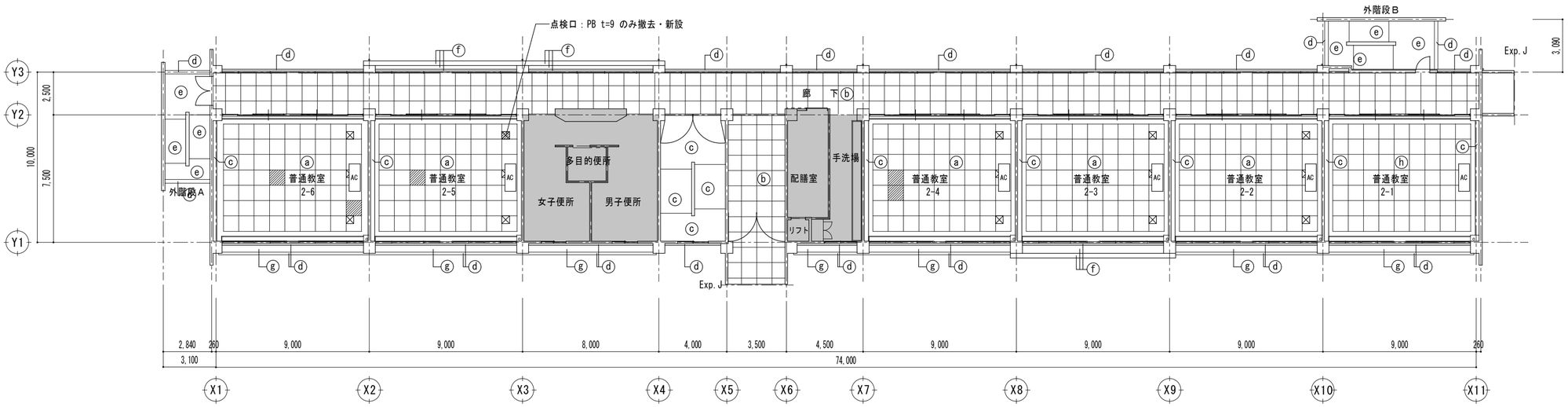
4階・PH階天井伏図　1/200



PH階天井伏図　1/200

改修範囲外を示す

3階天井伏図　1/200

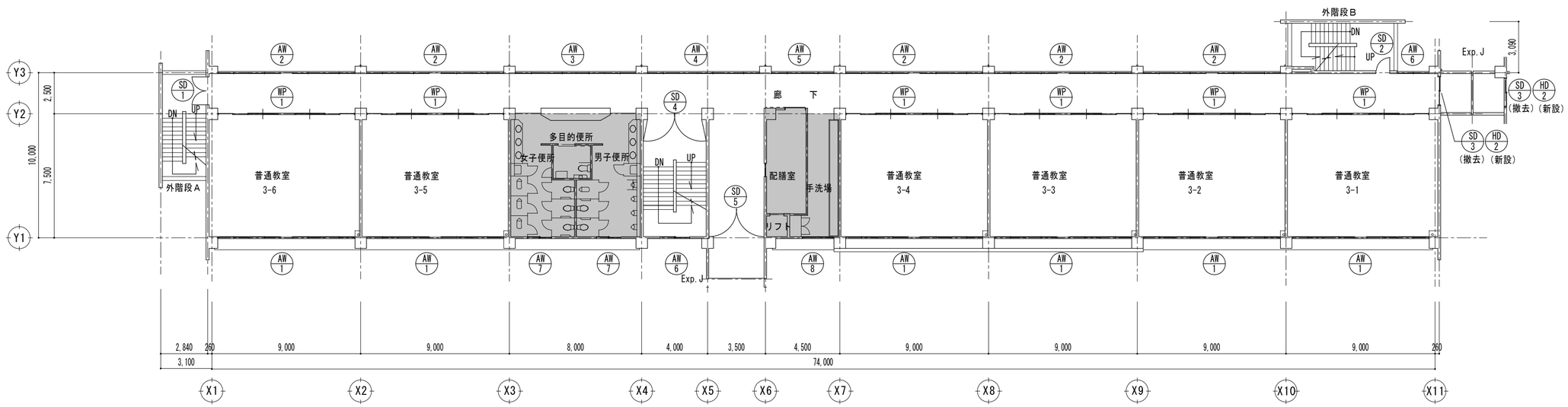


記号	改修前	改修後
ⓐ	有孔、無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗	下地調整RC種の上 EP塗
ⓑ	無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗　（既設のまま） 一部劣化部分撤去	無孔　石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗　（既設のまま） 一部劣化箇所 PBt＝9.5 EP塗(新設)
ⓒ	モルタル金こて VP塗	下地調整RB種の上 EP塗
ⓓ	モルタル刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、複層仕上塗材E
ⓔ	階段・庇上裏：モルタル刷毛引きｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、外装薄塗材E
ⓕ	防水型複層塗材E(耐震補強部分)	水洗い
ⓖ	庇上裏：合板型枠打放の上ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上、外装薄塗材E
ⓗ	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5　改修済　（既設のまま）	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(既設のまま)
☒	天井点検口450角（既設のまま）	
▨	天井PB劣化損傷部分を示す　（撤去）	天井PB t=9.5 EP塗（新設）

改修範囲外を示す

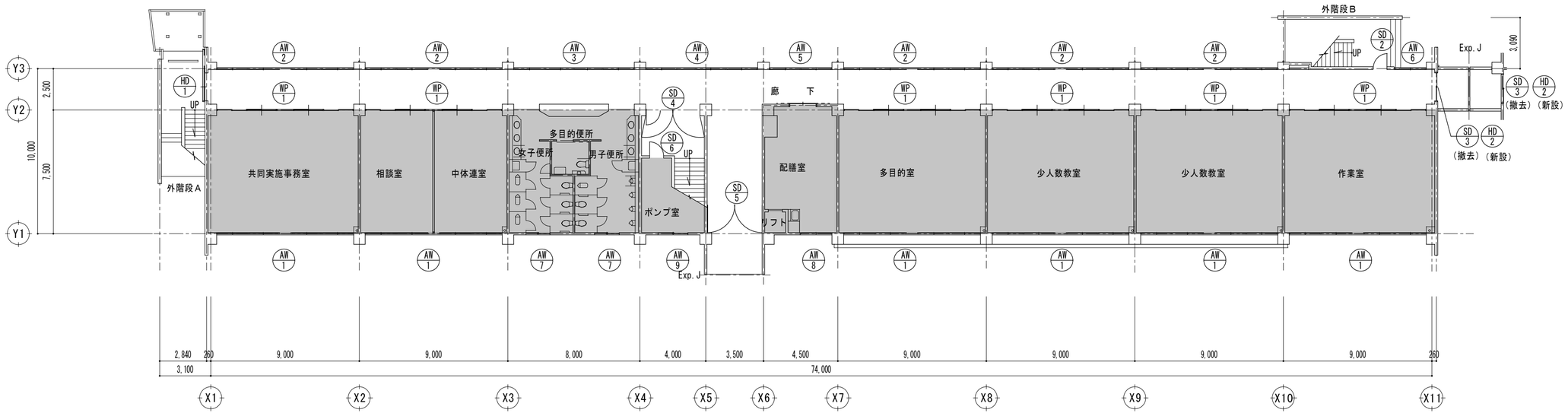
特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/200 A3　1/282.8	３，４階天井伏図　改修前後	A-37 **
					登録番号（１）第２１１８号	内 田　貴 之					原図：A2

2階建具伏図　1/200



改修範囲外を示す

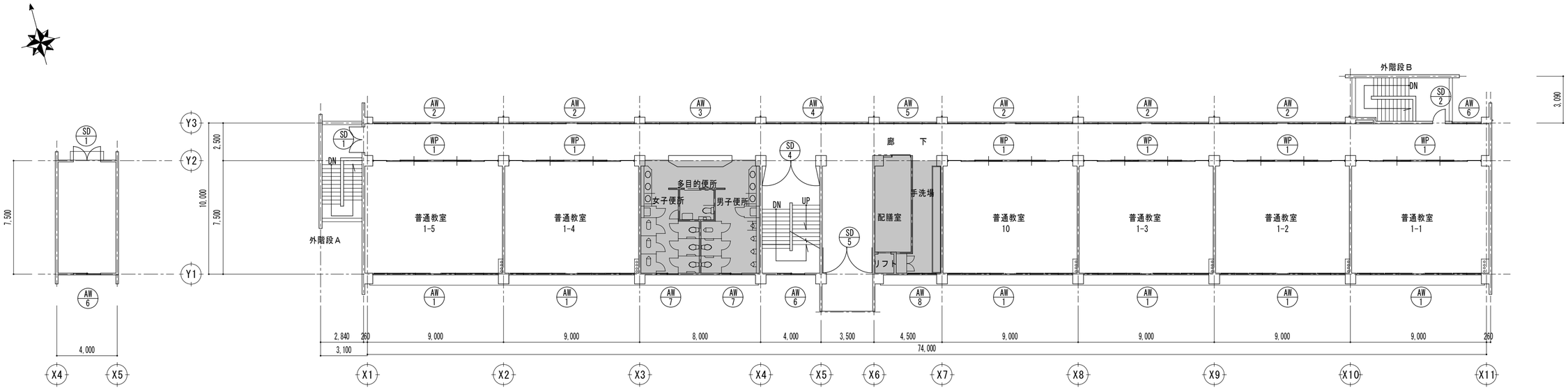
1階建具伏図　1/200



改修範囲外を示す

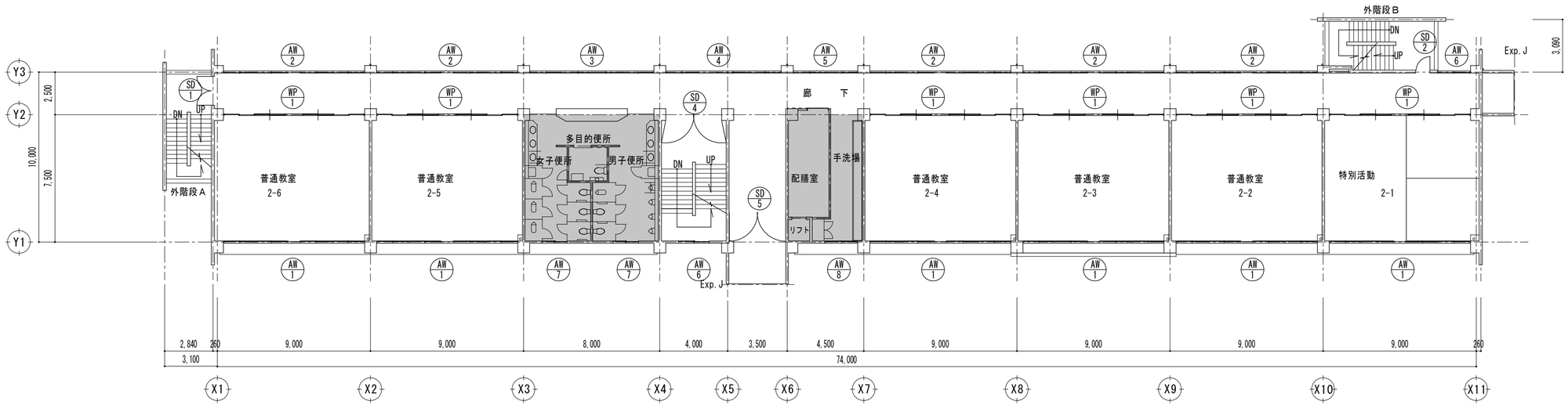
特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計	A2　1/200 A3　1/282.8	1，2階建具伏図	A-38 **
			登録番号（1）第２１１８号	内 田　貴 之				原図：A2

4階,PH階 建具伏図 1/200



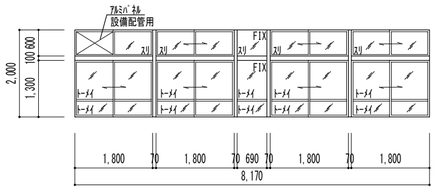
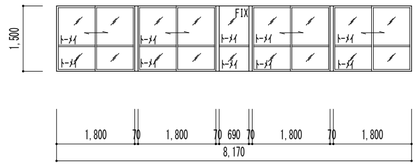
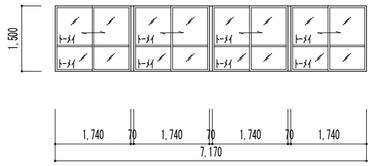
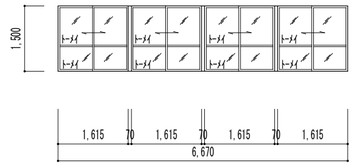
改修範囲外を示す

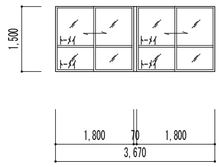
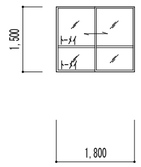
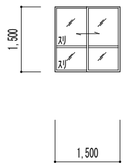
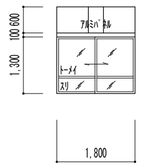
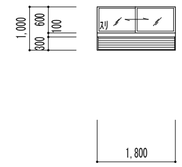
3階建具伏図 1/200

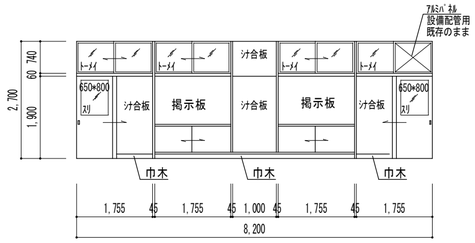
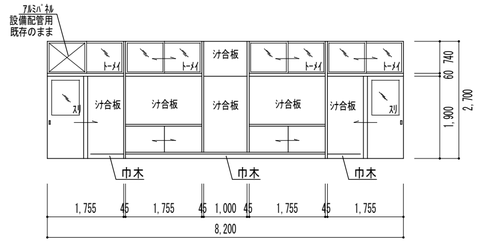


改修範囲外を示す

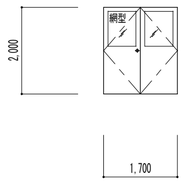
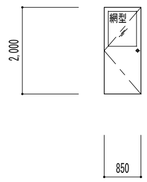
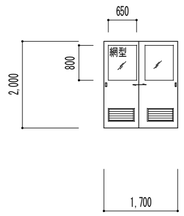
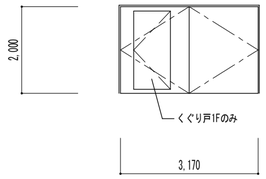
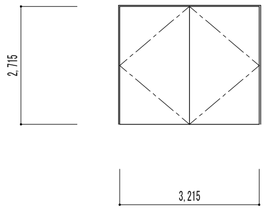
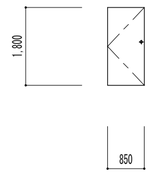
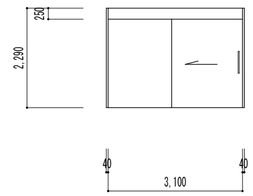
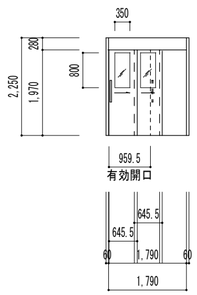
特記		月 日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	3,4階建具伏図	A-39 **
			登録番号（1）第２１１８号 / 内田 貴之					原図:A2

記号・数量	AW 1 連窓引き違いｱﾙﾐｻｯｼ(FIX付) 24	AW 2 連窓引き違いｱﾙﾐｻｯｼ(FIX付) 20	AW 3 連窓引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 4	AW 4 連窓引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 4
姿　図				
室　名	1_4階　教室	1_4階　廊下	1_4階　廊下	1_4階　廊下
改修内容	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2

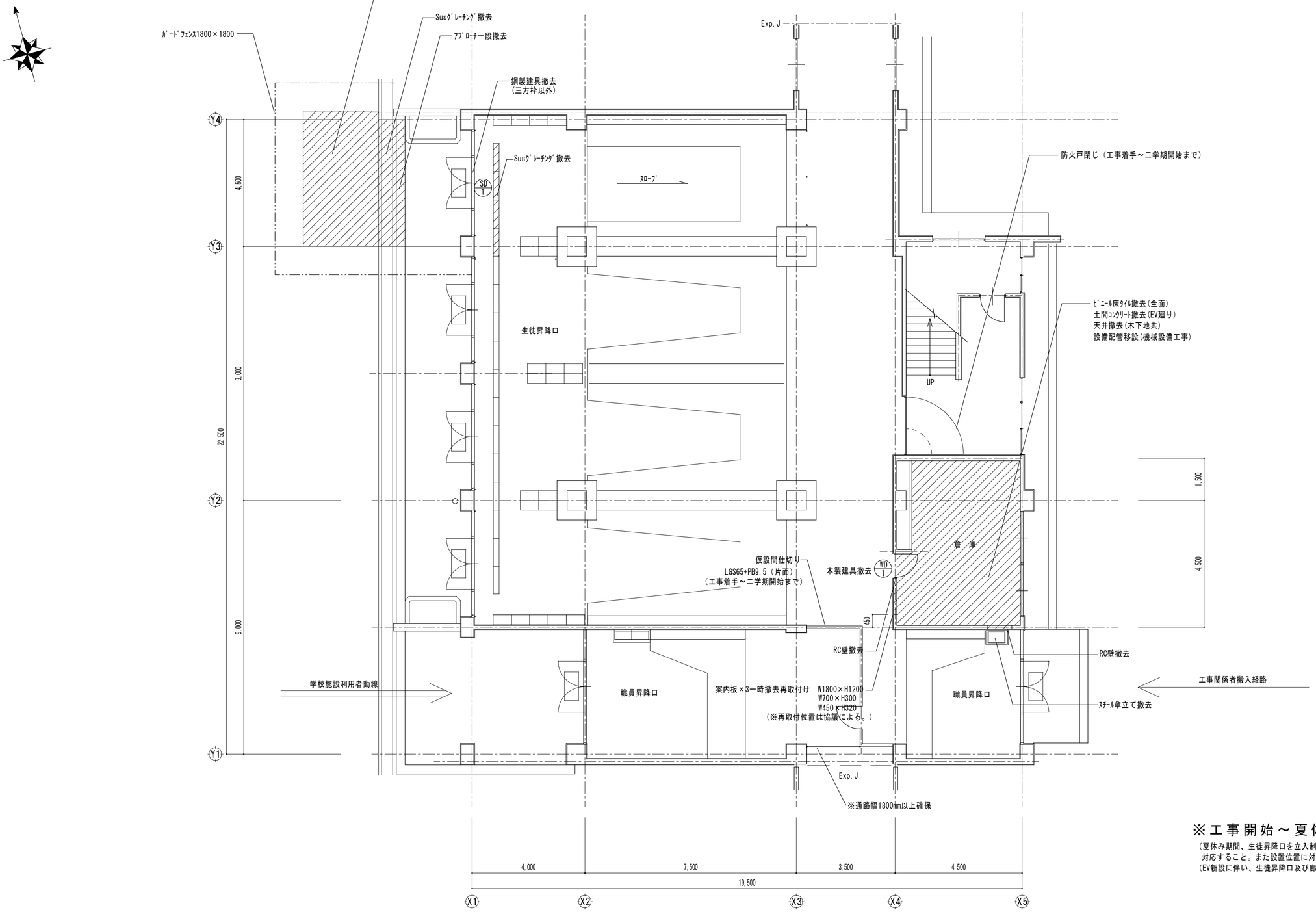
記号・数量	AW 5 連窓引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 4	AW 6 引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 4	AW 7 引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 8	AW 8 引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 4	AW 9 引き違いｱﾙﾐｻｯｼ 1
姿　図					
室　名	1_4階　廊下	屋内階段 2_4階・PH階	1_4階　便所	1階　配膳室・2_4階　手洗場	1階　屋内階段下ポンプ室
改修内容	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2
記号・数量					
姿　図					
室　名					
改修内容					

記号・数量	WP 1 木製教室ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	教室側	廊下側	24
姿　図				
室　名	1_4階 教室			
改修内容	ガラス面に飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り 掲示板：既存ﾅｲﾛﾝﾗｼｬ撤去、下地調整の上掲示ｸﾛｽ貼り　　ｼﾅ合板：下地調整RB種の上EP-G塗　　巾木：下地調整RB種の上EP-G塗			

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	建具表(1)　改修前後	A-40 **
					登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

記号・数量	SD 1 鋼製両開きフラッシュ戸	4	SD 2 鋼製片開きフラッシュ戸	4	SD 3 HD2に改修 鋼製引き違いフラッシュ戸	4	
姿　図							
室　名	外階段 A・屋内階段PH階		外階段 B		東1,2階渡り廊下		
改修内容	下地調整RB種の上DP塗（枠共）　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2		下地調整RB種の上DP塗（枠共）　枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞMS-2		扉撤去(建具工事)		
記号・数量	SD 4 鋼製両開きﾌﾗｯｼｭ戸	4	SD 5 鋼製両開きﾌﾗｯｼｭ戸	4	SD 6 鋼製片開きﾌﾗｯｼｭ戸	1	HD 1 鋼製片引きﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ　1
姿　図							
室　名	1_4階　階段室　防火戸		1_4階　廊下　防火戸		1階　ポンプ室		1階A階段出入り口
改修内容	下地調整RB種の上DP塗 （片面、枠共）		下地調整RB種の上DP塗（片面、枠共）		下地調整RB種の上DP塗（枠共）		既設のまま
記号・数量	HD 2	4					
形状							
位置	東1,2階渡り廊下						
形式	2枚引き込みﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ(ｾﾐｵｰﾄﾀﾞﾌﾞﾙｽﾗｲﾄﾞﾄﾞｱ)　ｶﾊﾞｰ工法						
見込	160						
材質・仕上	アルマイト						
ガラス	学校用強化ｶﾞﾗｽ t=4.0						
金物	引き棒(Sus L=450)、上吊金物一式 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内外共)						
備考	自閉式（ｽﾄｯﾊﾟｰ付） 既設部分ｶﾊﾞｰ：三方枠ｱﾙﾐ、下枠：Sus t=2.0(建具工事)						

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	建具表(2)　改修前後	A-41 **
					登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2



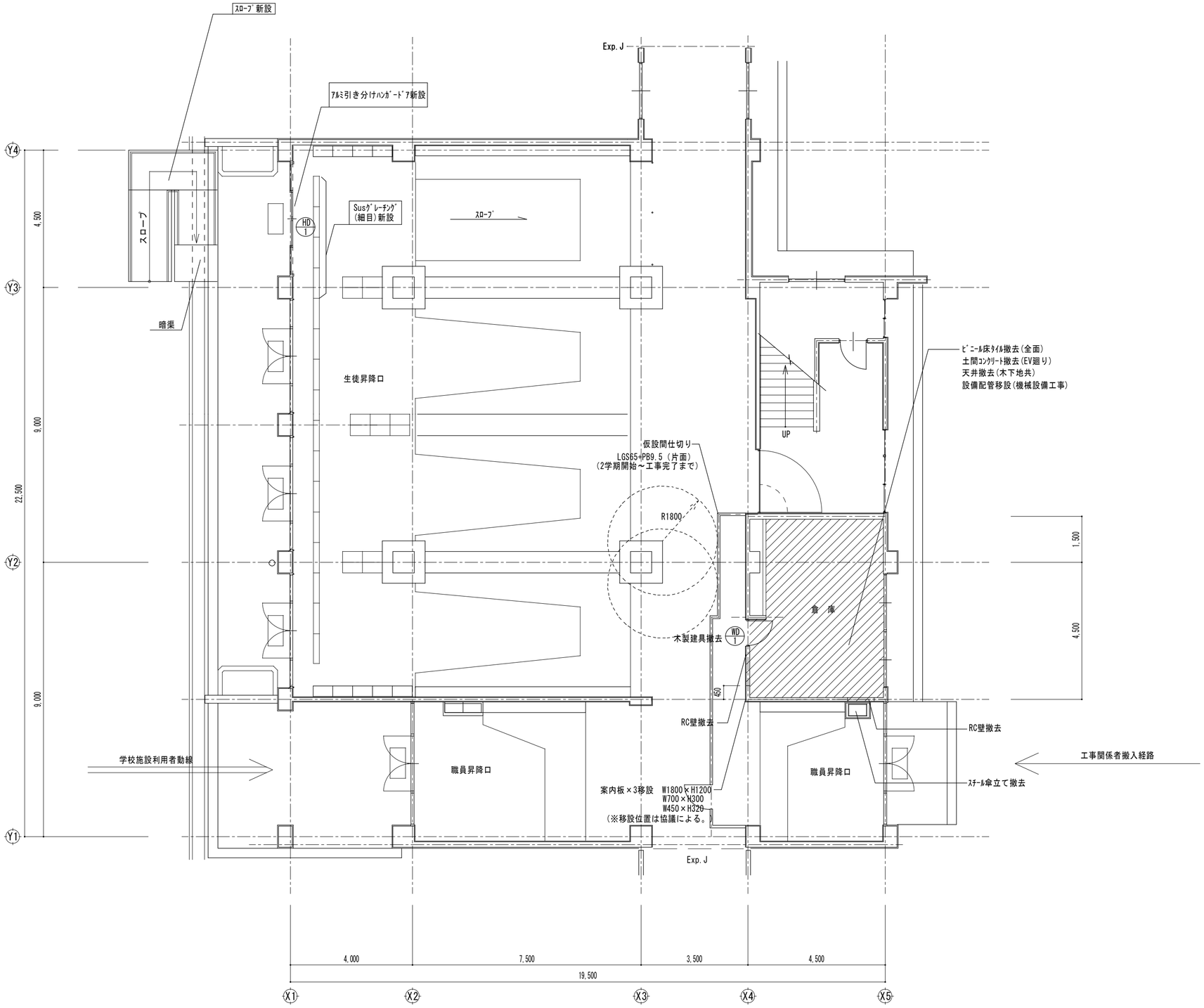
※工事開始～夏休み期間

（夏休み期間、生徒昇降口を立入制限する為、下足入れ（50足分）を一時的に設置し、対応すること。また設置位置に対しては、協議によるものとする。）
（EV新設に伴い、生徒昇降口及び廊下を杭打機が自走する際は床養生を行うこと。）

1階　平面図　1/100

改修範囲を示す

特記		月　日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO. A-42
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/100 A3　1/141.4	1階平面図兼仮設計画図（１） 改修前～夏休み期間	**
			登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2

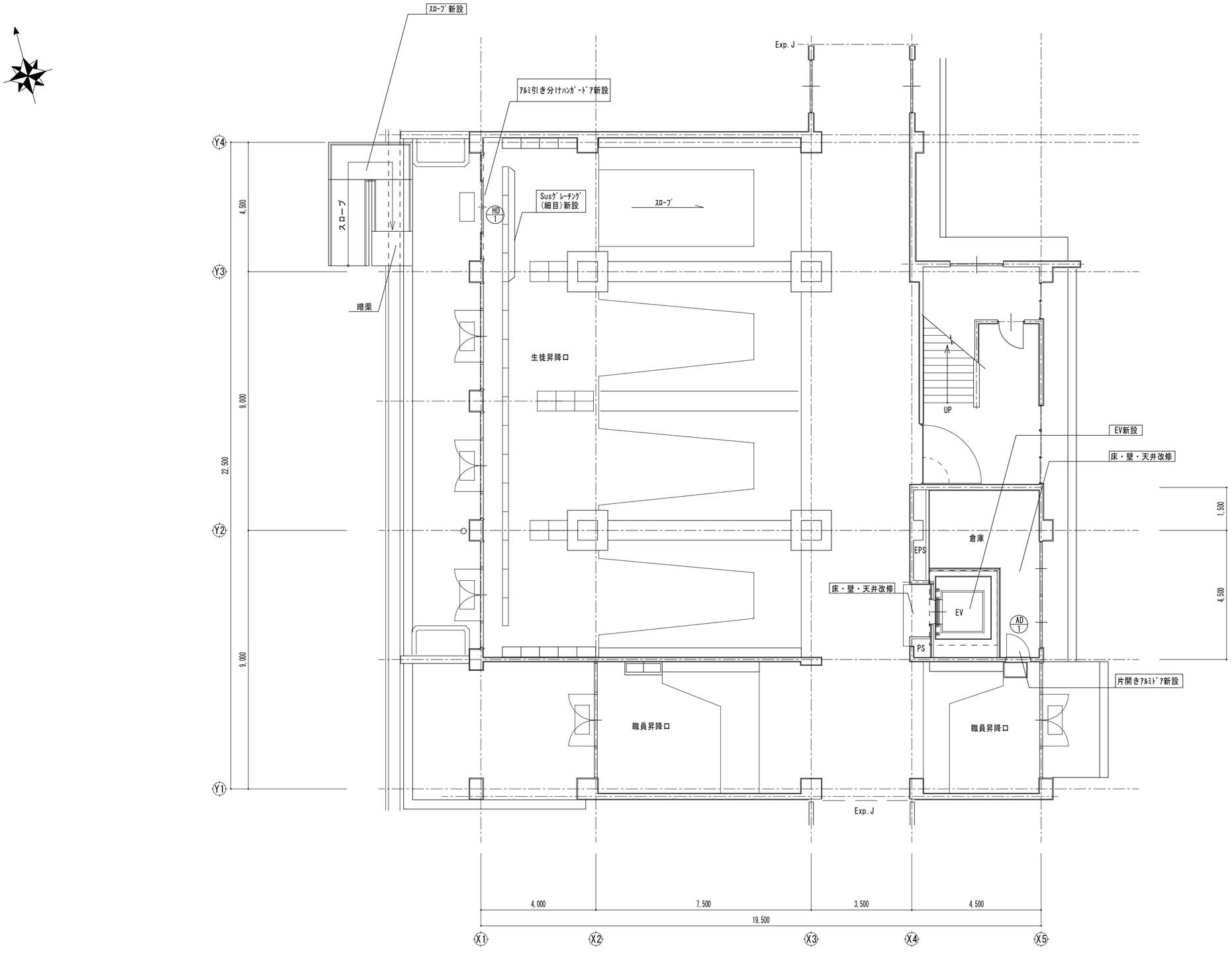


※二学期開始～工事完了

改修範囲を示す

1階 平面図 1/100

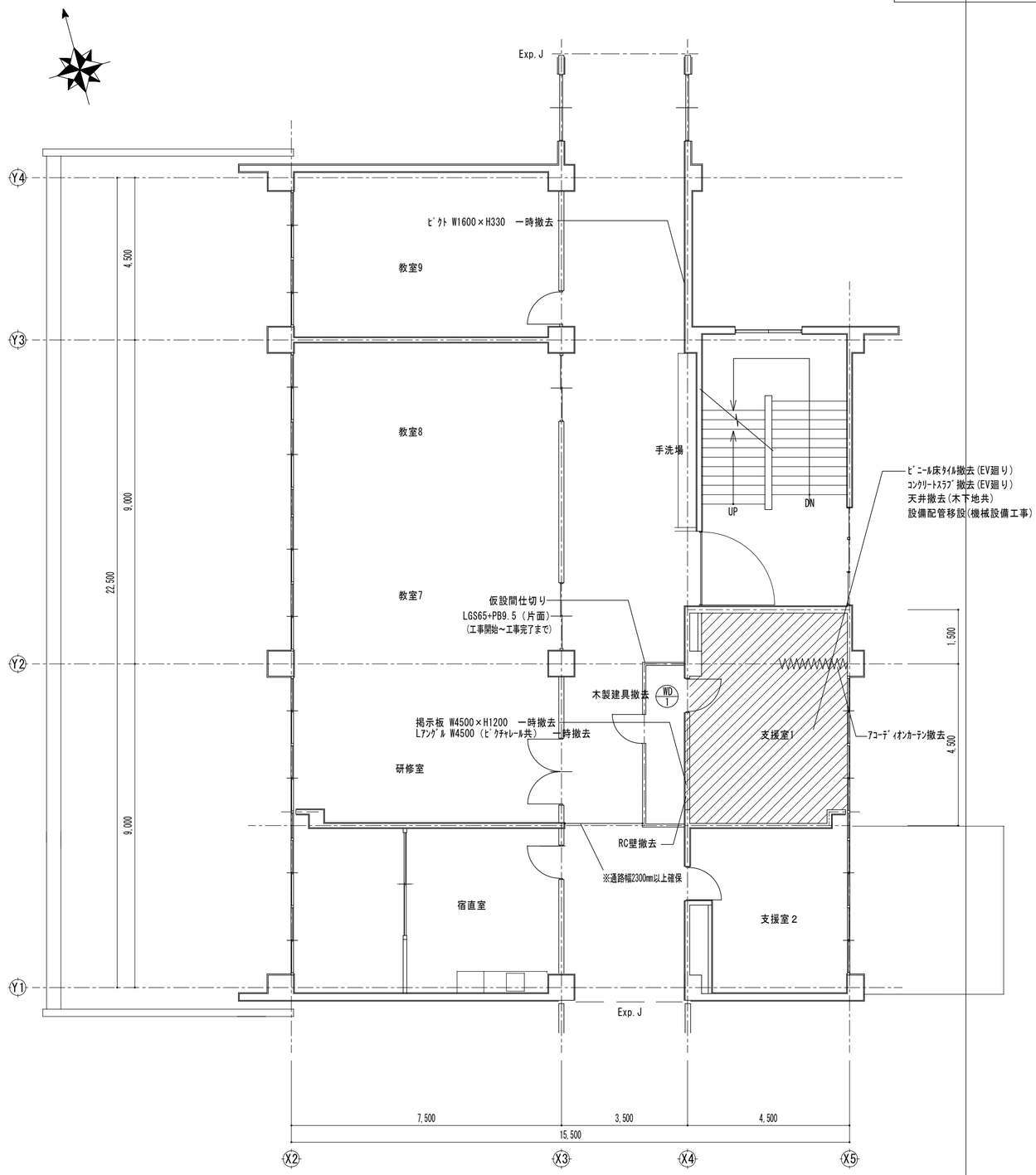
特記		月 日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	1階平面図兼仮設計画図（２） 二学期以降	A-43 **
			登録番号（1）第２１１８号 / 内田 貴之					原図:A2

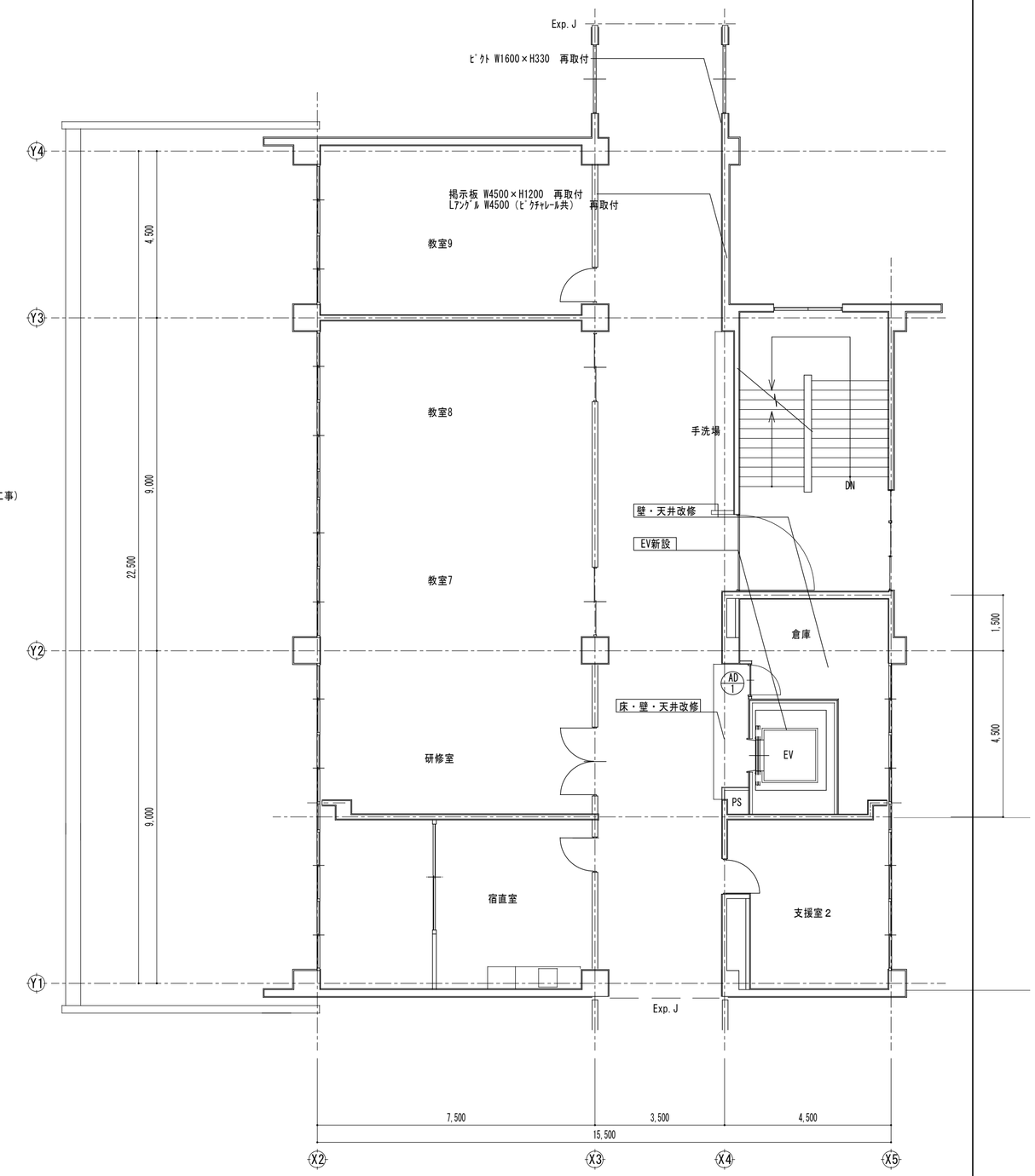


1階　平面図　　1/100

特記		月　日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計	A2　1/100 A3　1/141.4	1階平面図　改修後	A-44 **
				登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之				原図：A2

改修前　改修後





改修範囲を示す

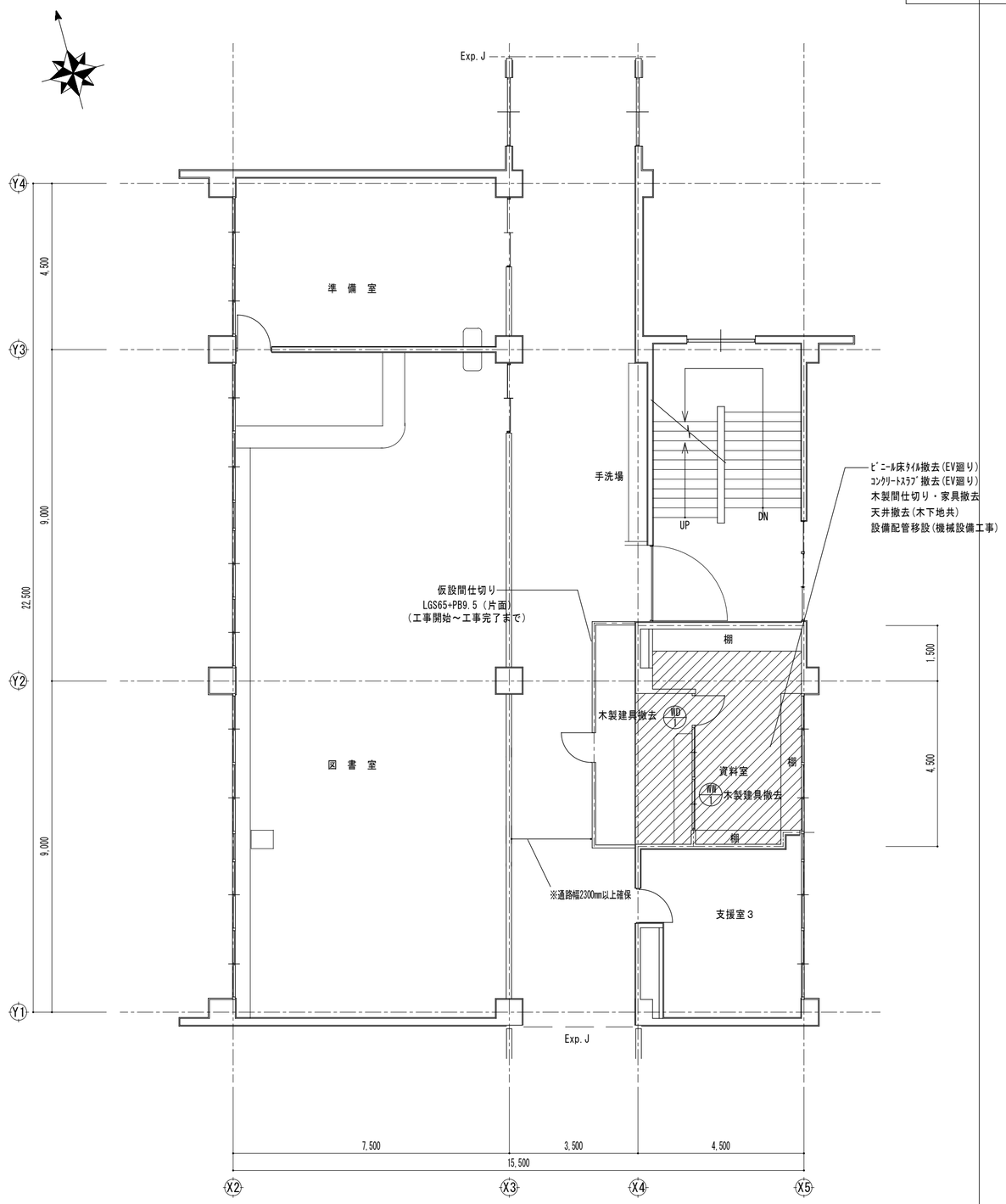
2階　平面図　1/100

2階　平面図　1/100

※掲示板等再取付けの詳細位置は協議による。

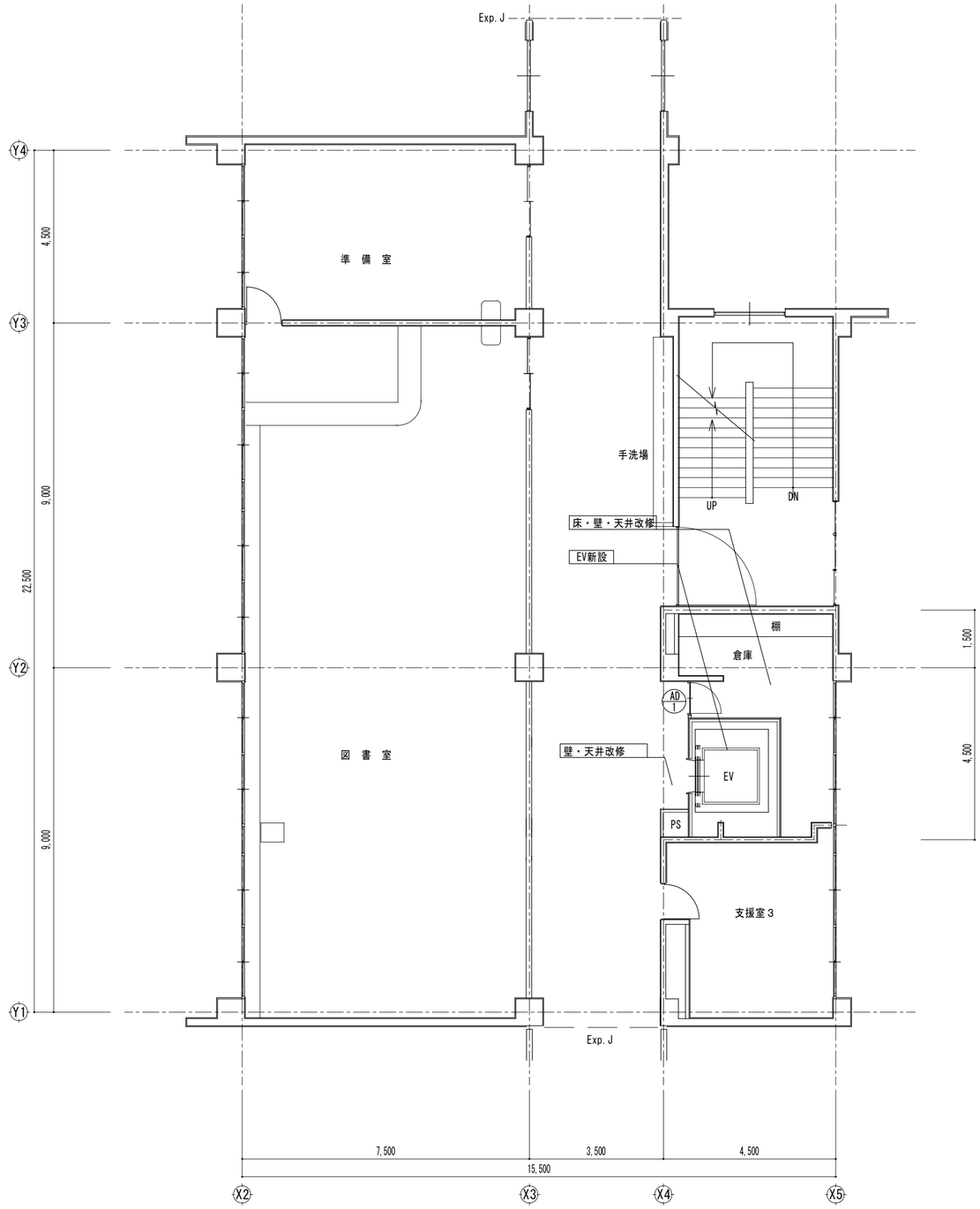
特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/100 A3　1/141.4	2階　平面図兼仮設計画図　改修前後	A-45 **
			登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2

改修前　改修後



3階　平面図　1/100

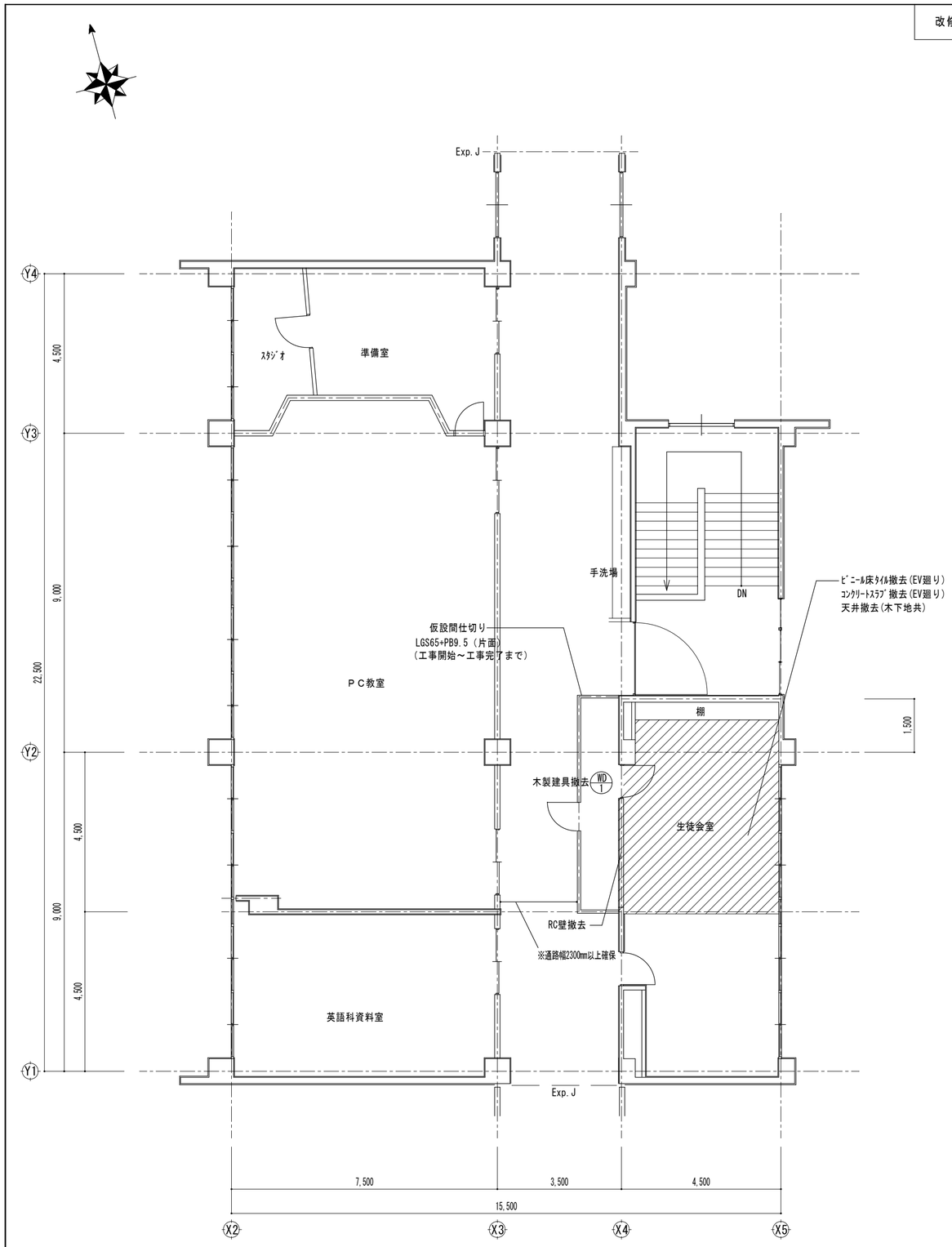
改修範囲を示す



3階　平面図　1/100

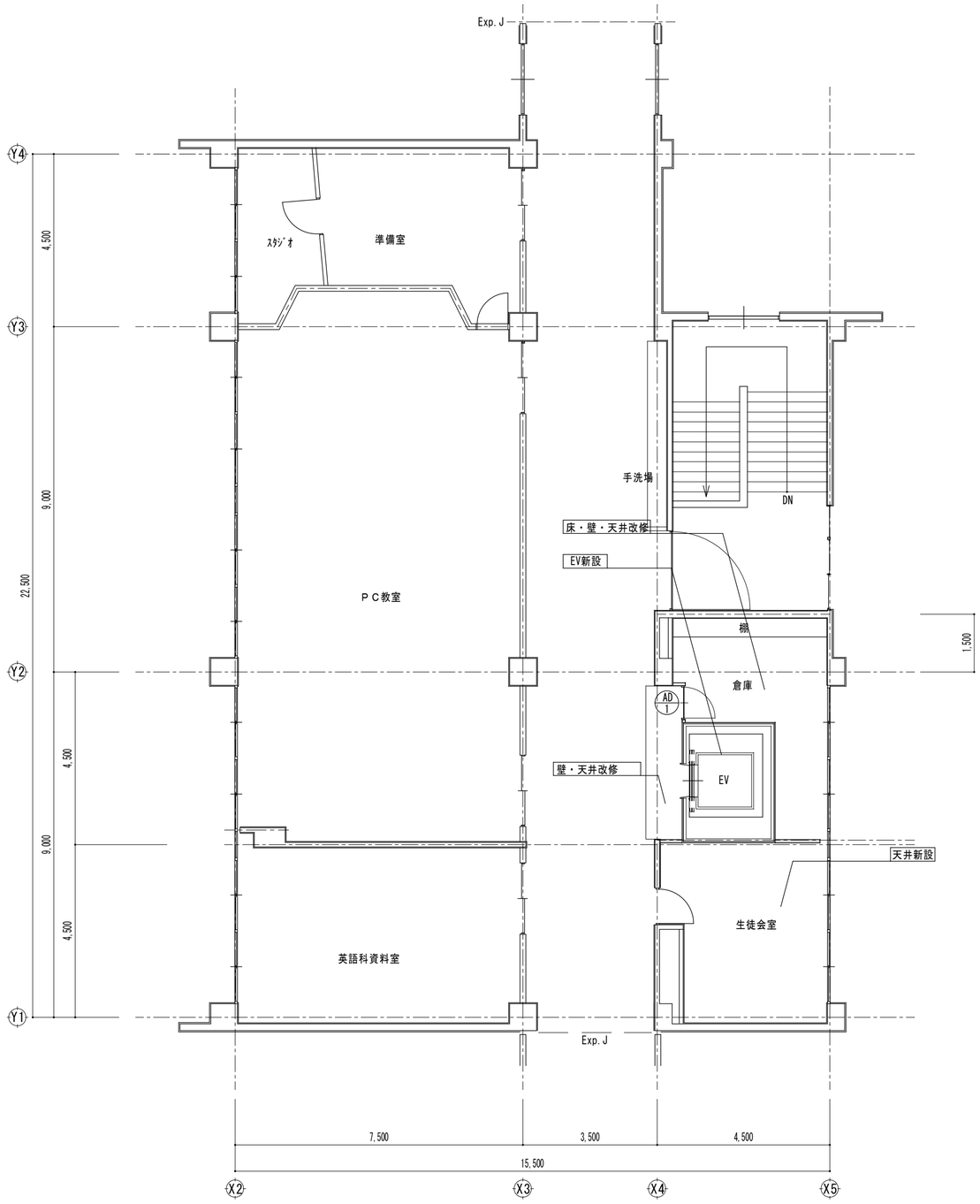
特記		月　日	U　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/100 A3　1/141.4	3階　平面図兼仮設計画図　改修前後	A-46 **
			登録番号（１）第２１１８号	内田　貴之					原図：A2

改修前　改修後



4階　平面図　1/100

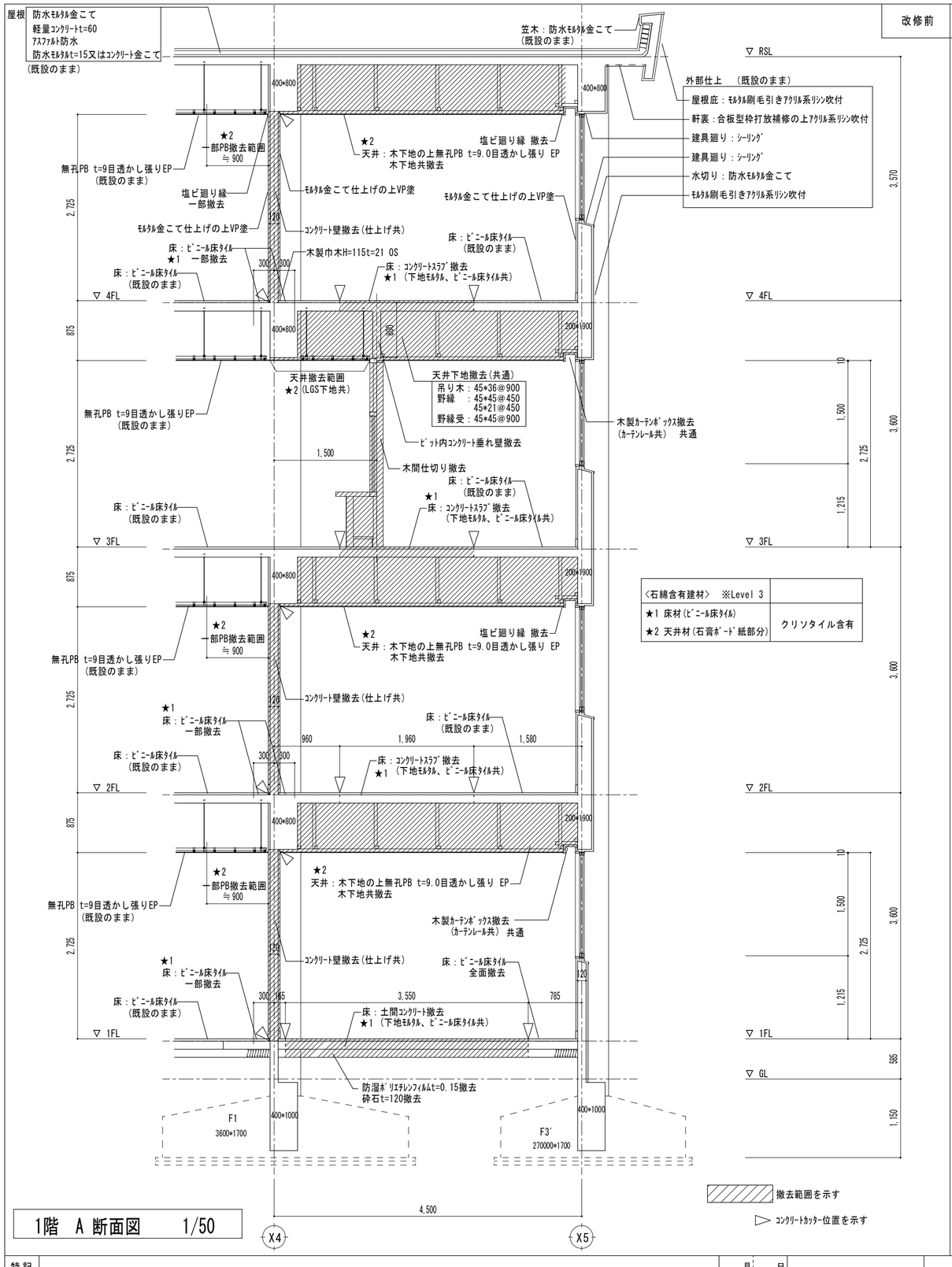
改修範囲を示す



4階　平面図　1/100

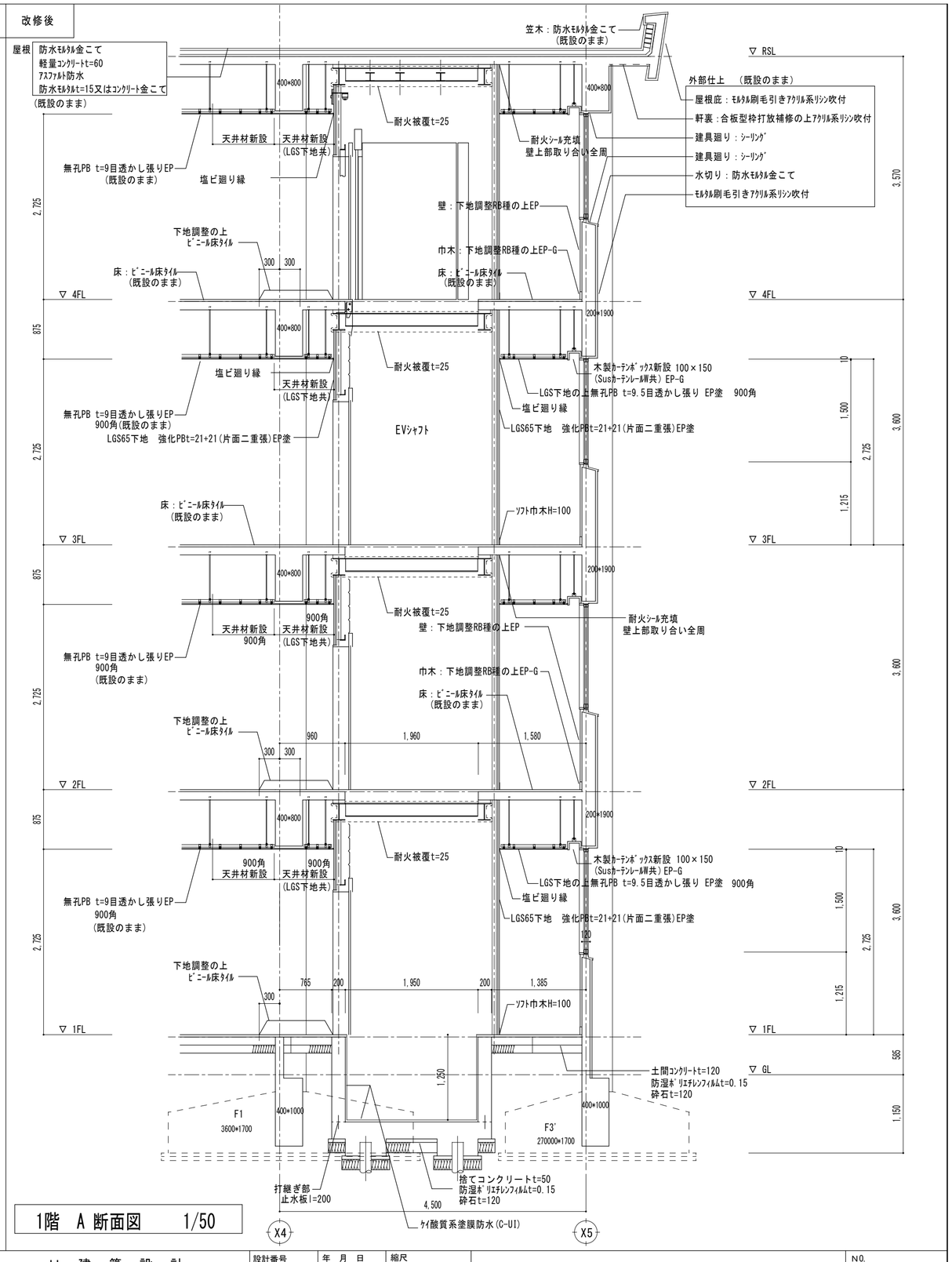
特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897 一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2　1/100 A3　1/141.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 4階平面図兼仮設計画図　改修前後	NO. A-47 ** 原図：A2
						設計				

改修前　改修後



〈石綿含有建材〉　※Level 3	
★1 床材(ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ)	クリソタイル含有
★2 天井材(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ紙部分)	

1階　A 断面図　1/50

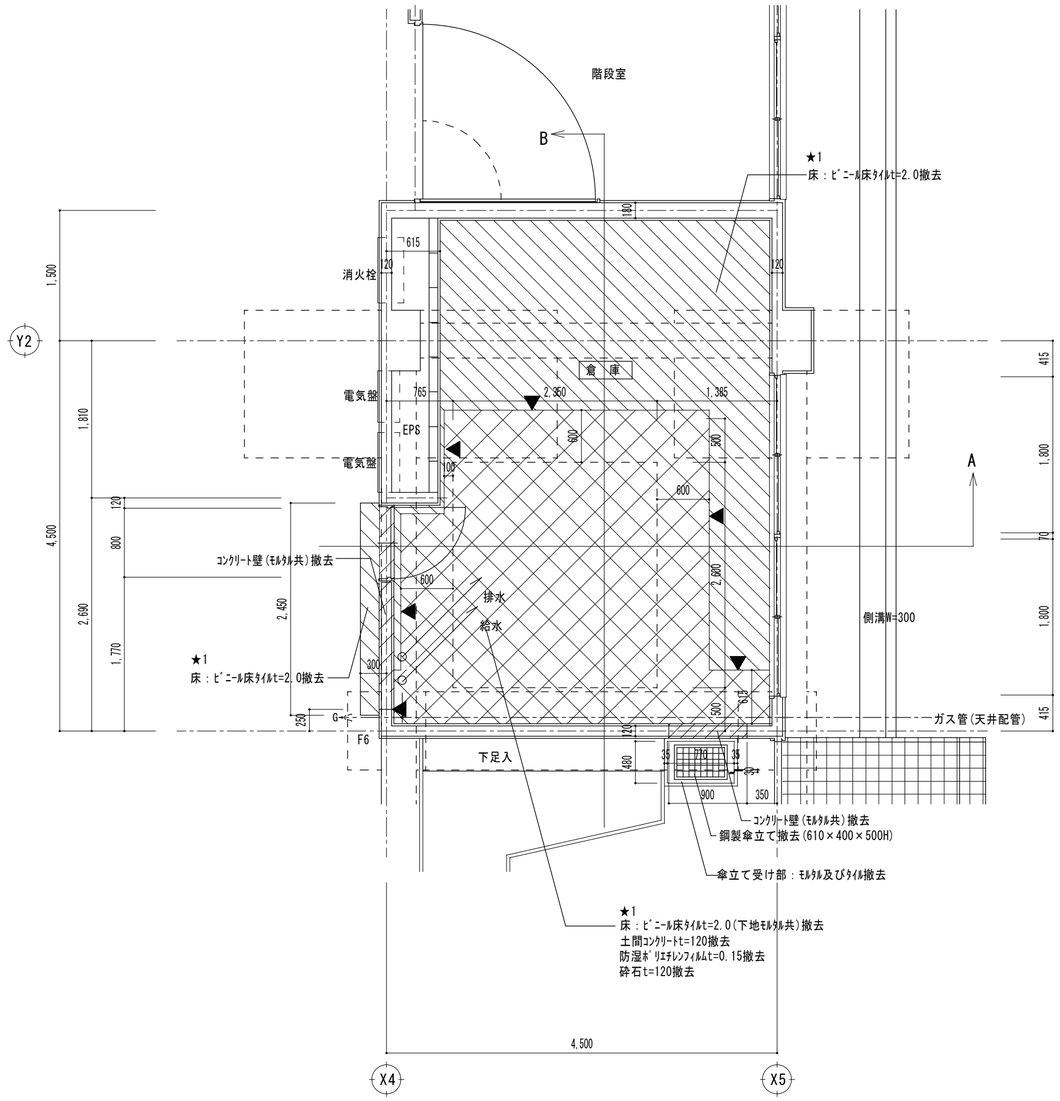


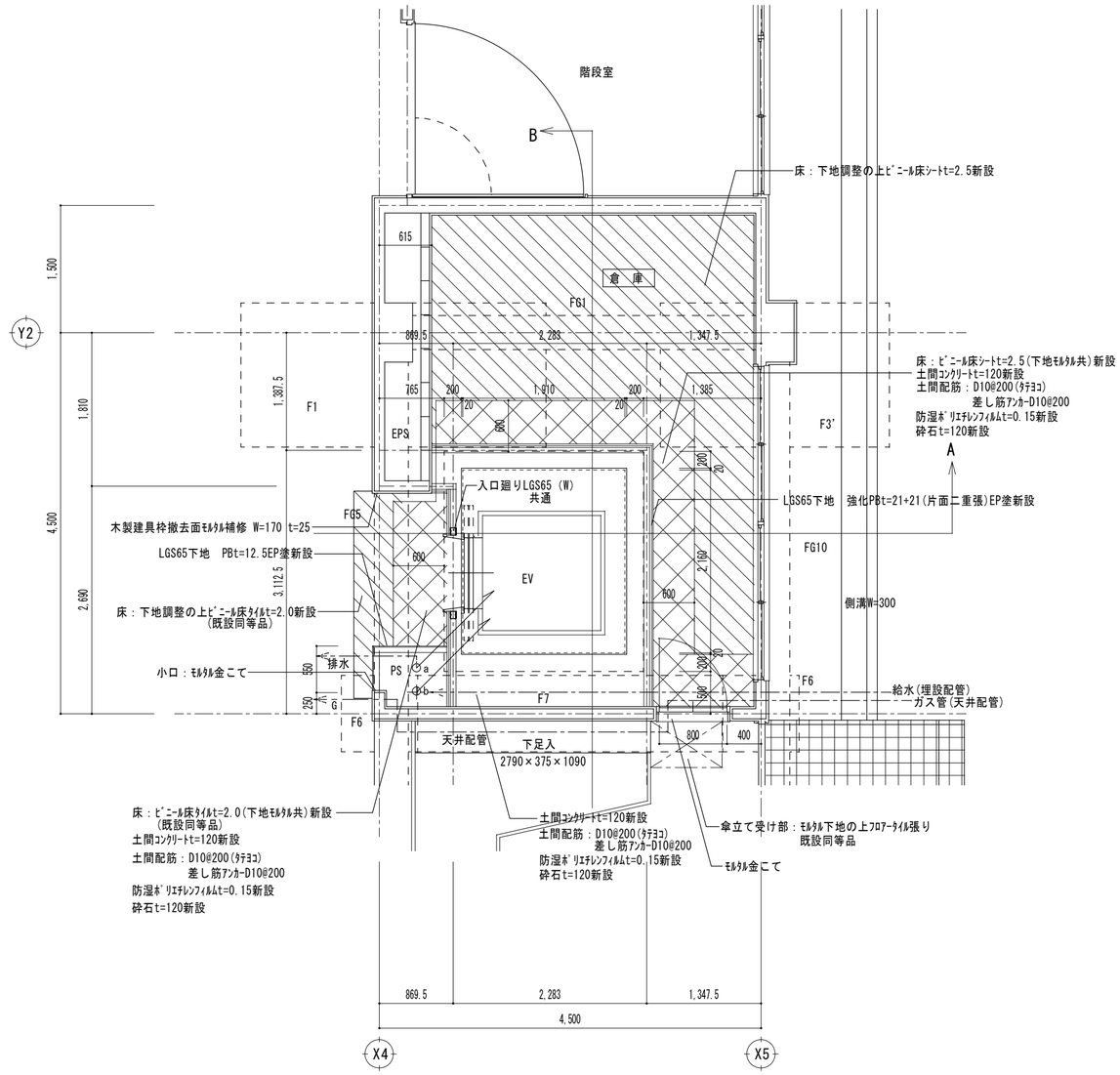
1階　A 断面図　1/50

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計			エレベーター廻り　断面詳細図　改修前後	A-48
					登録番号（1）第２１１８号 / 内田　貴之					**

原図：A2

改修前	改修後





〈石綿含有建材〉 ※Level 3	
★1 床材(ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ)	クリソタイル含有
★2 天井材(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ紙部分)	

1階 平面詳細図 1/50

▲ ｶｯﾀｰ入れを示す

土間ｺﾝ、仕上げ(ﾓﾙﾀﾙ下地共)撤去範囲を示す

床仕上げ撤去範囲を示す

ｺﾝｸﾘｰﾄ壁(ﾓﾙﾀﾙ共)、家具等撤去範囲を示す

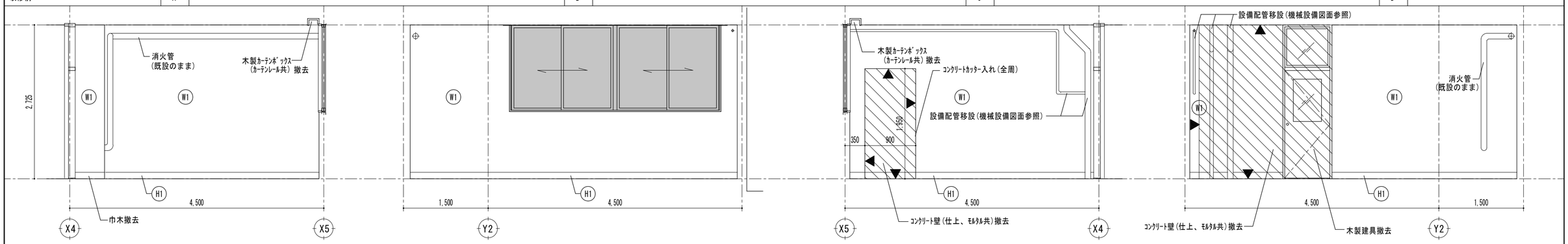
1階 平面詳細図 1/50

土間ｺﾝ、仕上げ(ﾓﾙﾀﾙ下地共)新設範囲を示す

床仕上げ新設範囲を示す

特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	1階倉庫 平面詳細図 改修前後	A-49 **
					登録番号（１）第２１１８号	内 田 貴 之					原図：A2

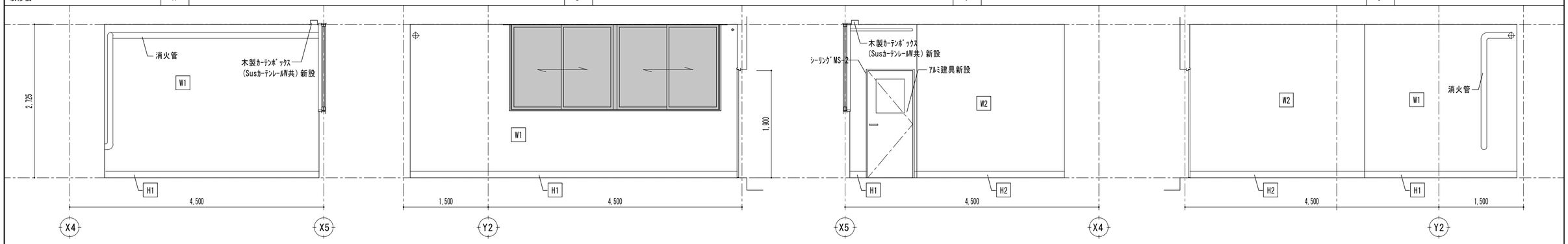
改修前



改修前　B　廊下側

記号	位置	既設仕上
H1	巾木	木製巾木t=21 H=115 OS
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP
		撤去範囲を示す
		既存のままを示す
▲		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れを示す

改修後

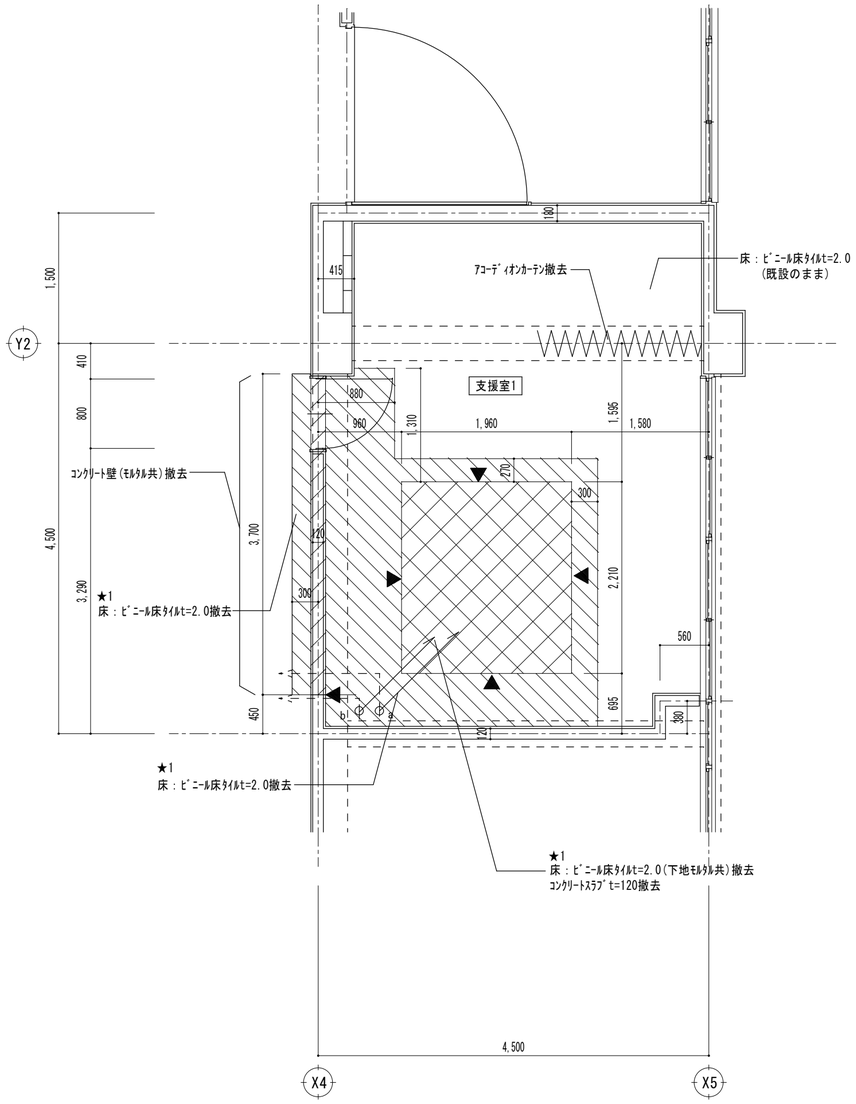


改修後　B　廊下側

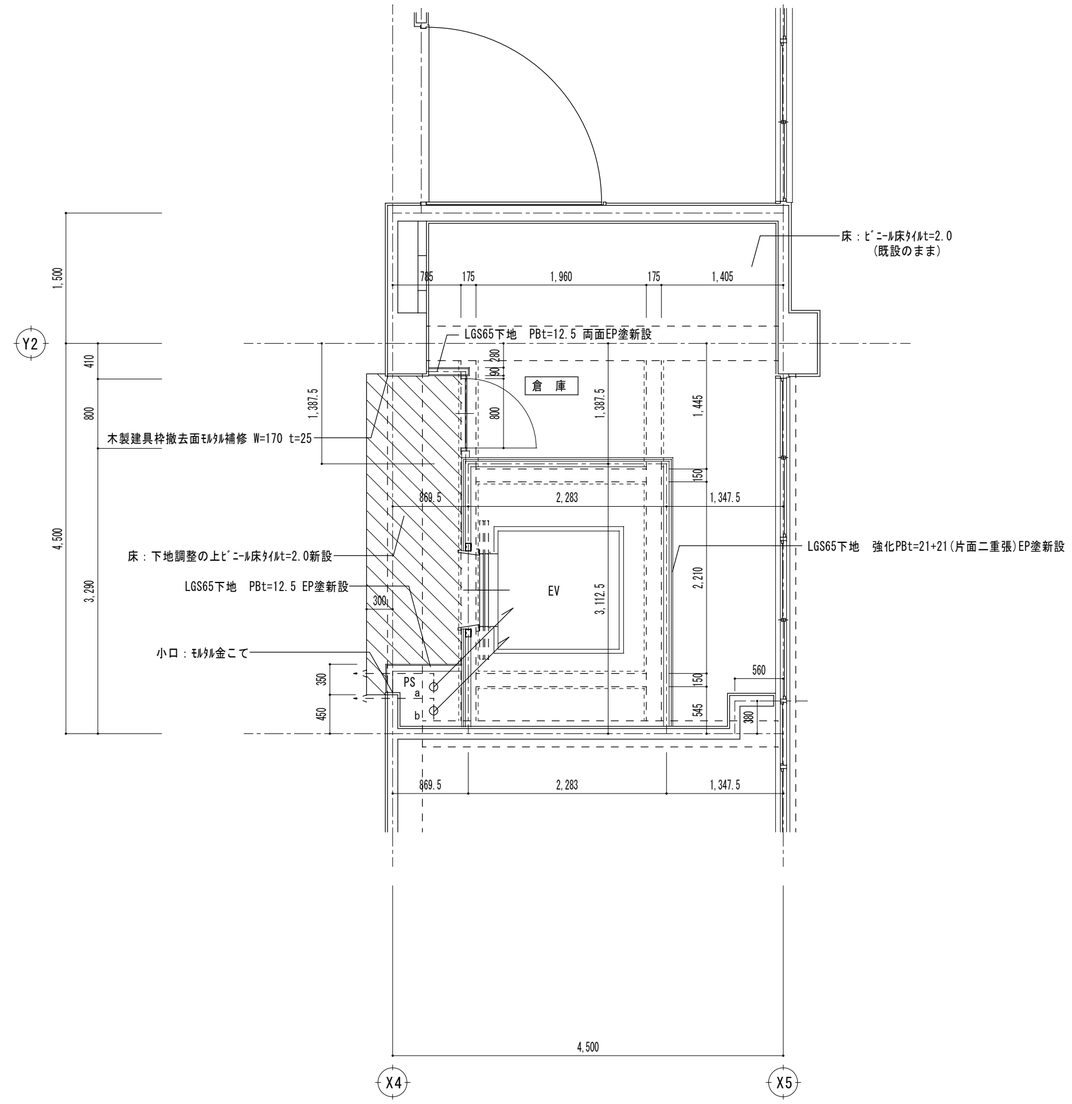
記号	位置	改修仕上
H1	巾木	下地調整RB種の上EP-G塗
H2		ｿﾌﾄ巾木 H=100 新設
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上EP塗
W2		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 強化PBt=21+21(片面二重張)
W3		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 PBt=12.5
		既存のままを示す

特記	月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	1階倉庫　展開図　改修前後	A-50 **
				登録番号（１）第２１１８号 / 内田　貴之					原図：A2

改修前　改修後



2階　平面詳細図　1/50



2階　平面詳細図　1/50

▲カッター入れを示す（錆止め塗り共）

土間コン、仕上げ(モルタル下地共)撤去範囲を示す

床仕上げ撤去範囲を示す

コンクリート壁(モルタル共)、家具等撤去範囲を示す

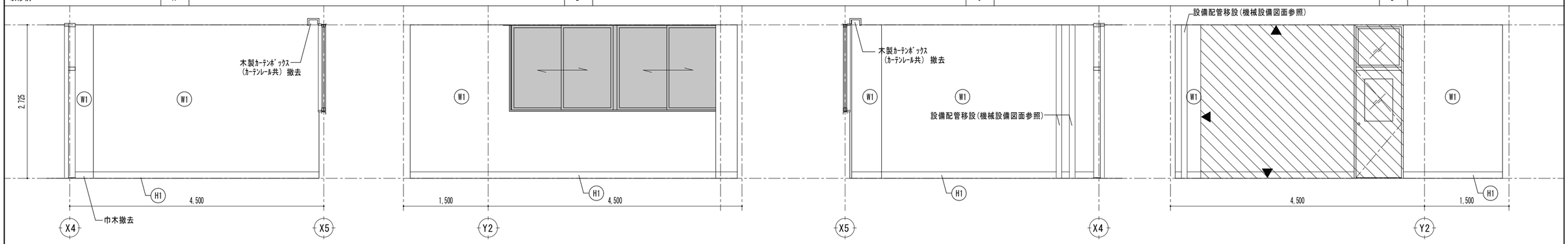
床仕上げ新設範囲を示す

A
D 展開方向 B
C

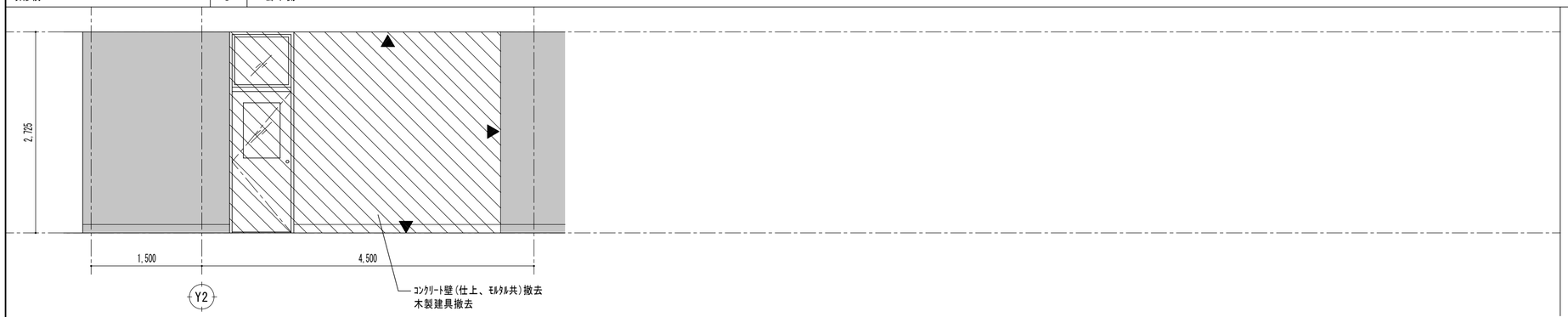
〈石綿含有建材〉　※Level 3	
★1 床材(ビニール床タイル) ★2 天井材(石膏ボード紙部分)	クリソタイル含有

特記	月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	2階支援室(1)　平面詳細図　改修前後	A-51 **
				登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

改修前

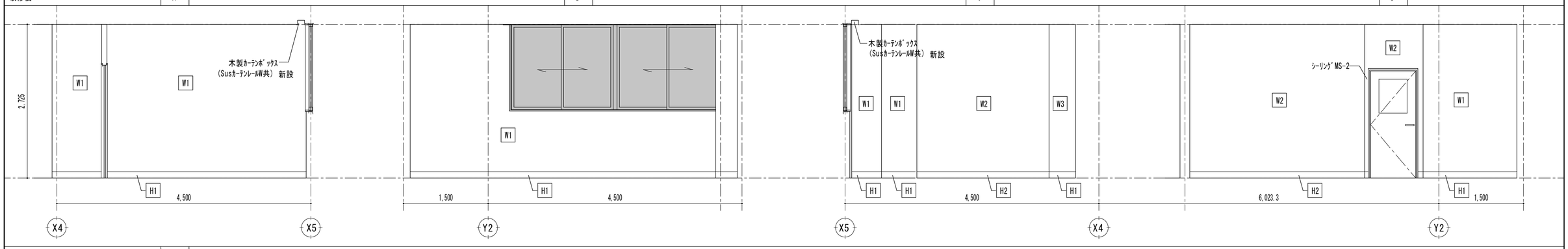


改修前　B　廊下側



記号	位置	既設仕上
H1	巾木	木製巾木t=21 H=115 OS
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ金こて　VP
		撤去範囲を示す
		既存のままを示す
▲		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れを示す

改修後



改修後　B　廊下側

記号	位置	改修仕上
H1	巾木	下地調整RB種の上EP-G塗
H2		ｿﾌﾄ巾木 H=100 新設
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上EP塗
W2		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 強化PBt=21+21（片面二重張）
W3		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 PBt=12.5
		既存のままを示す

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之

設計番号　年 月 日
設計

縮尺
A2　1/50
A3　1/70.7

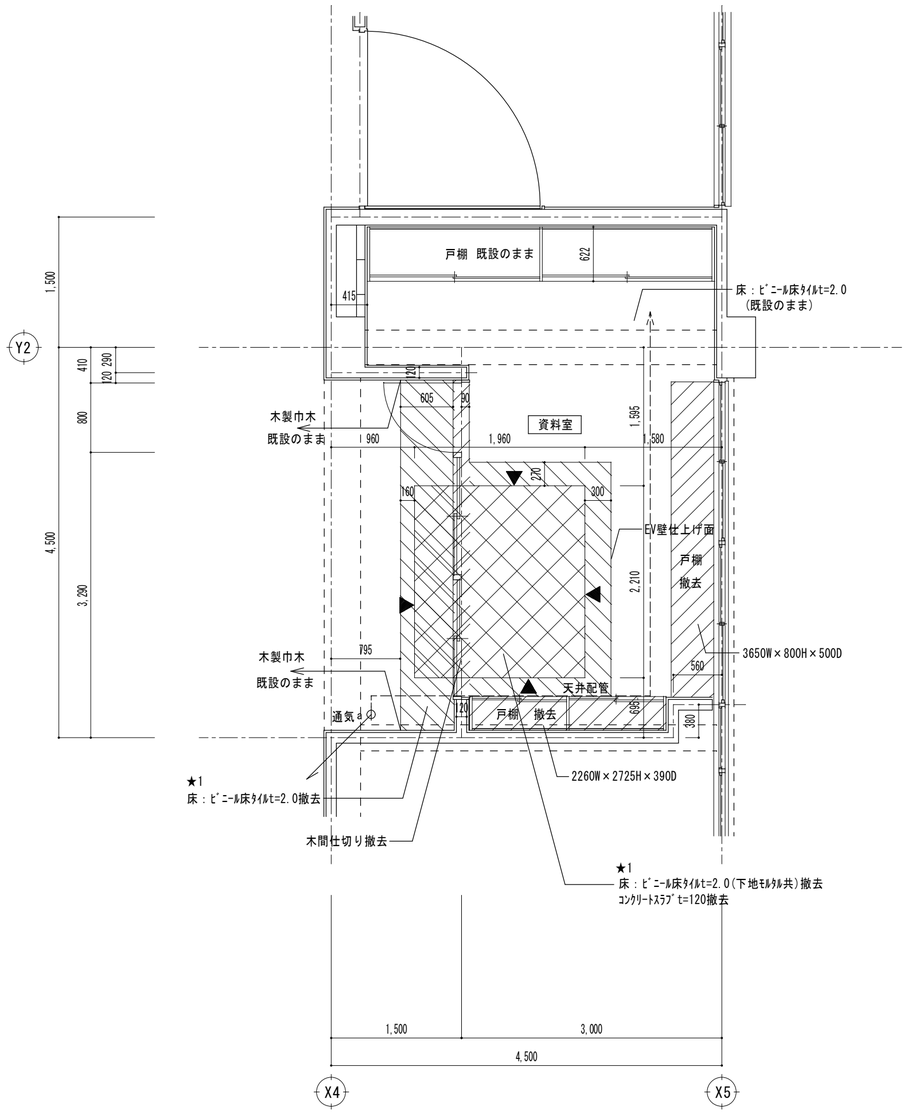
津市立橋北中学校長寿命化改修工事

2階支援室（1）　展開図　改修前後

NO.
A-52
**

原図：A2

改修前 改修後



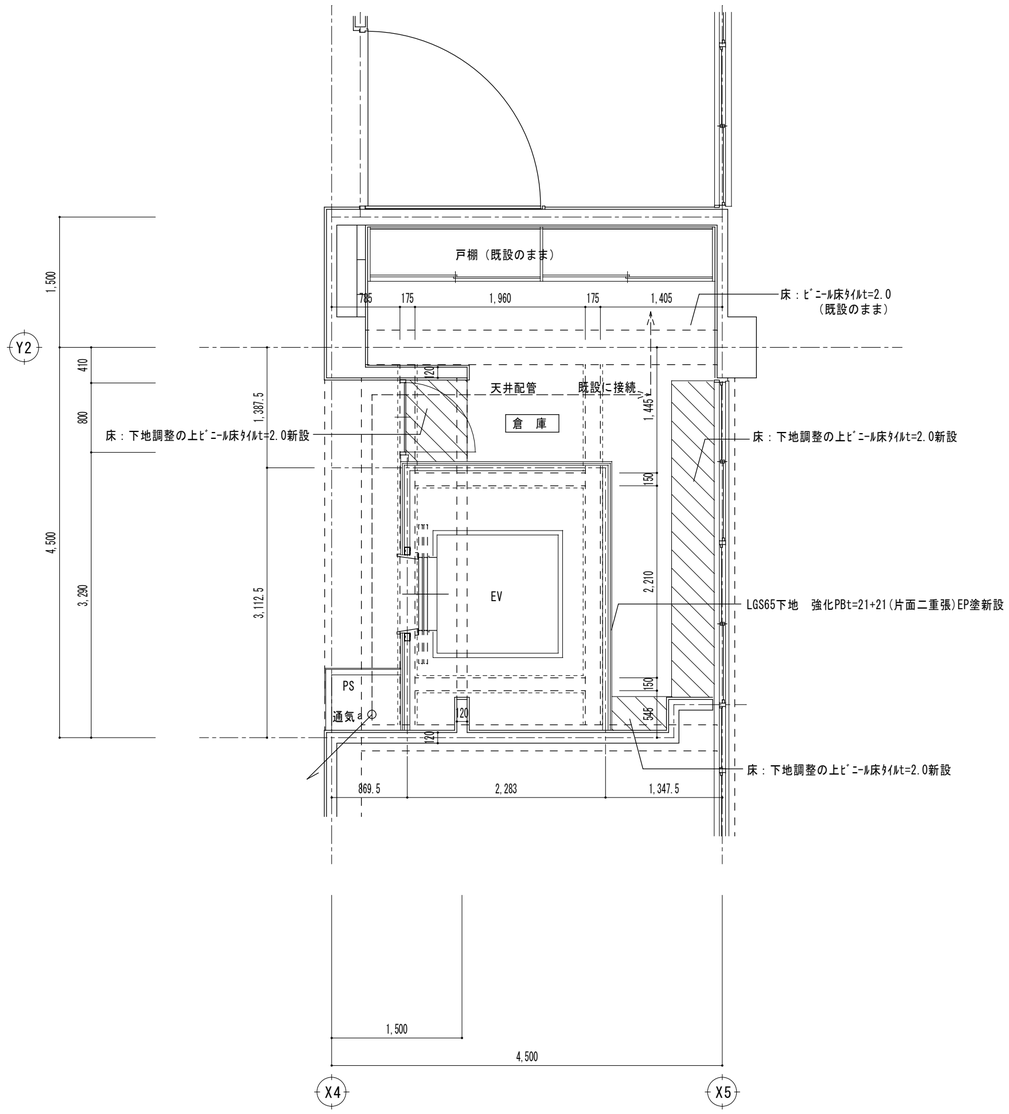
3階 平面詳細図 1/50

▲ｶｯﾀｰ入れを示す（錆止め塗り共）

土間ｺﾝ、仕上げ(ﾓﾙﾀﾙ下地共)撤去範囲を示す

床仕上げ撤去範囲を示す

ｺﾝｸﾘｰﾄ壁(ﾓﾙﾀﾙ共)、家具等撤去範囲を示す



3階 平面詳細図 1/50

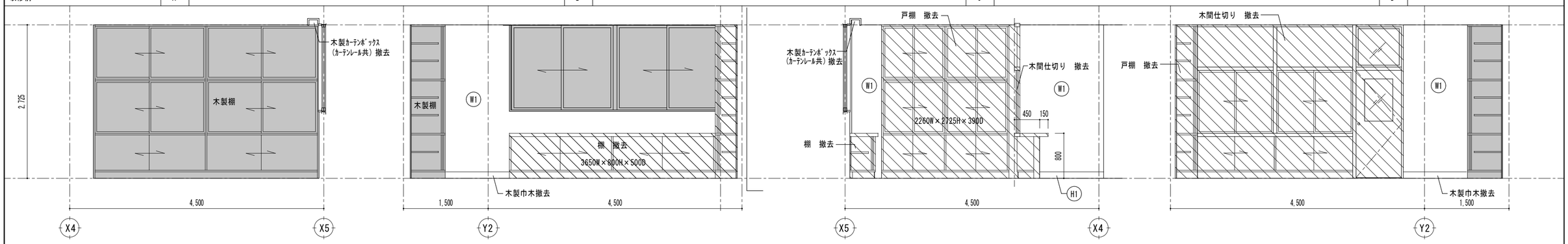
床仕上げ新設範囲を示す

A
D 展開方向 B
C

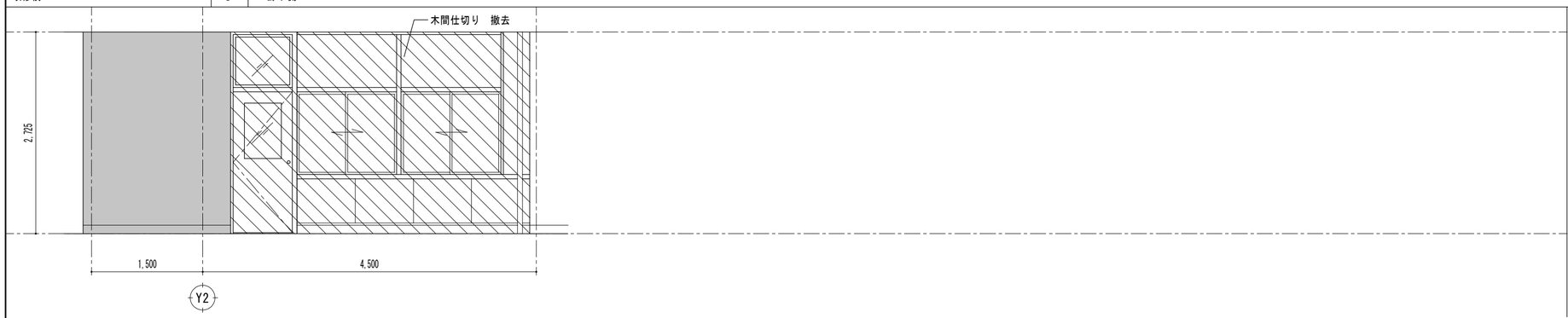
〈石綿含有建材〉 ※Level 3	
★1 床材(ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ) ★2 天井材(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ紙部分)	クリソタイル含有

特記	月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号 登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之	設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 3階資料室 平面詳細図 改修前後	NO. A-53 ** 原図：A2
					設計				

改修前

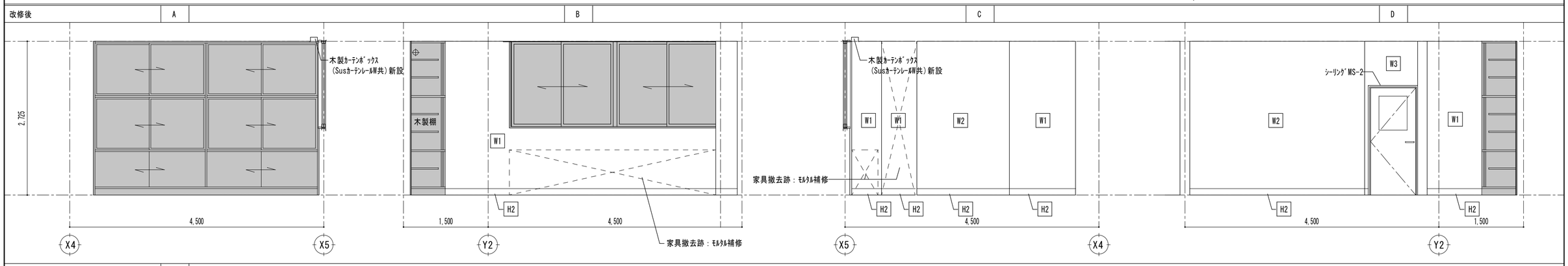


改修前　B　廊下側



記号	位置	既設仕上
H1	巾木	木製巾木t=21 H=115 OS
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ金こて VP
		撤去範囲を示す
		既存のままを示す
▲		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れを示す

改修後

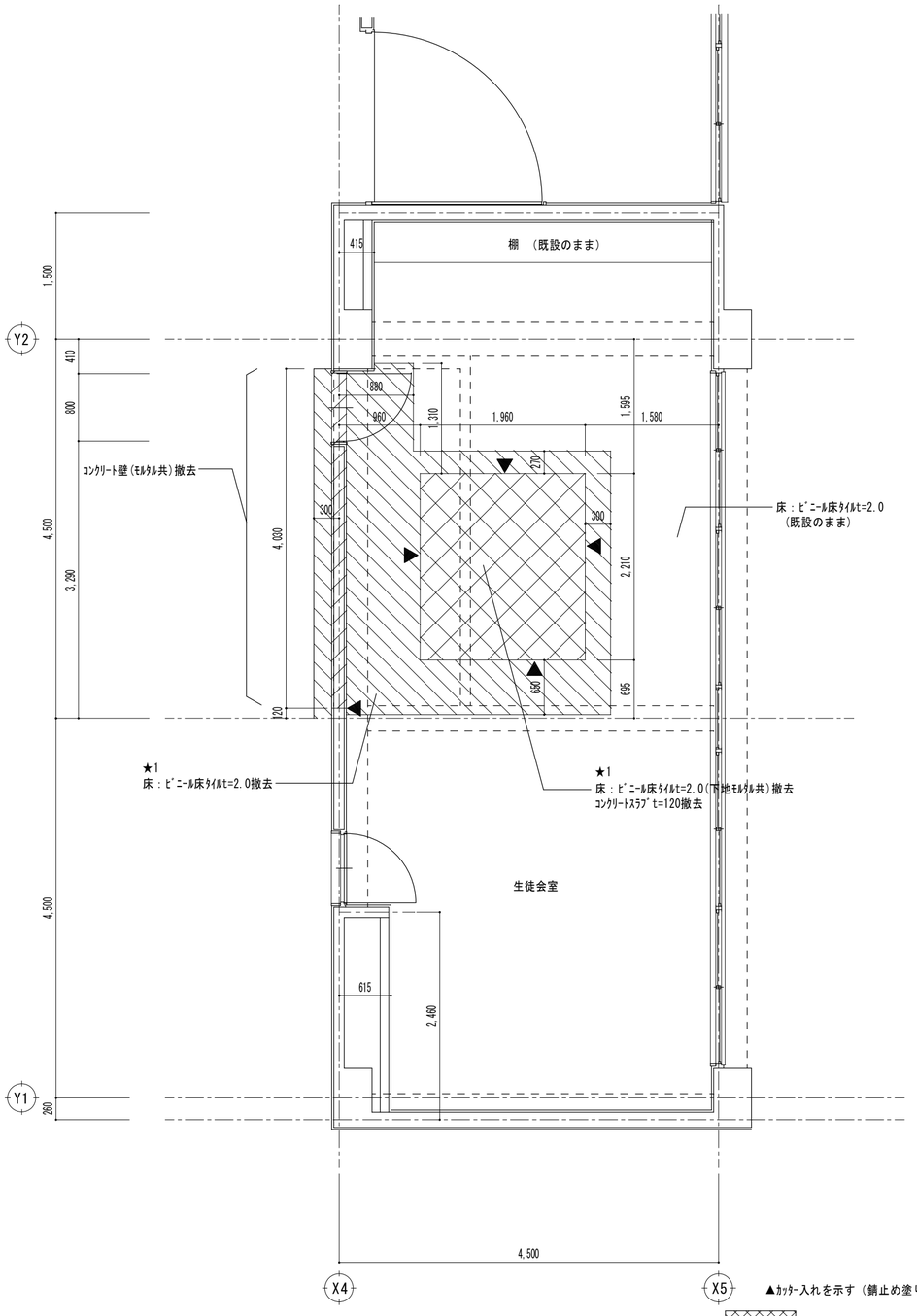


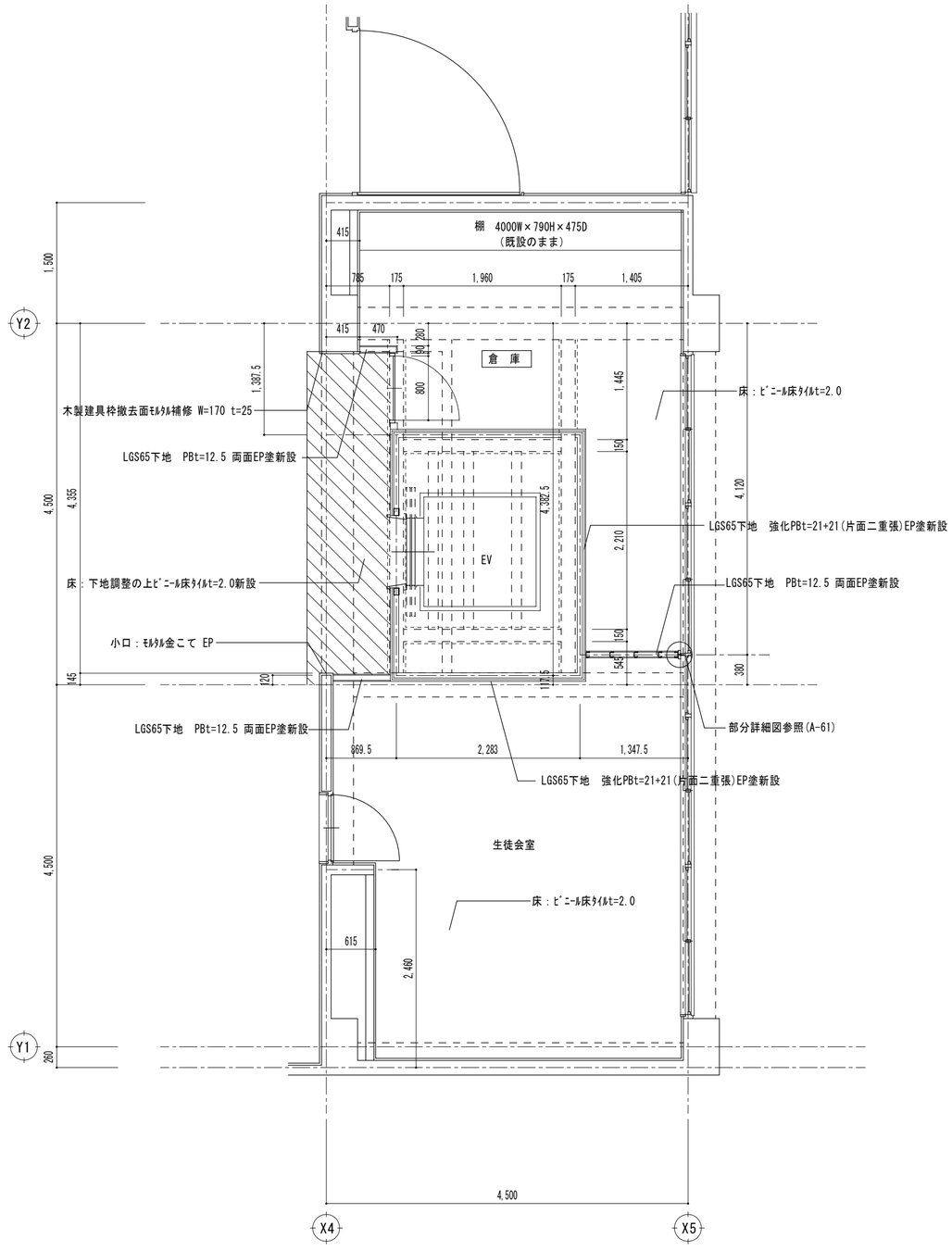
改修後　B　廊下側

記号	位置	改修仕上
H1	巾木	下地調整RB種の上EP-G塗
H2		ｿﾌﾄ巾木 H=100 新設
W1	壁	ﾓﾙﾀﾙ面：下地調整RB種の上EP塗
W2		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 強化PBt=21+21(片面二重張)
W3		ﾎﾞｰﾄﾞ面：下地処理の上EP塗　新設 LGS65 PBt=12.5
		既存のままを示す

特記	月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	3階資料室　展開図　改修前後	A-54 **
				登録番号（1）第２１１８号 / 内田 貴之					原図：A2

改修前　改修後





〈石綿含有建材〉　※Level 3	
★1 床材(ビニール床タイル) ★2 天井材(石膏ボード紙部分)	クリソタイル含有

▲カッター入れを示す（錆止め塗り共）

土間コン、仕上げ(モルタル下地共)撤去範囲を示す

床仕上げ撤去範囲を示す

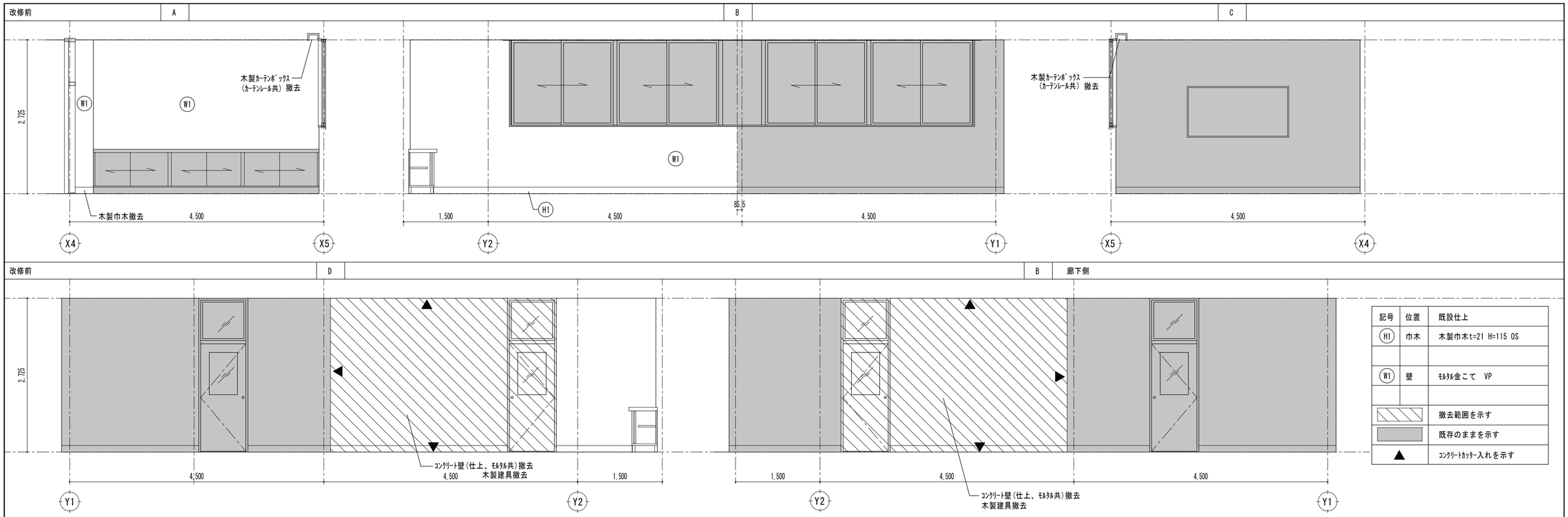
コンクリート壁(モルタル共)、家具等撤去範囲を示す

4階　平面詳細図　1/50

4階　平面詳細図　1/50

床仕上げ新設範囲を示す

特記	月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
				一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		A2　1/50 A3　1/70.7	4階生徒会室　平面図詳細図　改修前後	A-55 **
				登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2



特記		月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号 内田 貴之

設計番号 | 年 月 日 | 設計

縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7

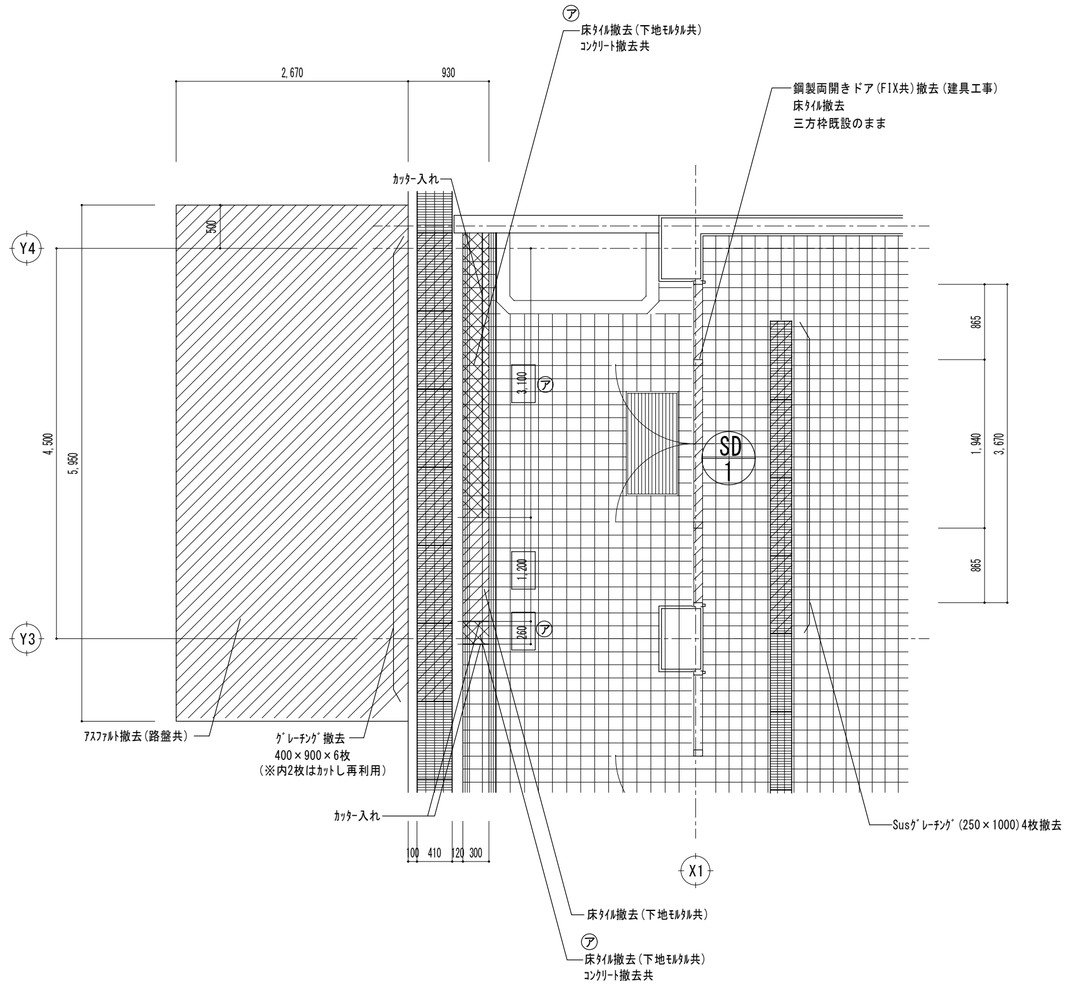
津市立橋北中学校長寿命化改修工事

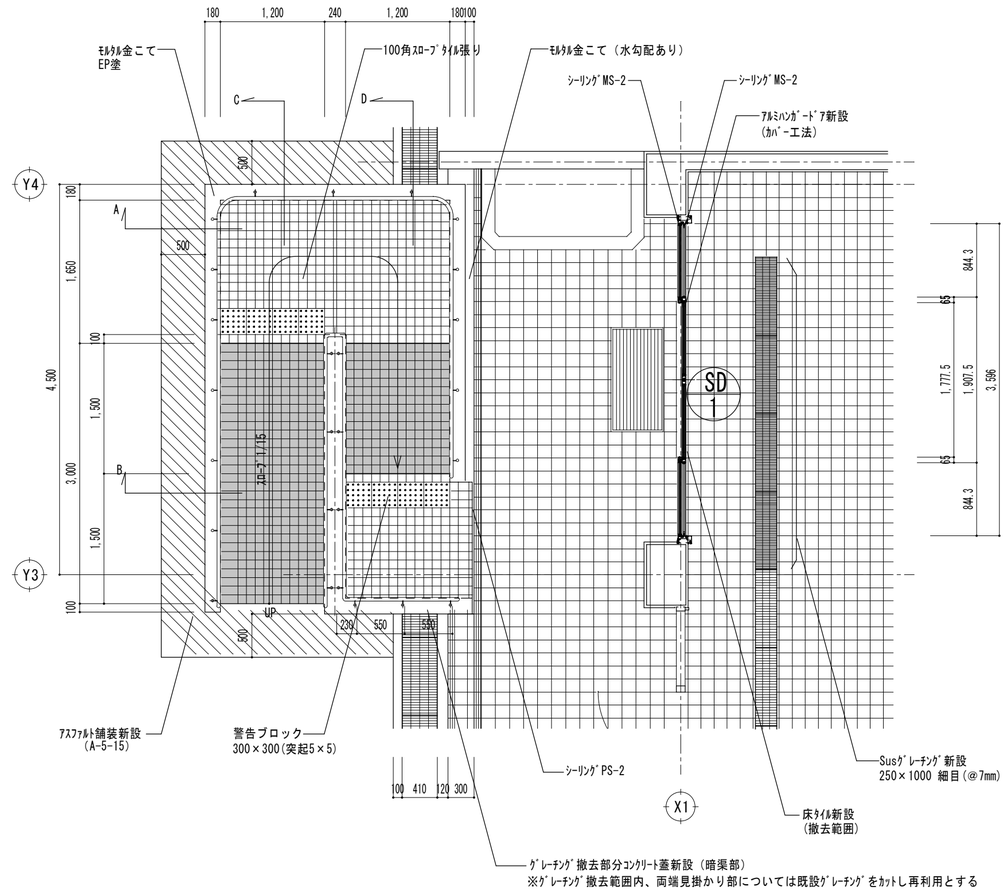
4階生徒会室 展開図 改修前後

NO. A-56 **

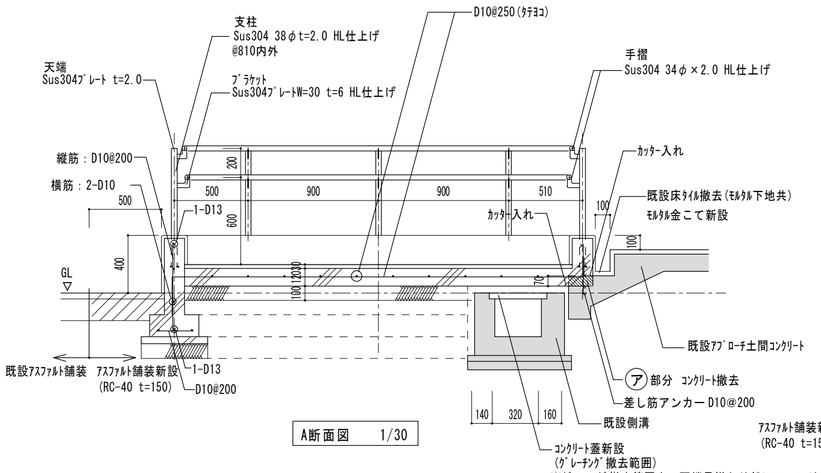
原図：A2

改修前	改修後

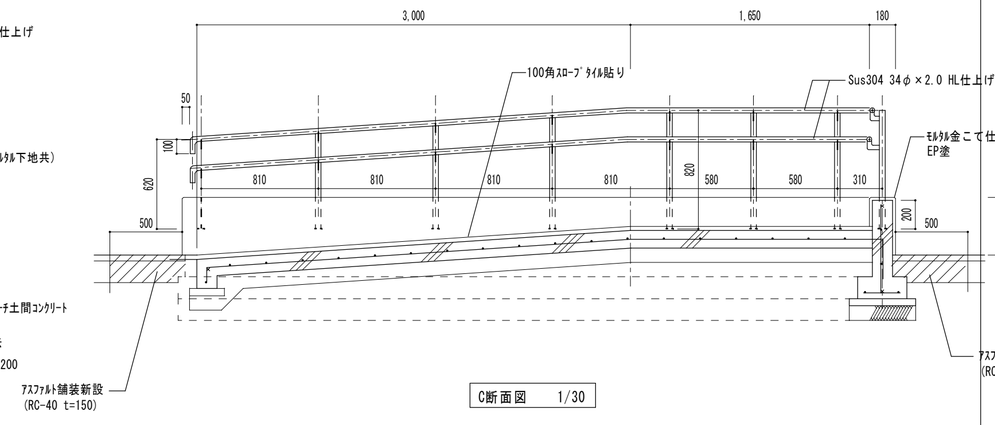




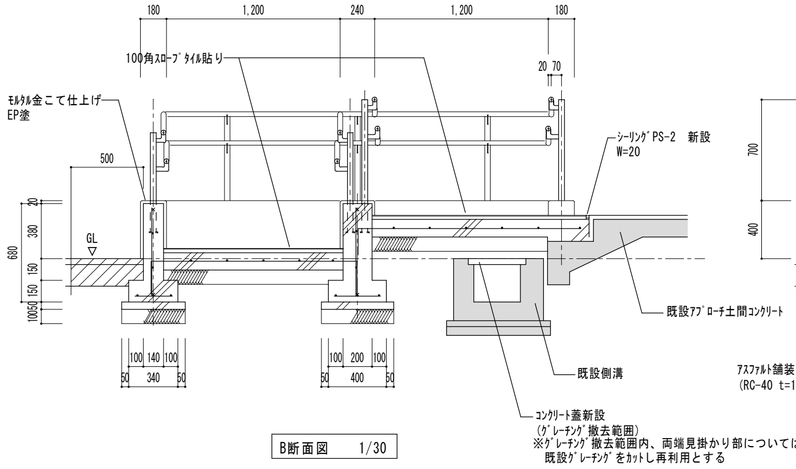
特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	1階昇降口廻り詳細図(1) 改修前後	A-57 **
					登録番号（1）第２１１８号	内田 貴之					原図:A2



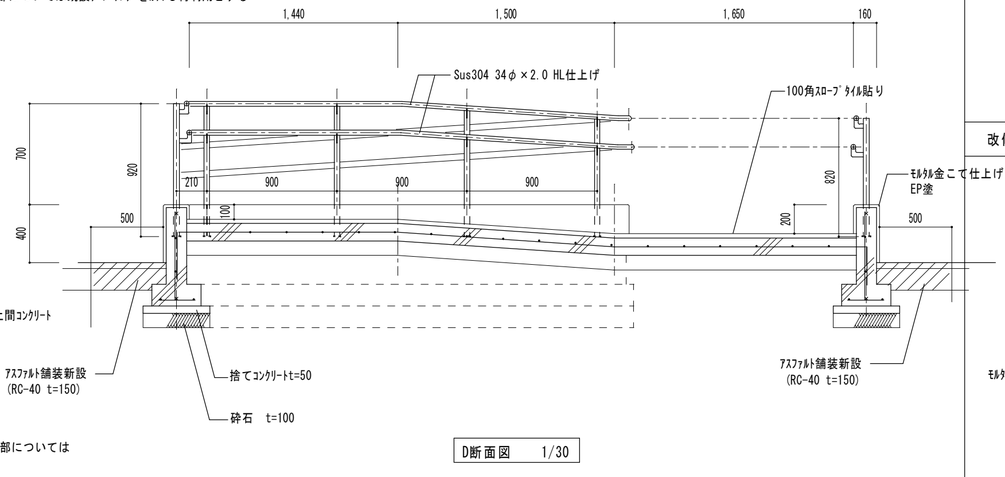
A断面図　1/30



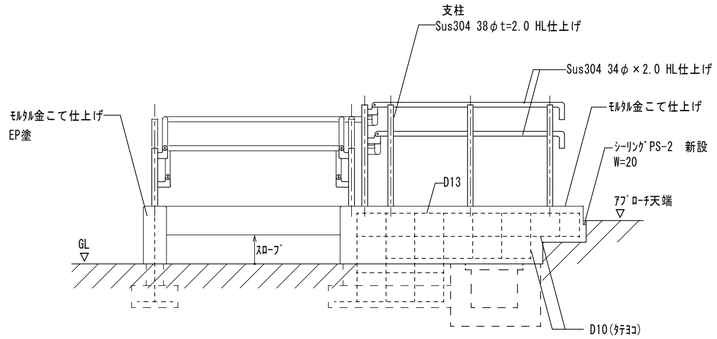
C断面図　1/30



B断面図　1/30

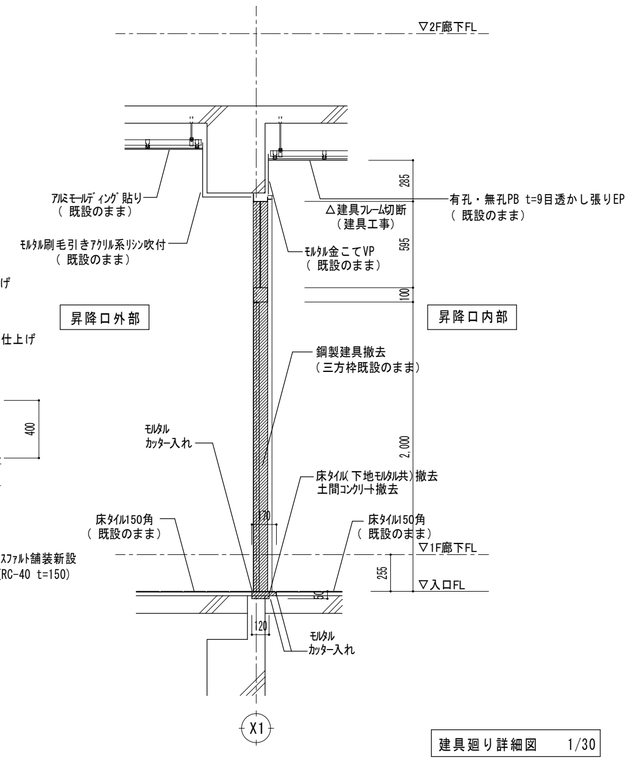


D断面図　1/30



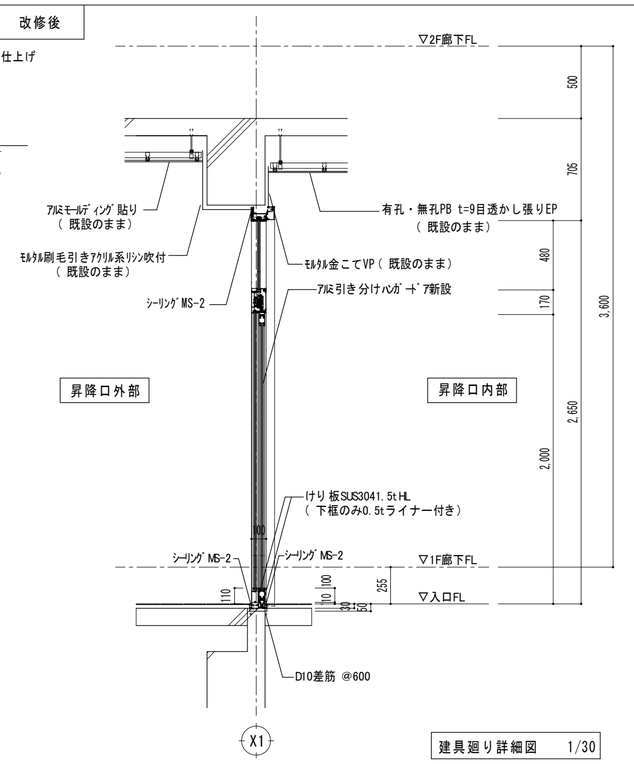
ｽﾛｰﾌﾟ入り口側展開図　1/30

改修前



建具廻り詳細図　1/30

改修後

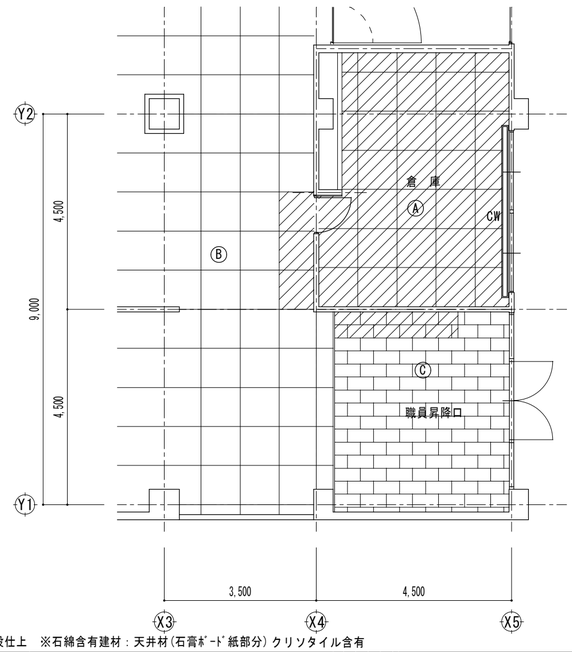


建具廻り詳細図　1/30

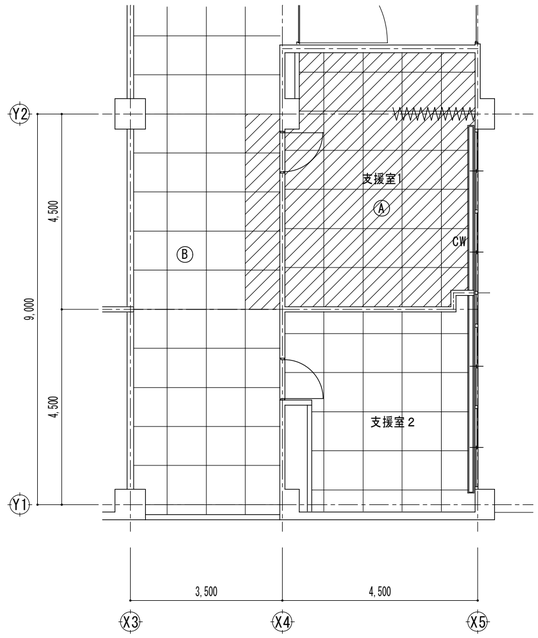
特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺 1/30 A2 1/50 A3 1/42.4 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
			一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計			1階昇降口廻り詳細図(2)　改修前後	A-58 **
			登録番号（1）第２１１８号	内 田　貴 之					原図：A2

改修前

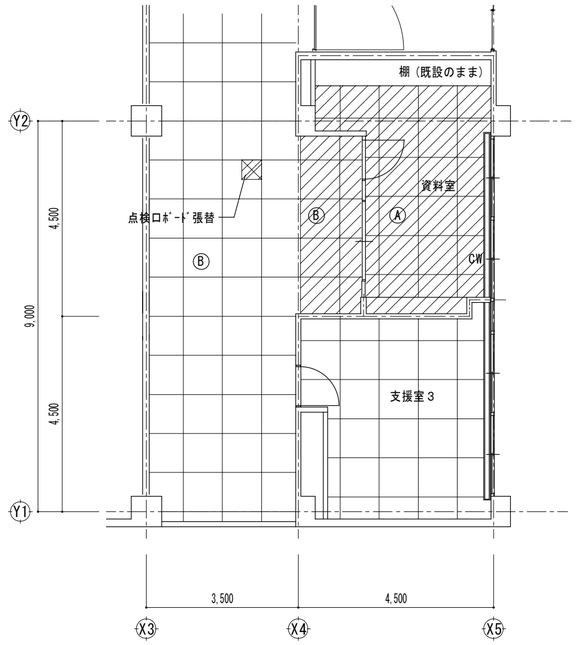
1階天井伏図



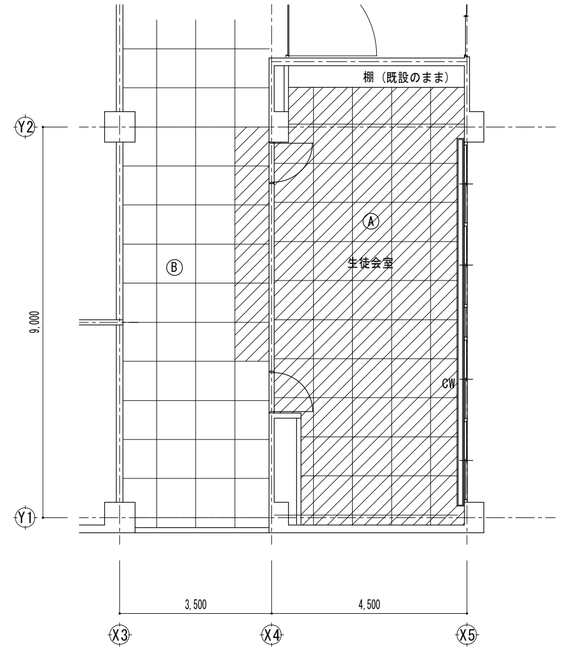
2階天井伏図



3階天井伏図



4階天井伏図



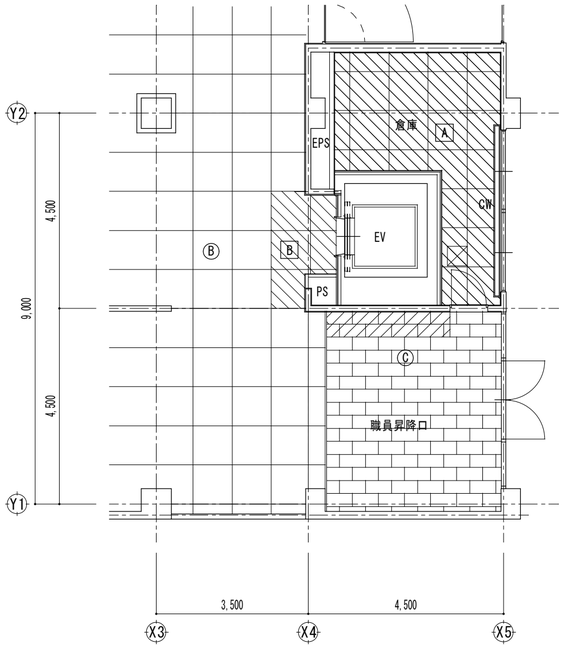
1/100

既設仕上　※石綿含有建材：天井材(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ紙部分) クリソタイル含有

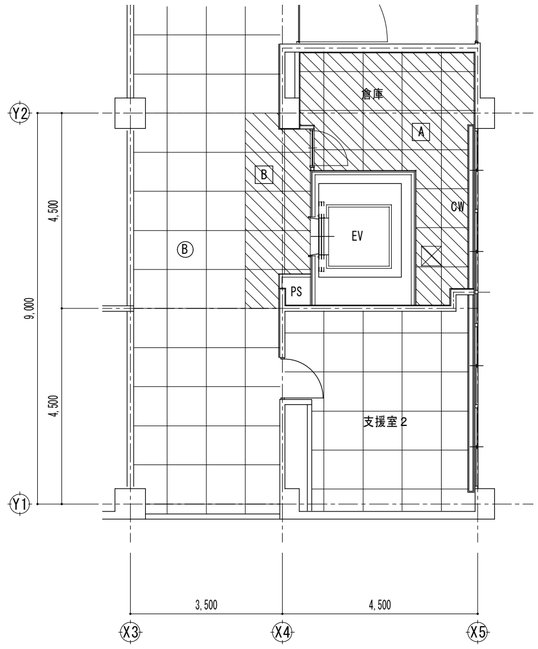
Ⓐ	無孔 PB t=9 目透かし張り 900角	木下地		撤去範囲を示す　Ⓐの天井下地は全面撤去
Ⓑ	無孔 PB t=9 目透かし張り 900角	LGS下地	CW	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)　撤去
Ⓒ	岩綿吸音板 t=12(下張り PB t=9)	既設のまま		

改修後

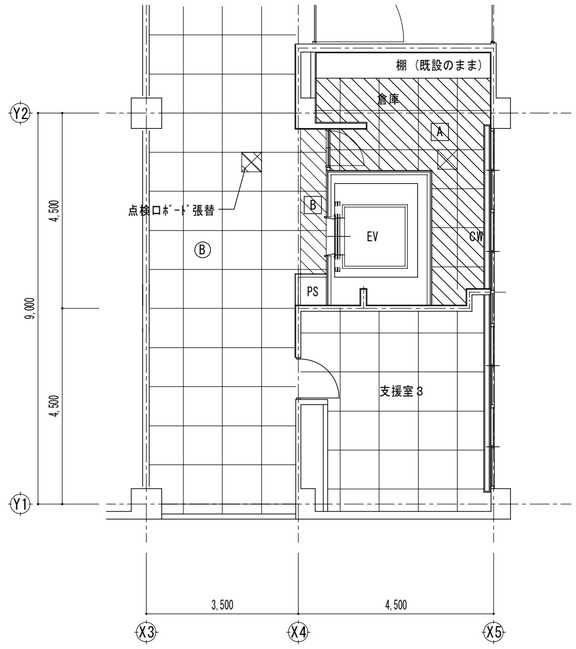
1階天井伏図



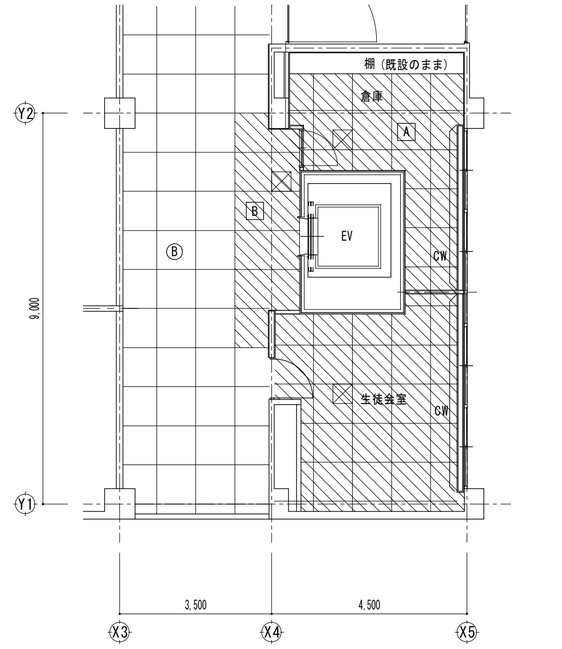
2階天井伏図



3階天井伏図



4階天井伏図



改修仕上

A	無孔 PB t=9 目透かし張り 900角	LGS下地共新設		新設範囲を示す
B	無孔 PB t=9 目透かし張り 900角	LGS下地(既設のまま)	CW	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(SusｶｰﾃﾝﾚｰﾙW共) 100×150 EP-G　新設
C	岩綿吸音板 t=12(下張り PB t=9)	LGS下地(既設のまま)	☒	ｱﾙﾐ枠天井点検口450角

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897
一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之

設計番号　年 月 日

設計

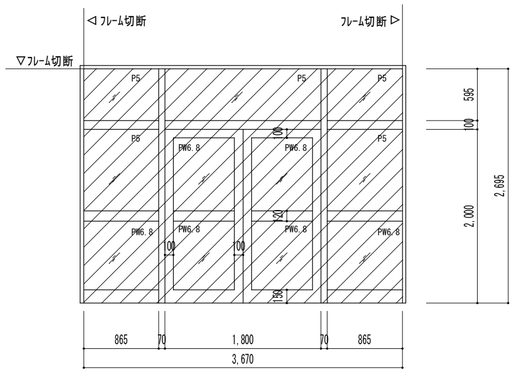
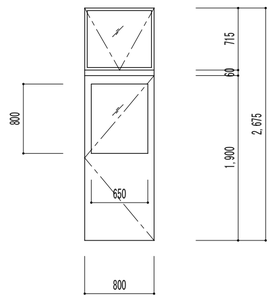
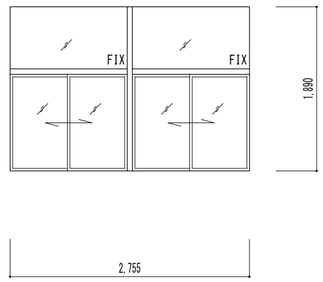
縮尺
A2　1/100
A3　1/141.4

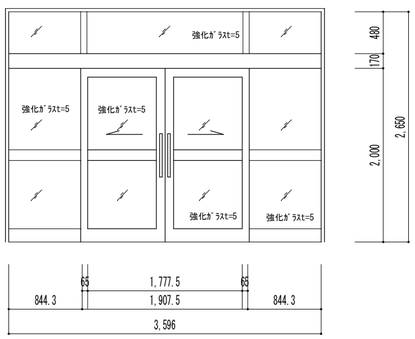
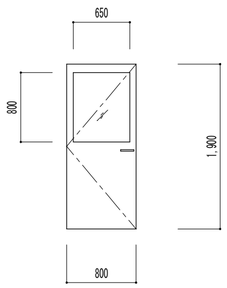
津市立橋北中学校長寿命化改修工事

1_4階天井伏図　改修前後

NO.
A-59
**

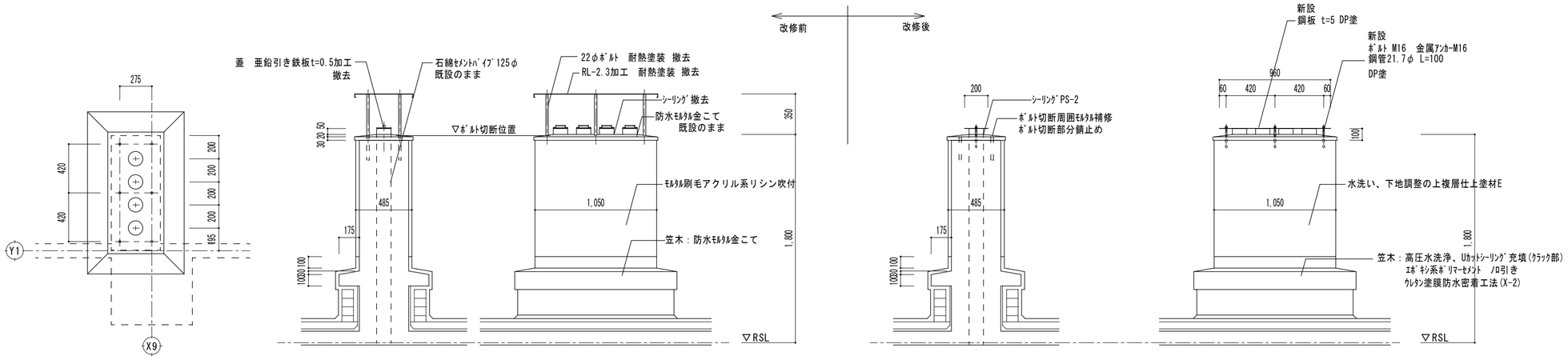
原図：A2

記号・数量	SD 1 撤去 （三方枠は既設のまま） 1	WD 1 撤去 4	WW 1 撤去 1	
形状（改修前）				
位置	昇降口	1階倉庫・2階支援室1・3階資料室・4階生徒会室	3階資料室	
形式	袖・ﾗﾝﾏ付　両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ	片開き木製ﾌﾗｯｼｭ戸(額付)　上部外倒し木製窓	木製引き違い窓　上部FIX付	
見込	100	36	36	
材質・仕上	OP	木製	木製	
ガラス	網入りｶﾞﾗｽ t=6.8　透明ｶﾞﾗｽ t=5	透明 t=3　ｽﾘ t=3	透明 t=3	
金物	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ、本締ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾌﾗﾝｽ落とし、Sus押棒、ケリ板(Sus)H=150	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	ｹﾚﾝﾄ,戸車,引手,ﾚｰﾙ	
	その他必要金物一式	その他必要金物一式	その他必要金物一式	
備考				

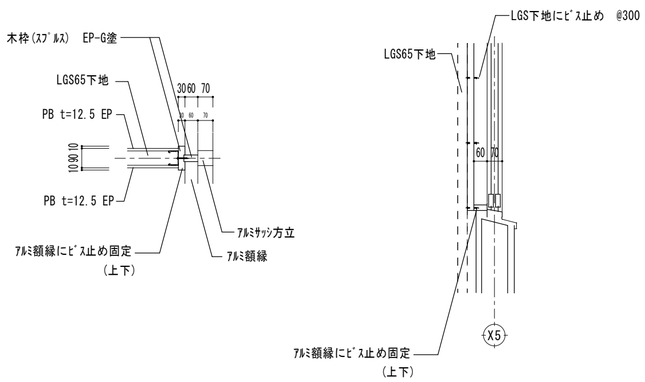
記号・数量	HD 1 新設 1	AD 1 新設 4	2
形状（改修後）		 1F：RC 壁厚t=170　2_4F:LGS+PB 壁厚t=90	
位置	昇降口	1_3階倉庫　4階生徒会室内倉庫	
形式	引き分けハンガードア(ｶﾊﾞｰ工法)	片開きｱﾙﾐﾌﾗｯｼｭ戸(額付)　ｱﾙﾐ額縁付	
見込	100	70	
材質・仕上	アルマイト　ケリ板Sus H=150	ｱﾙﾏｲﾄ	
ガラス	透明強化ガラス　t＝4	強化型板ｶﾞﾗｽ t=4	
金物	ハンガー戸車、ストレートハンドル、POSTE錠、フロントゴム	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、下枠Sus t=2.0	
	傾斜レール、油圧制御装置、その他必要金物一式	その他必要金物一式	
備考			

特記	月 日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
		一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	建具表　改修前後	A-60 **
		登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図：A2

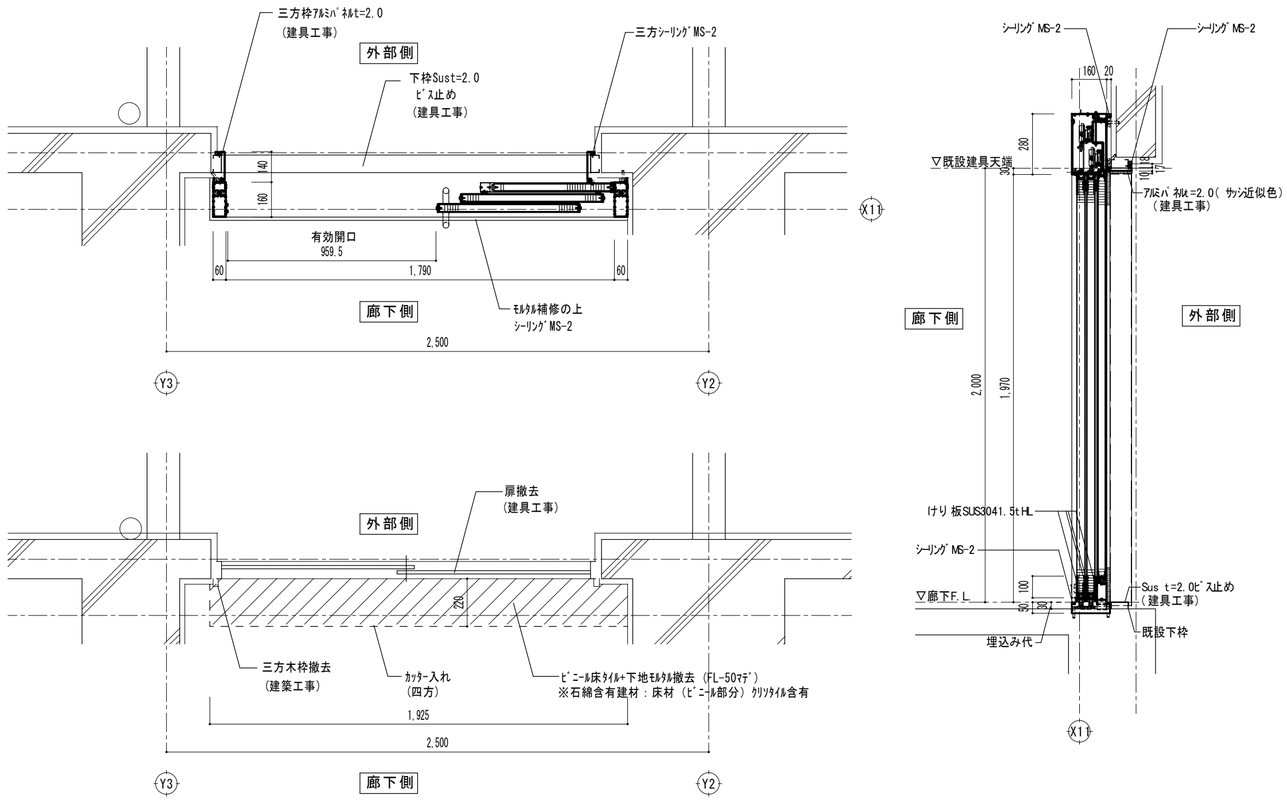
屋上ハト小屋閉鎖処理詳細図　1/30



4階生徒会室間仕切り　ｱﾙﾐ建具取合い詳細図　1/20



普通教室棟　渡り廊下　建具廻り詳細図　1/20　　4ヶ所

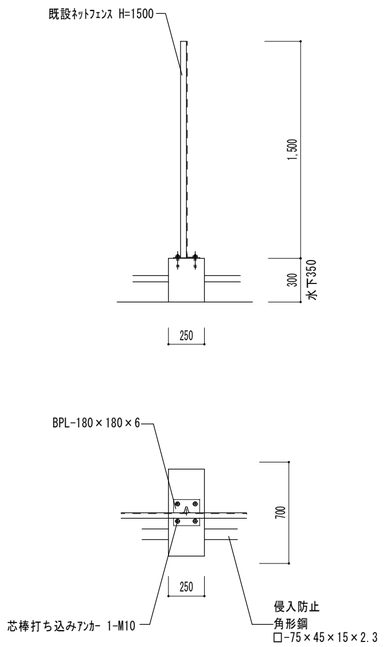


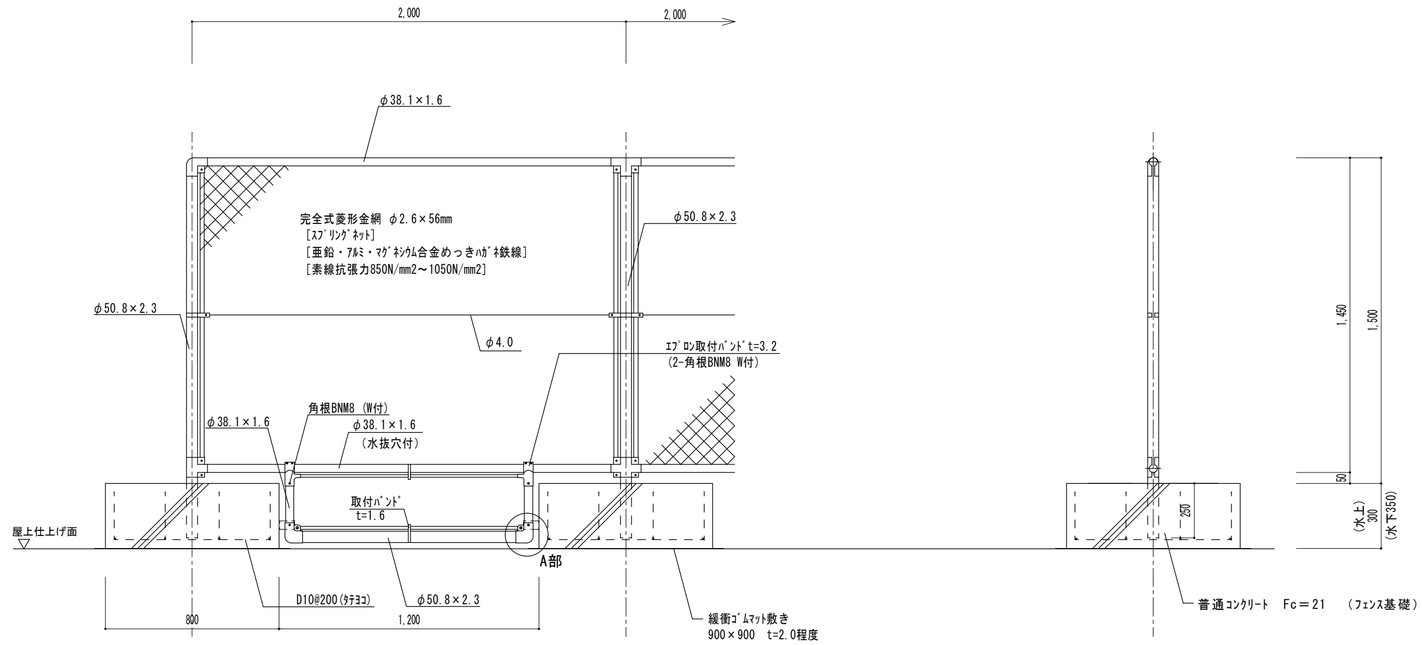
特記		月	日		U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/20 1/30 A3 1/28.3 1/42.4	部分詳細図（1）	A-61 **
					登録番号（1）第２１１８号	内田　貴之					原図：A2

屋上既設ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ詳細図　1/30

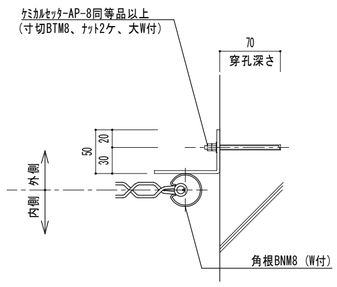
屋上ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ詳細図　1/20　　朝日ｽﾁｰﾙﾌｪﾝｽ工業㈱同等品

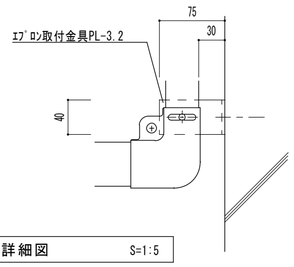
既設ﾌｪﾝｽ撤去（基礎共）　新設（基礎共）



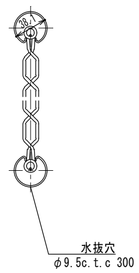


フェンス(ｴﾌﾟﾛﾝ付)納まり図　S=1:20





A部詳細図　S=1:5



胴縁に金網取付断面図　S=1:5

設計条件
設計風荷重・・・建築基準法・同施行令(H12年6月)に基づく風圧力に依る。
基準風速34m/sec　地表面粗度区分Ⅲ　GL+15m

備考
1．外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2．本柵の金網規格は下記の通りとする。
φ3.2×40mm
φ4.0×56mm

特記		月　日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年 月 日	縮尺 1/5 1/20 A2 1/30 A3 1/7 1/28.3 1/42.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO. A-62
			一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計			部分詳細図(2)	**
			登録番号（1）第２１１８号　内田　貴之					原図:A2

鉄　骨　構　造　工　作　標　準　図

§１．一般事項

１－１ 使用材料

・使用材料はすべて規格品とする。

H形鋼　SS400　軽量形鋼　SS400

高力ボルト　S10T　トルシャー型

１－２ その他

本図に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
・本標準図における単位はすべてmmとする。
・精度に関しては、ＪＡＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。

§２．共通事項

２－１ 略号

・ＡＢ	アンカーボルト	・ＢＨ	組立てＨ形鋼
・Ｂ𝑅	ベースプレート	・ＣＨ𝑅	チェッカープレート
・Ｃ𝑅	カバープレート	・ＦＢ	フラットバー
・Ｆ𝑅	フランジプレート	・Ｇ𝑅	ガセットプレート
・ＨＴＢ	高力ボルト	・Ｓ𝑅	スプライスプレート
・ＴＢ	ターンバックル	・Ｗ𝑅	ウェブプレート
・$W_{1\sim5}$	溶接記号（§４参照）	・	
・		・	

２－２ その他

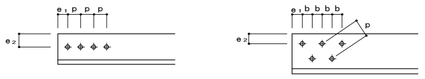
§３．ボルト接合

３－１ ＨＴＢ

Ｓ１０Ｔ	締め付け長さに加える長さ
Ｍ１６	２５以上
Ｍ２０	３０以上
Ｍ２２	３５以上
Ｍ２４	４０以上

・ＨＴＢはすべてＳ10Ｔ（トルシア形高力ボルト）を使用し、スベリ係数は0.45とする。
・ボルト接合面の処理
　締め付け摩擦面は母材に於いては平グラインダー掛け、スプライスプレートに於いてはショット掛けを行い、黒皮を除去し一様に赤さびを生じさせる。

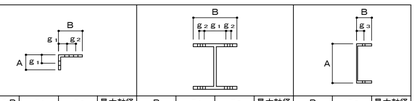
３－２ ＨＴＢのピッチ



呼び径			Ｍ１６	Ｍ２０	Ｍ２２	Ｍ２４	
孔径			18.0	22.0	24.0	26.0	
ピッチ	標準	p	60	60	60	70	
	最小		40	50	55	60	
はしあき		e_1	40(40)	40(50)	40(55)	45(60)	
へりあき		e_2	25	30	35	40	

・（　）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合をしめす。

３－３ 形鋼のゲージ

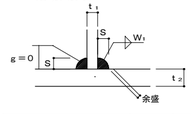


ＡｏｒＢ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_3	最大軸径
＊＊50	30		16	＊＊100	60		16	＊＊50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	＊300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊Ｂ＝300は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄の g および最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

４－１ 隅肉溶接

§４．溶接接合



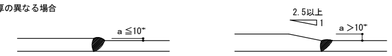
脚長（S）
　0≦S′－S≦3　　S ＝設計サイズ
　　S′＝実際サイズ

余盛
　(0.1S＋1)以下

t：t_1 と t_2 の小さい方	6以下	9	12	14	16	19	
S	t	7	9	10	12	14	

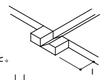
４－２ 突合せ溶接

板厚の異なる場合



＊（クレーンガーダーの場合は３とする）

エンドタブ
　両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
　その長さｌは 35 以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。
　代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。



スカーラップ（改良スカーラップ）
　R1=35, R2=10 を標準とする。
　複合円は滑らかに仕上ること、

４－３ 開先形状

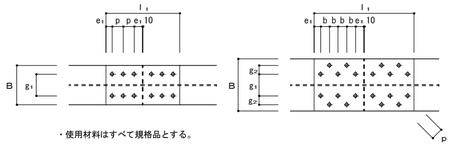
記号	形状	適用板厚	寸法	
W_2 (MC-BL-B1)	裏当て; 9以上; t=12以下は6; 19以上	6＜t≦12	g	7±2/0
			r	2±1/0
			α_1	45°　-5°
		12＜t≦32	g	9±2/0
			r	2±1/0
			α_1	35°　-5°
W_3 (MC-BL-2)	裏はつり	6＜t≦19	g	0±5/0
			r	2±2/0
			α_1	45°　-5°
W_4 (MC-BK-2)	裏はつり	19＜t≦32	g	0±3/0
			d_1	2/3(t-r)
			r	2±2/0
			d_2	1/3(t-r)
			α_1	45°　-5°
			α_2	60°　-5°
W_5 (MC-B1-B1)	裏当て; FB-4.5 x 19	t≦6	g	T　-2

・上図は手溶接の隅肉又は完全溶込みグループ溶接の場合を示す。
　但し、半自動溶接および自動溶接にて施工する場合は別途指示とする。

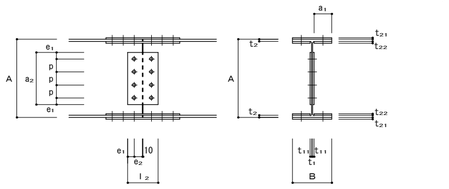
５－１ 継手リスト

§５．継　手

継手・仕口のボルト本数は別図参照。

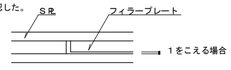


・使用材料はすべて規格品とする。

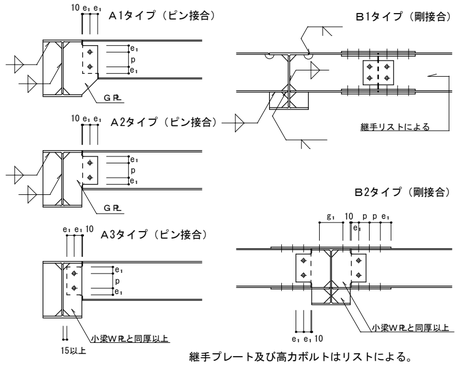


本図に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

フィラープレート
　Ｆ𝑅、Ｗ𝑅 面で段差が１をこえる場合は、
　フィラープレートを入れる。



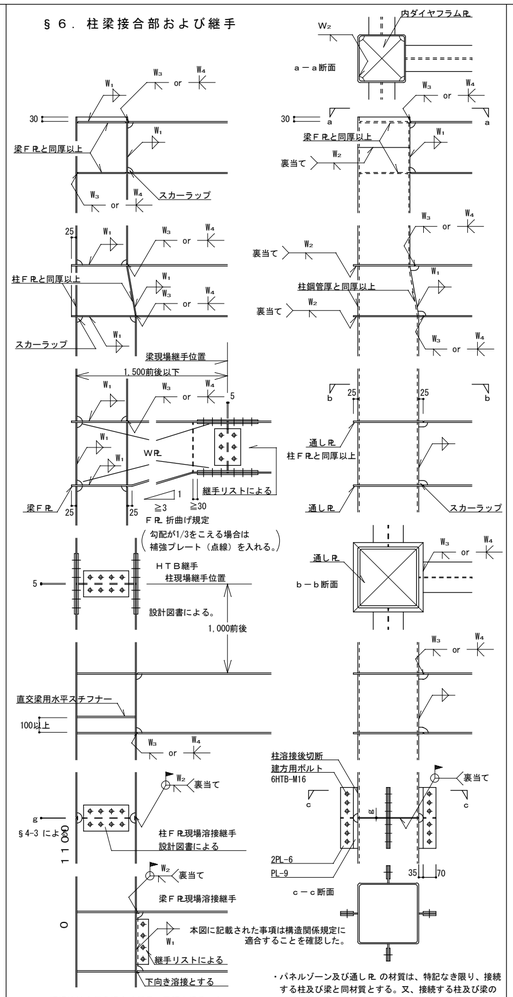
５－２ 仕口リスト



継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

６－１ 柱通し

§６．柱梁接合部および継手



・現場溶接を行う場合は係員の承認を得ること。

柱Ｈ形鋼の場合

・パネルゾーン及び通し𝑅 の材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。又、接続する柱及び梁の材質の異なる場合は、強度の大きい方の材質とする。

柱角形鋼管の場合

６－２ 梁通し

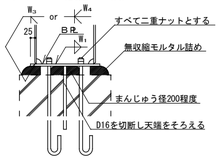
６－３ 雑仕様

６－４ 現場溶接継手

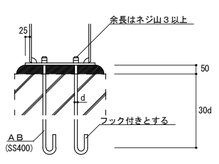
７－１ 柱脚ピン

§７．柱　脚

Ａタイプ　（後詰め工法）

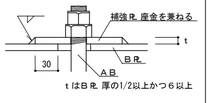


Ｂタイプ　（全面塗り仕上工法）



・コンクリート表面のレイタンス等を取り除いた後、調合（容積比）セメント１：砂１の竪練りモルタルを平に塗り仕上げる。
・モルタルを後詰めする場合は空隙の出来ないように充填する。
・アンカーフレームを使用する場合は設計図書による。

アンカーボルトの施工に誤差がある場合



８－１ 丸鋼

８－２ 山形鋼

§８．床面ブレース

・壁面ブレースにならう(JIS　規格品)

部材	ＨＴＢ	
	Ｍ１６	Ｍ２０
Ｌ－50 x 50 x 6	2	－
Ｌ－65 x 65 x 6	3	2

・ブレースの材質はすべてSS400とする。

９－１ 丸鋼

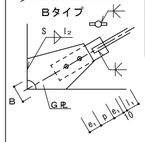
ＪＩＳ規格品準拠

９－２ 山形鋼

§９．壁面ブレース

Ａタイプ

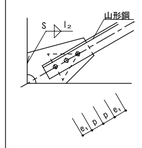
Ｂタイプ



Ｐ＝５０

タイプ	部材 ＢＡＲ	羽子板 t x B x L	羽子板 HTB	Ｇ𝑅	溶接 ＦＢ サイズ'S	溶接 ＦＢ l_1	溶接 Ｇ𝑅 サイズ'S	溶接 Ｇ𝑅 l_2
Ａ	Ｍ１２	ＦＢ－ 4.5 x 40 x 135	1-M12	6	6	40	6	55
Ａ	Ｍ１６	ＦＢ－ 6 x 52 x 170	1-M16	9	7	55	6	75
Ａ	Ｍ２０	ＦＢ－ 9 x 67 x 205	1-M20	9	8	75	8	80
Ａ	Ｍ２２	ＦＢ－ 9 x 77 x 230	1-M22	9	9	85	8	90
Ｂ	Ｍ２４	ＦＢ－ 9 x 77 x 270	2-M20	12	10	85	10	105

山形鋼



（注）９－２の点線は第１ボルトから軸線より30'の範囲を示す。

部材	Ｇ𝑅	ＨＴＢ φ	ＨＴＢ n	溶接 l_2	部材	Ｇ𝑅	ＨＴＢ φ	ＨＴＢ n	溶接 l_2
Ｌ- 65 x 65 x 6	6	16	4	140	2L- 65 x 65 x 6	9	16	4	270
Ｌ- 75 x 75 x 6	6	16	4	160	2L- 75 x 75 x 6	9	16	4	250
Ｌ- 75 x 75 x 9	6	16	5	220	2L- 75 x 75 x 9	9	16	5	370
Ｌ- 90 x 90 x 7	9	20	4	190	2L- 90 x 90 x 7	12	20	4	340
Ｌ- 90 x 90 x10	9	20	5	260	2L- 90 x 90 x10	12	20	5	480
L-100 x100 x10	9	20	5	290	2L-100 x100 x10	12	20	5	540

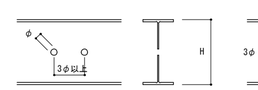
（注）・サイズＳ：Ｇ𝑅=6 の場合　Ｓ=6，Ｇ𝑅=9 以上の場合　Ｓ=7

・ブレースの材質はすべてSS400とする。

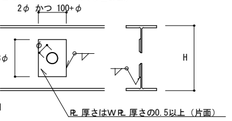
１０－１ 貫通補強

§１０．その他

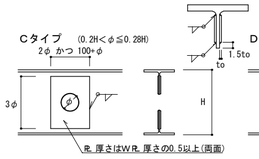
Ａタイプ　（φ≦0.1H）



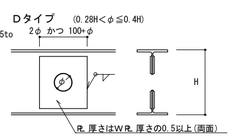
Ｂタイプ　(0.1H＜φ≦0.2H)



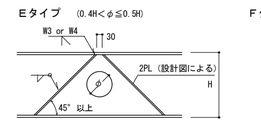
Ｃタイプ　(0.2H＜φ≦0.28H)



Ｄタイプ　(0.28H＜φ≦0.4H)

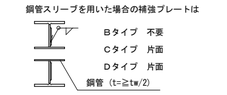


Ｅタイプ　(0.4H＜φ≦0.5H)

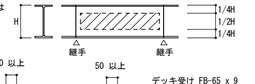


Ｆタイプ

鋼管スリーブを用いた場合の補強プレートは

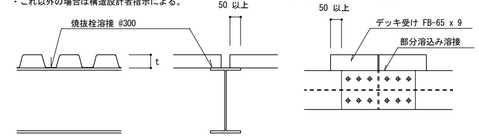


・特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は 0.5H以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。
・スリーブは梁成の中央1/2の範囲とする。
・貫通孔を設ける範囲は右図ハッチ部分とする。
・これ以外の場合は構造設計者指示による。

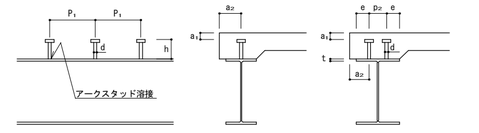


１０－２ デッキプレート

但し合成床版の場合は標準図を参照のこと。



１０－３ スタッドジベル



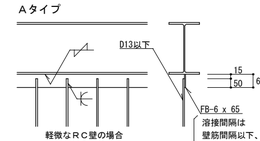
4.0d≦h
7.5d≦P_1≦600
5.0d≦P_2

a_1≧40
a_2≧100

e≧40
d≦2.5t
h,P_1,P_2は設計図書による。

１０－４ 壁筋の溶接

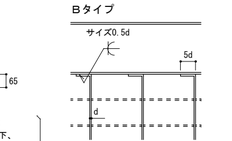
Ａタイプ



軽微なＲＣ壁の場合

溶接間隔は壁筋間隔以下、溶接長さは50mm以上

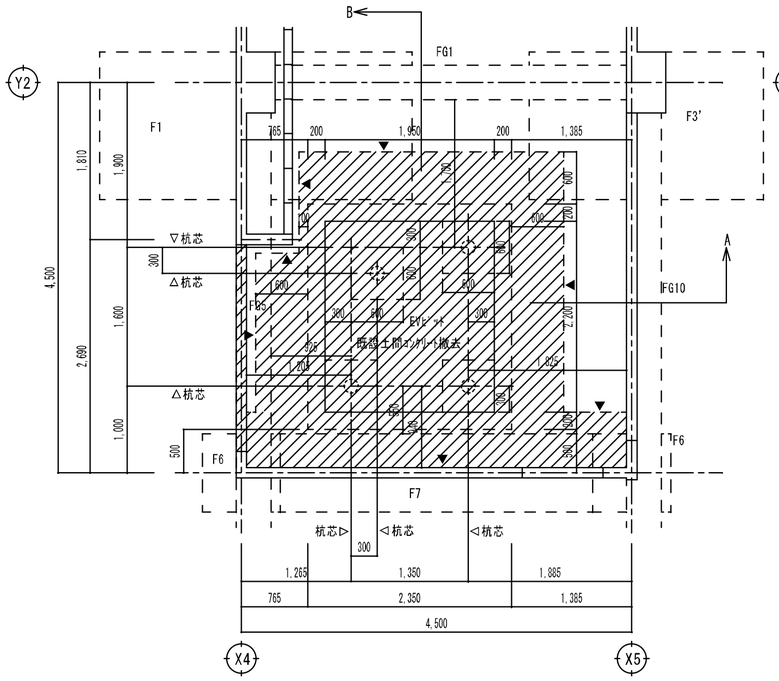
Ｂタイプ



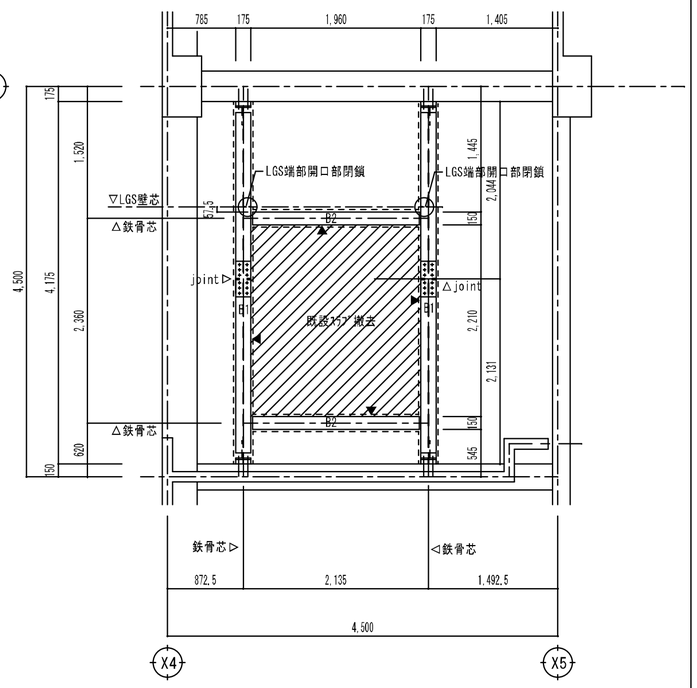
ブロック壁の場合

特記		月	日		Ｕ　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	NO.
					一級建築士事務所　一級建築士第２４８１６０号	設計		――	鉄骨標準図	A-63
					登録番号（１）第２１１８号　内田　貴之					**

原図：A2



1階昇降路ピット伏図　1/50



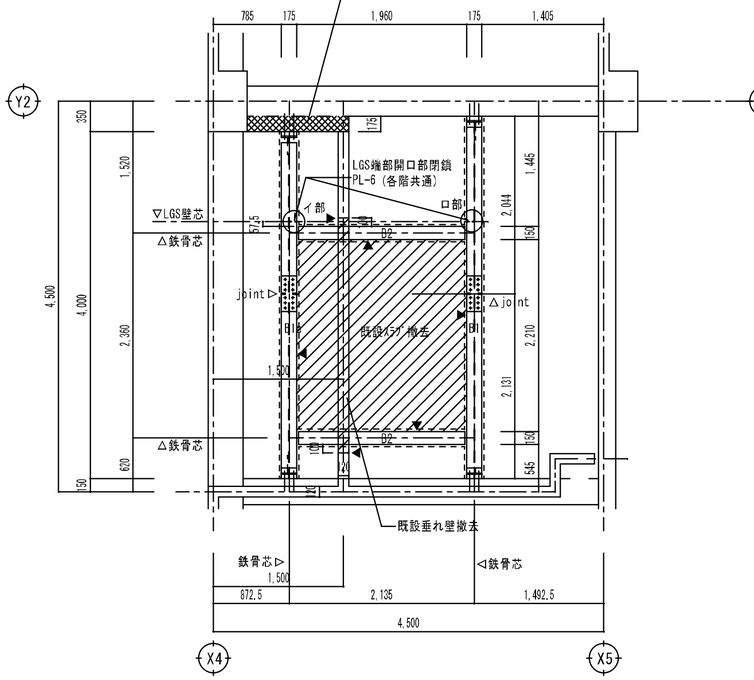
2、4階昇降路伏図　1/50

撤去範囲を示す

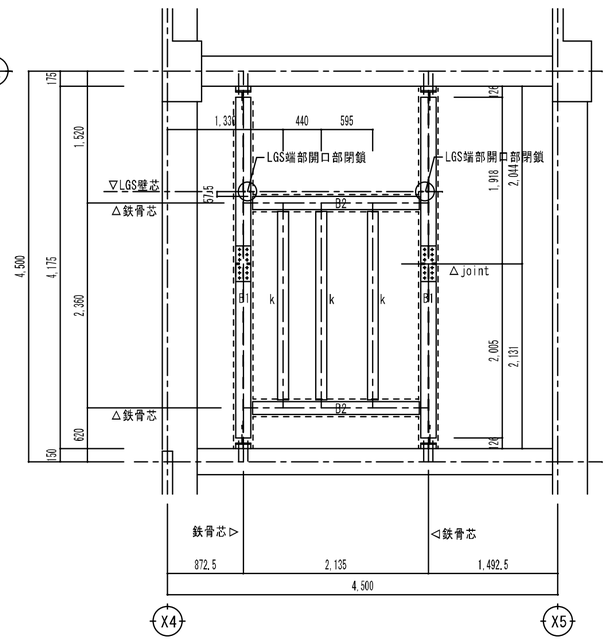
▲　コンクリートカッター入れを示す

※　鉄骨梁 B1,B1a,B2は耐火被覆t=25吹付

※　コンクリートスラブ t=120



3階昇降路伏図　1/50

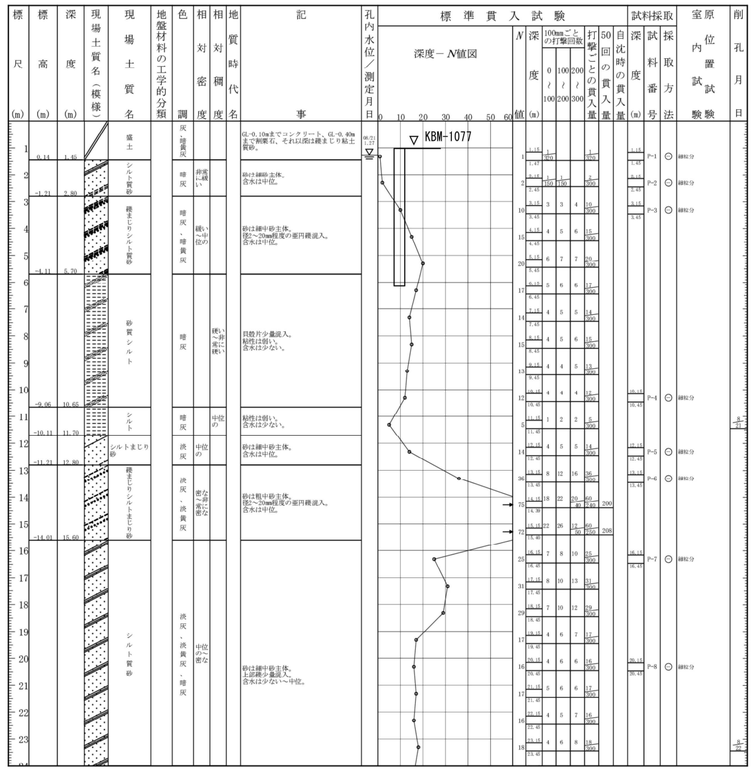


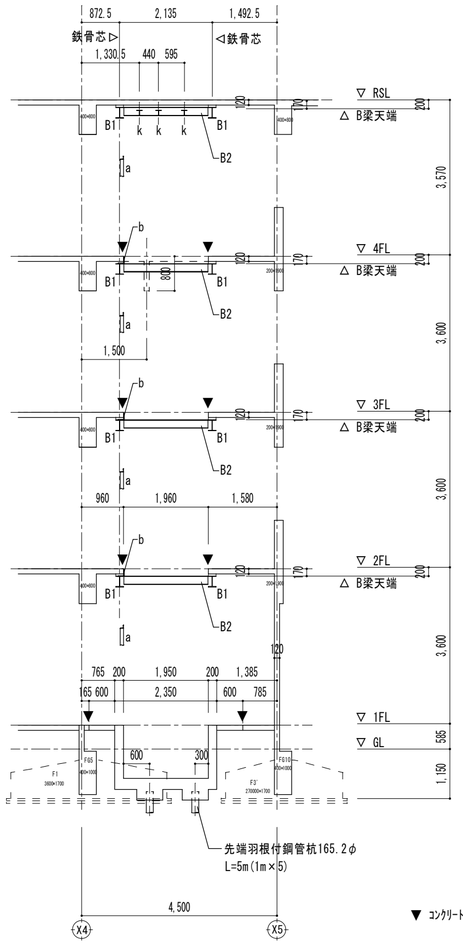
R階昇降路伏図　1/50

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

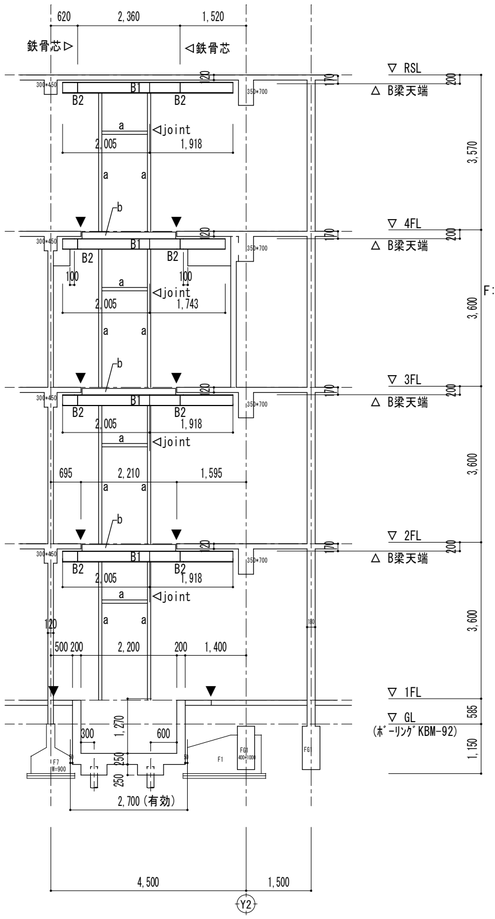
調査名	津市立橋北中学校改修工事に係る地質調査業務委託
事業名 または 工事名	津市立橋北中学校改修工事
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	三重県津市桜橋二丁目地内			北緯	34° 43′ 54.18″
発注機関	三重県津市			調査期間	令和5年 8月 21日 ～ 令和5年 8月 24日	東経	136° 31′ 6.14″
調査業者名	南海カツマ株式会社 電話 059-226-4854	主任技術者	滝本 味作 地質調査技士	業務代理人	滝本 味作 地質調査技士	コア鑑定者	滝本 味作 地質調査技士
						ボーリング責任者	羽田野 直樹 地質調査技士 第18621号
孔口標高	H= 1.59m	角度	180°上下 90° 0° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	41.35m	使用機種	試錐機 KR-50HC				
			エンジン NF90		ポンプ V6		

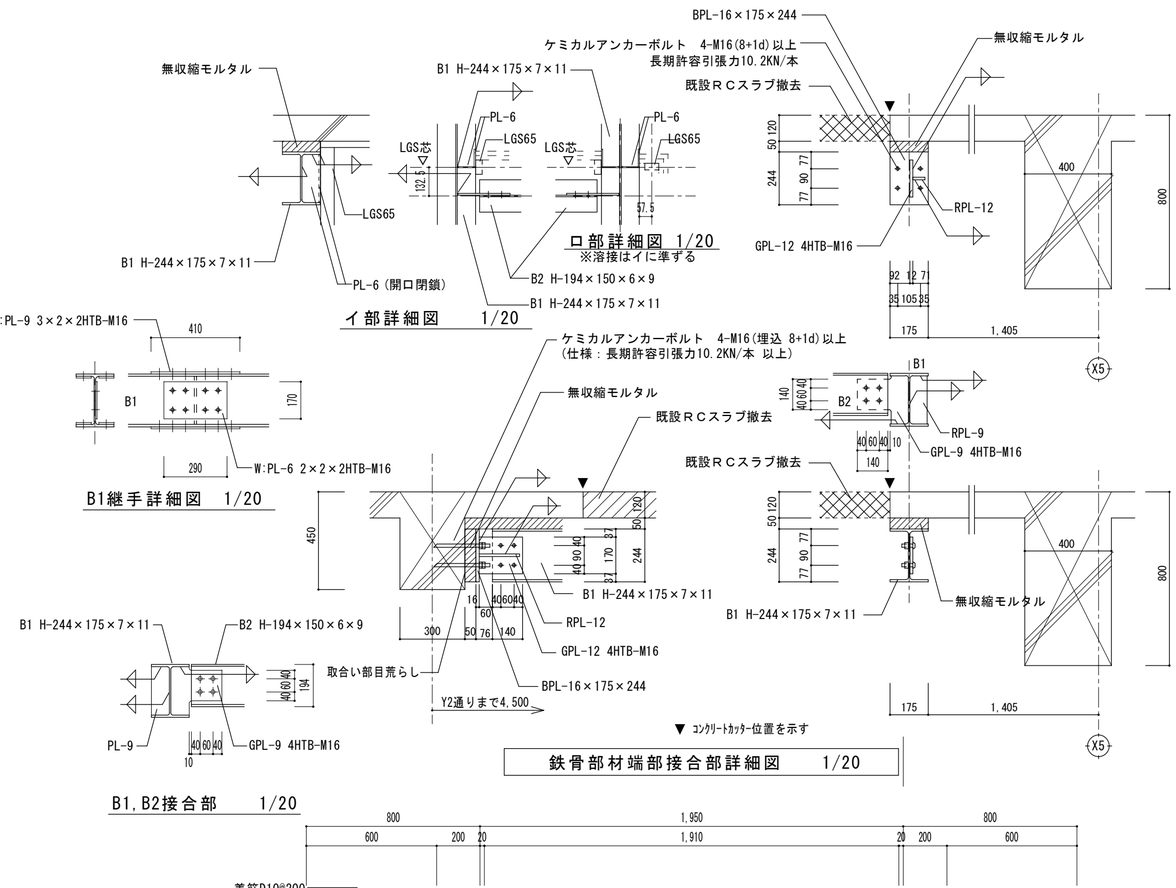

標尺 (m)
標高 (m)
深度 (m)
現場土質名（模様）
現場土質
地盤材料の工学的分類
色調
相対密度
相対稠度
地質時代名
記事
孔内水位／測定月日
標準貫入試験
深度－N値図
N値
深度
100mmごとの打撃回数
打撃50回ごとの貫入量
自沈時の貫入量
試料採取
深度
試料番号
採取方法
室内土質試験
削孔月日
KBM-1077
盛土
シルト質粘土
礫まじりシルト質砂
砂質シルト
シルト
シルトまじり砂
礫まじりシルトまじり砂
シルト質砂
砂質シルト
礫まじり
礫まじりシルト質砂
砂は細中砂主体。
砂は細中砂主体。
砂は細中砂主体。

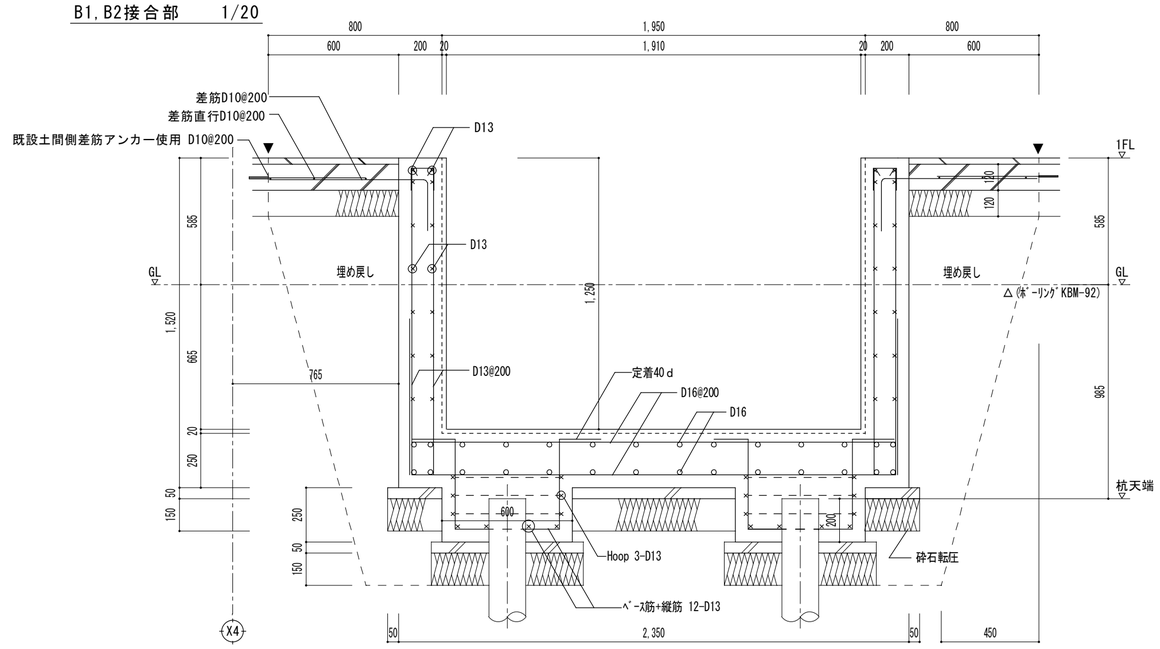


A方向断面図　1/100



B方向断面図　1/100





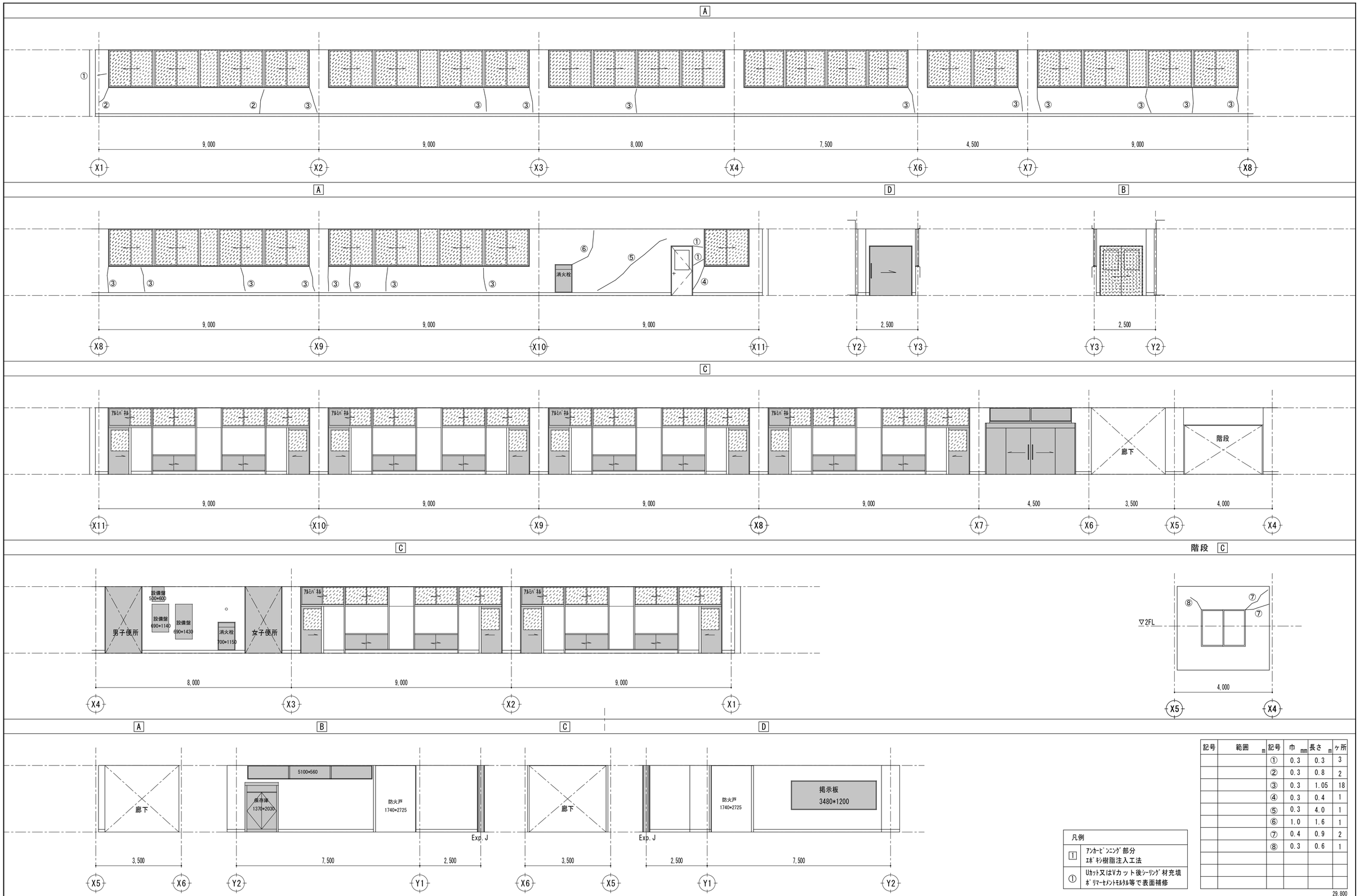
ピット詳細図　1/20

使用材料

・コンクリート	普通コンクリート　Fc=24+S（躯体、土間コンクリート） Fc=21（捨てコンクリート）	杭：先端羽根付鋼管杭（杭工法：ｽｸﾘｭｳｰﾊﾟｲﾙ EAZET工法） 165.2φ　t=7.1(Dw450×22mm) STK490 L=5m(1m×5本) 施工機械：SSﾀｲﾌﾟ（特殊小型機械）
・鉄　筋	SD295　(D16以下) SD345　(D19以上)	※試験杭：1本目を試験杭とする。 先端支持層の確認を行う。
・鉄　骨	SS400（H形鋼、鋼板）	
・高力ボルト	S-10T	
・鉄骨錆止	一般錆止め塗料(工場１回塗り+現場１回塗り)	

部材記号	名　称	部　材	接合部	工事区分
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６	ＥＶ詳細参考図を参照	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１５０×１５０×１２	ＥＶ詳細参考図を参照	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	ＥＶ詳細参考図を参照	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	ＥＶ詳細参考図を参照	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ詳細参考図を参照	建築工事
B1　B1a	補強梁	Ｈ－２４４×１７５×７×１１	当図面による	建築工事
B2	補強梁	Ｈ－１９４×１５０×６×９	当図面による	建築工事

特記		月　日	Ｕ　建　築　設　計 三重県津市白塚町5188　TEL:059-231-8893　FAX:059-231-8897	設計番号	年　月　日	縮尺 1/20 1/50 A2 1/100 A3 1/28.3 1/70.7 1/141.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事
			一級建築士事務所 / 一級建築士第２４８１６０号	設計			エレベーター廻り構造詳細図(2)
			登録番号（1）第２１１８号 / 内田　貴之				NO. A-65 ** 原図：A2



凡例	
1	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
①	Uｶｯﾄ又はVｶｯﾄ後ｼｰﾘﾝｸﾞ材充填 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ等で表面補修

記号	範囲 m	記号	巾 mm	長さ m	ヶ所
		①	0.3	0.3	3
		②	0.3	0.8	2
		③	0.3	1.05	18
		④	0.3	0.4	1
		⑤	0.3	4.0	1
		⑥	1.0	1.6	1
		⑦	0.4	0.9	2
		⑧	0.3	0.6	1

29.800

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之

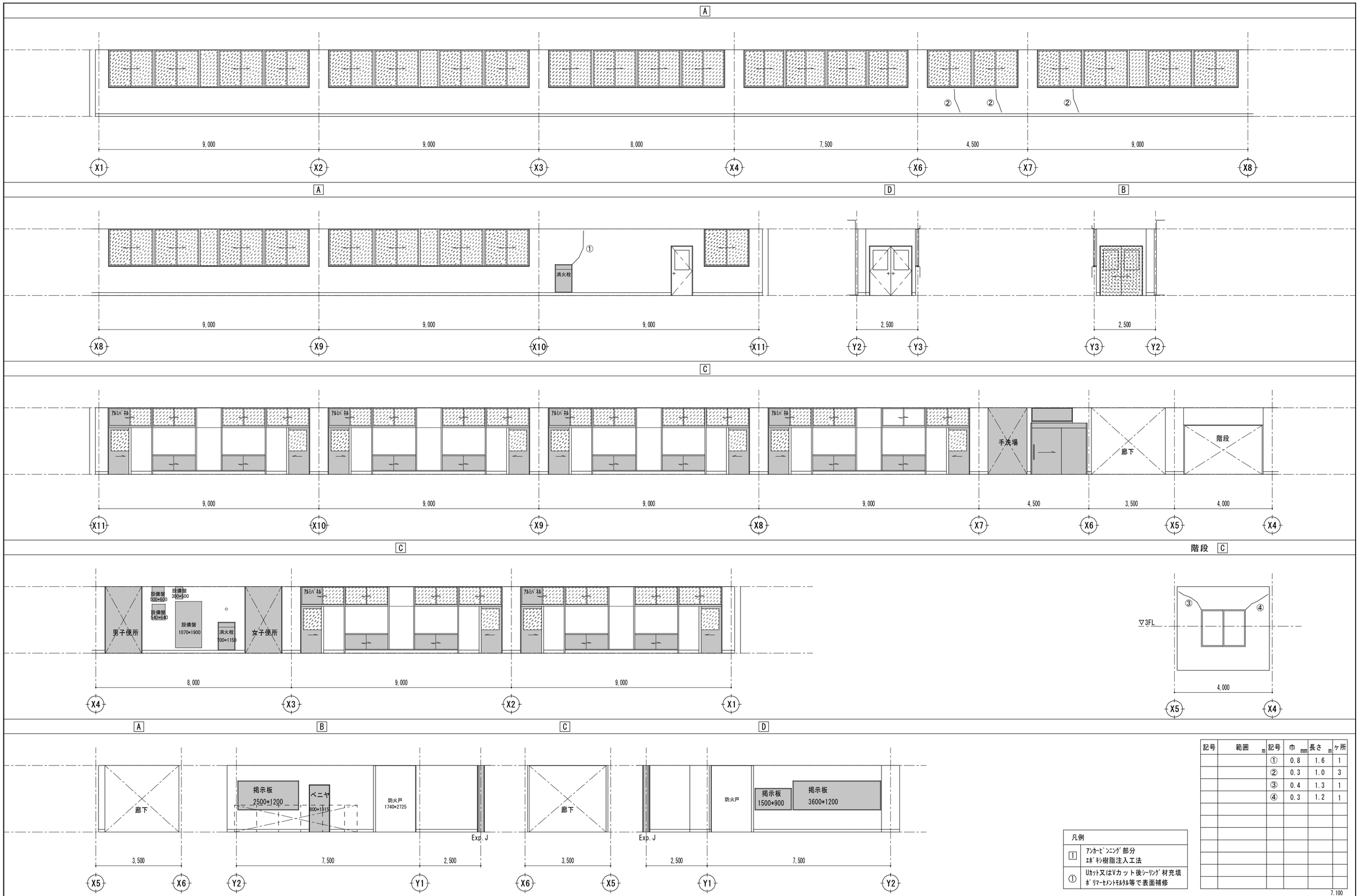
設計番号 年 月 日
設計

縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

1 階 廊下劣化調査 （参考）

NO. A-66
**
原図：A2



記号	範囲 m	記号	巾 mm	長さ m	ヶ所
		①	0.8	1.6	1
		②	0.3	1.0	3
		③	0.4	1.3	1
		④	0.3	1.2	1

7,100

凡例	
1	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
①	Uｶｯﾄ又はVｶｯﾄ後ｼｰﾘﾝｸﾞ材充填 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ等で表面補修

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之

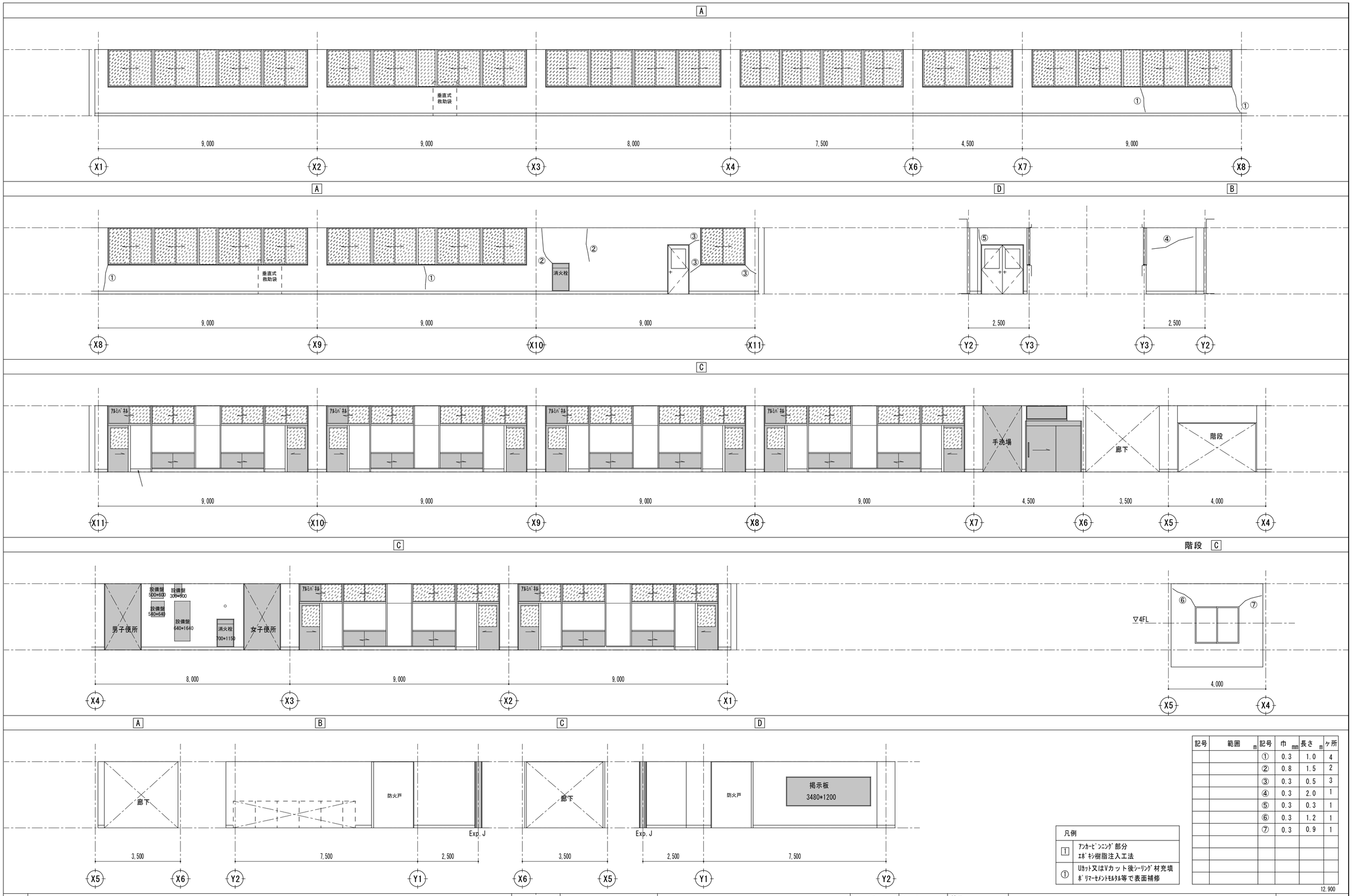
設計番号 年 月 日
設計

縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

２階 廊下劣化調査 （参考）

NO. A-67
**
原図：A2



記号	範囲 m	記号	巾 mm	長さ m	ヶ所
		①	0.3	1.0	4
		②	0.8	1.5	2
		③	0.3	0.5	3
		④	0.3	2.0	1
		⑤	0.3	0.3	1
		⑥	0.3	1.2	1
		⑦	0.3	0.9	1

凡例	
1	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
①	Uｶｯﾄ又はVカット後ｼｰﾘﾝｸﾞ材充填 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ等で表面補修

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（1）第２１１８号 内田 貴之

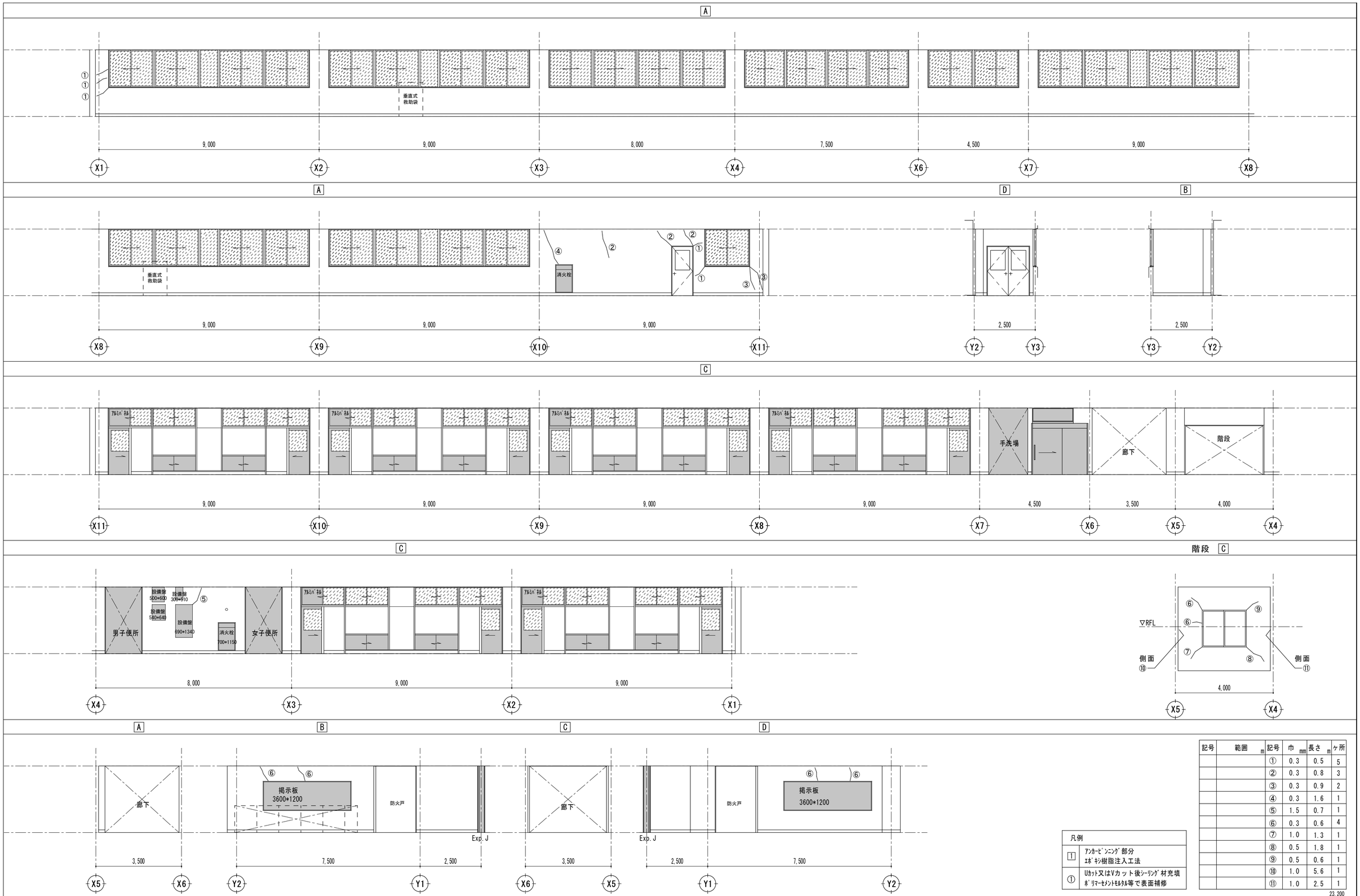
設計番号 年 月 日
設計

縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

３階 廊下劣化調査 （参考）

NO. A-68
**
原図：A2



凡例

1	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
①	Uｶｯﾄ又はVカット後ｼｰﾘﾝｸﾞ材充填 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ等で表面補修

記号	範囲 m	記号	巾 mm	長さ m	ヶ所
		①	0.3	0.5	5
		②	0.3	0.8	3
		③	0.3	0.9	2
		④	0.3	1.6	1
		⑤	1.5	0.7	1
		⑥	0.3	0.6	4
		⑦	1.0	1.3	1
		⑧	0.5	1.8	1
		⑨	0.5	0.6	1
		⑩	1.0	5.6	1
		⑪	1.0	2.5	1

23.200

特記

月	日	

U 建 築 設 計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第２４８１６０号
登録番号（１）第２１１８号 内田 貴之

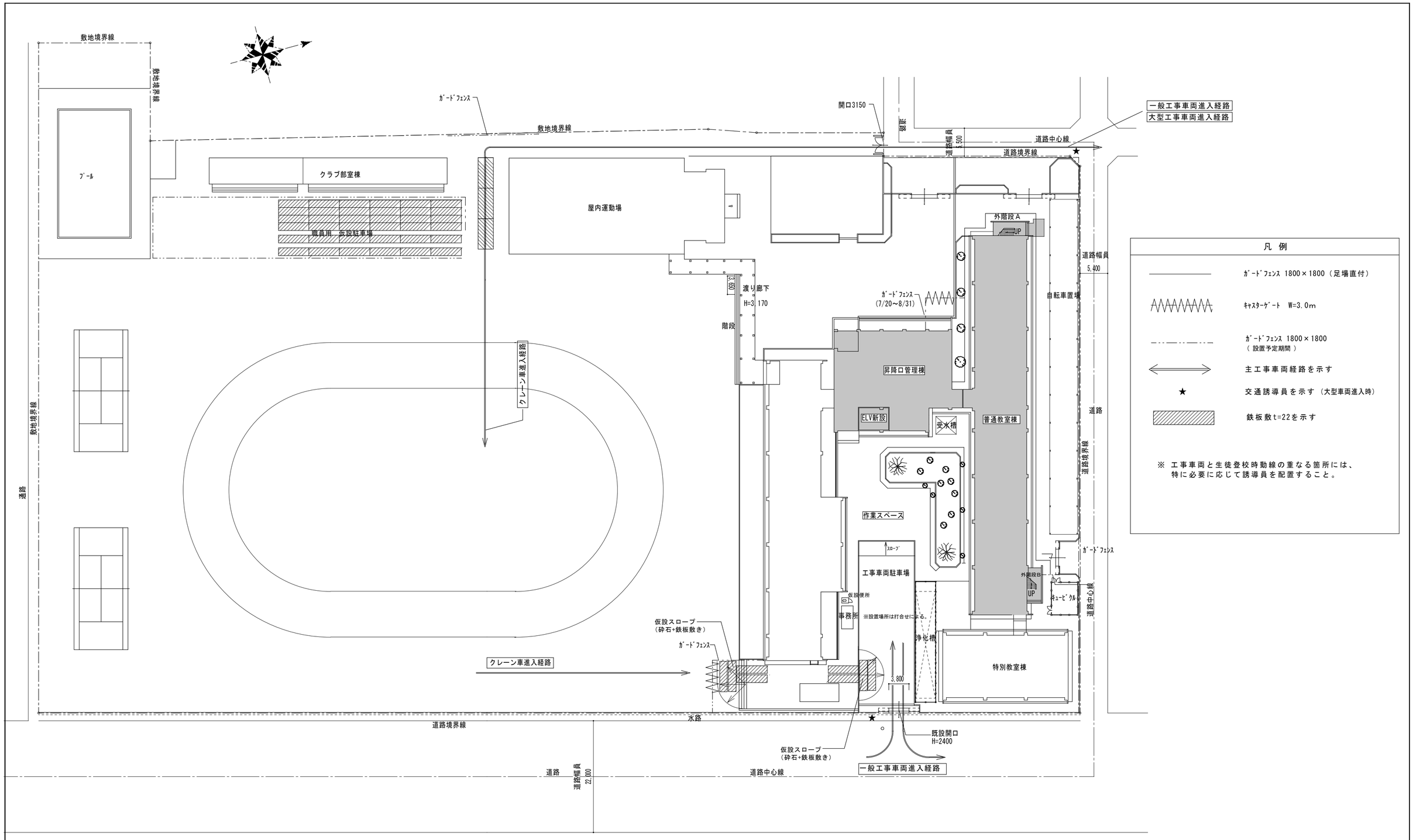
設計番号 年 月 日
設計

縮尺
A2 1/100
A3 1/141.4

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

４階 廊下劣化調査 （参考）

NO. A-69
**
原図：A2



仮設計画図 1/500

特記	月 日	U 建 築 設 計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事
		一級建築士事務所	一級建築士第２４８１６０号	設計		A2 1/500 A3 1/707	仮設計画図
		登録番号（1）第２１１８号	内田 貴之				NO. A-70 ** 原図:A2